

エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事

○ 工事名称・その他

工事名称	エディウイン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事			建築主 住所氏名	鳴門市公営企業管理者 企業局長 近藤 伸幸		
建物用途	主用途	建築：遊技場 消防：船券売場 (4項)	従用途		徳島県鳴門市撫養町大桑島字浄岩浜48-1		
建築場所	(住居表示) (地名・地番) 徳島県鳴門市撫養町大桑島字浄岩浜48-30、48-31、48-35、48-62、48-64、48-67						
工事種別	新築・増築・別棟増築・改築・改修(大規模の修繕)・用途変更・大規模の模様替・移転・仮設建築・解体						
区域の指定	都市計画区域内(市街化区域・市街化調整区域・未線引区域)・都市計画区域外						
用途地域の指定	第 種 低層住専・第 種 中高層住専・第 1 種住居・第 2 種住居・準住居・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用・指定なし						
防火地域の指定	防火・準防火・法第22条の指定地域・指定なし		その他の地域地区の指定		-		
建蔽率・容積率	建蔽率(指定)	60 %	容積率(指定)	200 %	日影規制	有り (5Mライン 時間 10Mライン 時間 H=M) ・ 無	
特殊設計	総合設計・一団地設計・建基法48条・特定街区・開発申請・地下街との接続・その他()						
工期	着工	令和 6 年 5 月 10 日 予定	竣工	令和 6 年 12 月 7 日 予定	全体工期	7 か月予定	
敷地	前面道路幅員	南側 15m	測量年月日	令和 年 月 日	測量者氏名	-	
	接道長さ	84.749m	地中埋設物	有 無 未調査	標高		

○ 構造・規模

構造	SRC・RC (S) CB・W	耐火・準耐火(イ)	階数	(地下 0) (地上 1) (棟屋 0)
くい地業	有・無 深層地盤改良杭	準耐火(ロ-1・ロ-2)・その他		

○ 各部の高さ

最高の高さ	6.938 m	最高の軒の高さ	6.288 m
塔屋の高さ	m	居室の床の高さ	m

○ 面積

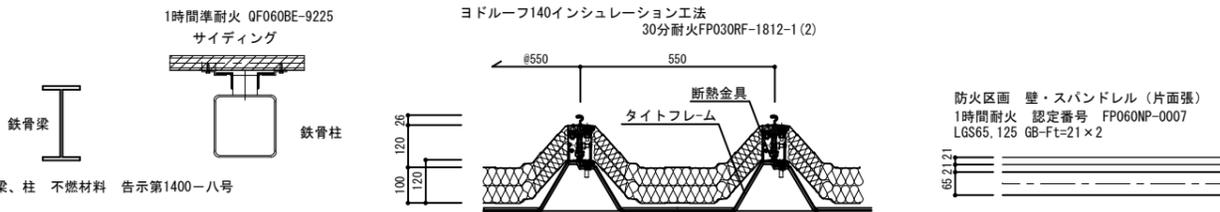
	法定面積		
	申請部分	申請以外の部分	合計
敷地面積	11,016.53 m ²		11,016.53 m ²
建築面積	287.56 m ²	2,422.58 m ²	2,710.14 m ²
延床面積	285.56 m ²	2,341.51 m ²	2,627.07 m ²
自動車庫等の部分	32.43 m ²	0 m ²	32.43 m ²
共同住宅共用廊下等	m ²	m ²	m ²
その他容積除外部分	m ²	m ²	m ²
容積対象延床面積	253.13 m ²	2,341.51 m ²	2,594.64 m ²
建ぺい率	24.60 % ≤	60 % OK	
容積率	23.55 % ≤	200 % OK	

○ その他

適用法令・条例・要綱等	用途
・ 建築基準法	遊技場
・ 消防法	船券売場

ロー2 準耐火建築材料リスト

柱、梁	鉄骨	不燃材料 告示第1400一八号
屋根	ガルバリウムフッ素鋼板 W折板 t=0.8	準耐火構造 FP03ORF-1812-1 (2)
外壁	サイディング	準耐火構造 QF060BE-9225



※設計図が現況と異なる場合は現況を優先すること。特に壁、天井の位置・高さ・仕上げ等現場確認を要す。

※改修範囲内のお客様に見える範囲は設計図に記載がなくとも全て表層は改修すること。

○ 外部仕上

項目	個所	仕上・仕様
増築棟	屋根	上弦材 ガルバリウム鋼板t=0.8の上にフッ素樹脂焼付塗装ガルバリウム鋼板 下弦材 ガルバリウム鋼板 丸駄折板 t=0.8 H=120 W折板 (断熱工法)
		断熱材：グラスウールt=100 (10kg/m ³)
	外壁	サイディング t=16 (鋼線C-125×50×20×2.3の上、耐水PB t=12.5通気シート+通気金物+サイディング (防火構造))
		室内側の被覆は不燃PB t=12.5
	腰壁	コンクリート化粧打ち出し (海側) 50角モザイクタイル貼り (ファン見え掛かり範囲)
	建具	アルミサッシ 二次電解着色 (一部防火設備：EB-9205)
		スチールサッシ 防錆塗装の上SOP
	庇	シート防水t=1.5、耐火野地板t=25、母屋φ750
	軒裏	アルミパネル張り
	棟	軒樋
縦樋		カラーVU 150φ、つかみ金物
見切縁		アルミ既製品
水切		アルミ既製品、フッ素焼付ガルバリウム鋼板t=0.8
EXPJ	アルミ製	
A棟	スロープ	床 600角ノンスリップ磁器タイル貼り、立上り50角貼り 手摺 ステンレス製
	建具	排煙窓新設
B棟	外壁	既存外壁の上にサイディング張りt=16 (木製タテ鋼線下地@450)
	建具廻り	アルミ額縁t=2.0 曲げ加工
	外壁改修 パラベット笠木、巾木廻り	フッ素ガルバリウム鋼板t=0.8水切り

○ 外構

項目	仕上・仕様
駐輪場	土間コンクリート舗装 屋根：アルミ複合樹脂 VFCM-F4161 (四国化成同等品以上) ・ 目隠しアルミルーバー□-30×60@60 H=1,800
駐車場	アスファルト舗装(既存利用)、白線引きW=100 建物コーナー ガード独立ボールステンレス製 H=800 165φア3
設備スペース、現金輸送車庫前	コンクリートべた基礎 囲障：メッシュフェンス、門扉、勝手口
外部喫煙所	土間コンクリートの上、タイル貼 目隠しフェンス：アルミ押出型材 H=1,800 GTF5-2020 (四国化成同等品以上) 庇：カラーガルバリウム鋼板t=0.6
ピロティ	土間コンクリート舗装 屋根 ガルバリウム鋼板 t=0.8 H=120 ダブル折板

○ その他の工事区分

種別	区分	備考	種別	区分	備考	種別	区分	備考	種別	区分	備考
付属備品			エアコン	○		付属建物			障害物撤去		
可動家具	○		照明器具	○		危険物庫	—		在来基礎撤去	○	
固定椅子	○		点字ブロック	○		駐車場上屋	—		埋設物撤去	○	
什器	×		機械警備用空配管	×		駐輪場上屋	○				
カーテン	×					タワーパーキング	—				
ブラインド	×					物置	—				
玄関マット	×					受水槽上屋	—		移設工事		
敷物	×					ゴミ置場	—		在来建物移設	—	
郵便受	×								工作物移設	—	
旗竿	—								樹木移設	—	
社名板・表札	—					特殊施設					
各種表示板・文字	○		機械駐車装置	—					敷地造成関連		
黒板・掲示板	○		自転車ラック	—		敷地造成	—		埋設物移設	—	
基礎板	—					擁壁	—		空調機器移設	○	設備工事
消火器	○	建築工事				護岸	—		解体工事その他		
宅配ボックス	—		看板・広告板	○					雨水・排水	○	GL以下は設備工事
オートロック	×		広告塔・鉄塔	×		道路	—		工作物解体	○	
インターホン	×		避難器具	×		樹木伐採	—		電波障害対策	—	
物干	—		トレンチ	—		植樹造園	—		埋蔵文化財調査	—	
TV端子	×					防火水槽	—				
浄化槽	—					歩道整備	—				

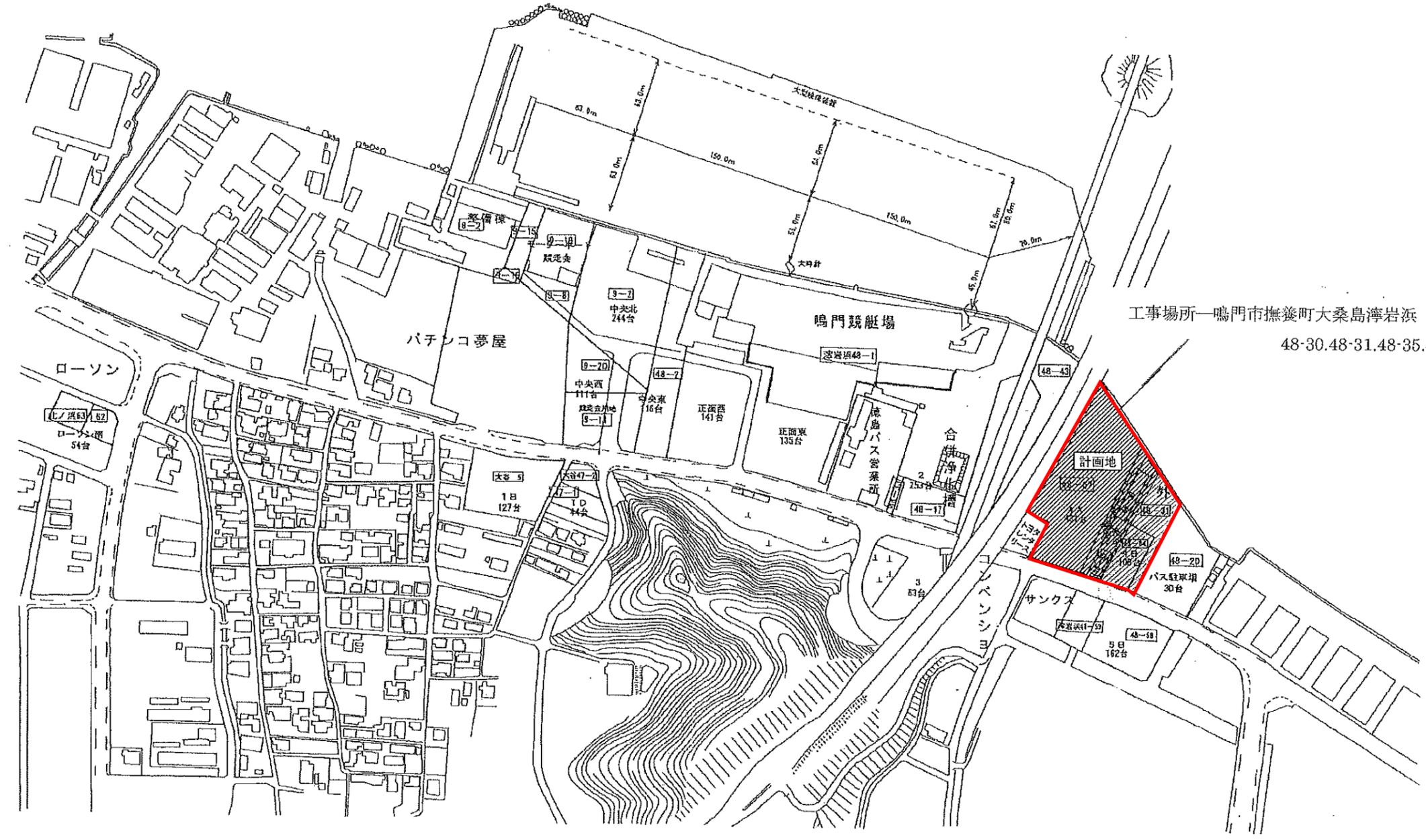
工事区分分けが必要な場合、施工区分欄に本工事の建築工事の場合は「建」欄に、本工事の設備工事の場合は「設」欄に、別途工事の場合は「別」欄に ○ をを記入し、

該当しない項目には — を記入する。

訂正	年月日		鳴門市企業局ポートレース事業課	備考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大田登穂第164276号 中野 和敏 東京都墨田区東甲2-14-6ローストビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認	発行	工事名称 エディウイン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO 図面名称 設計概要・外部仕上表	図面NO 整理NO A-004
----	-----	--	-----------------	--	--	----------	----	-------------------------------------	----------------------------	-----------------------



鳴門市競艇場全体図

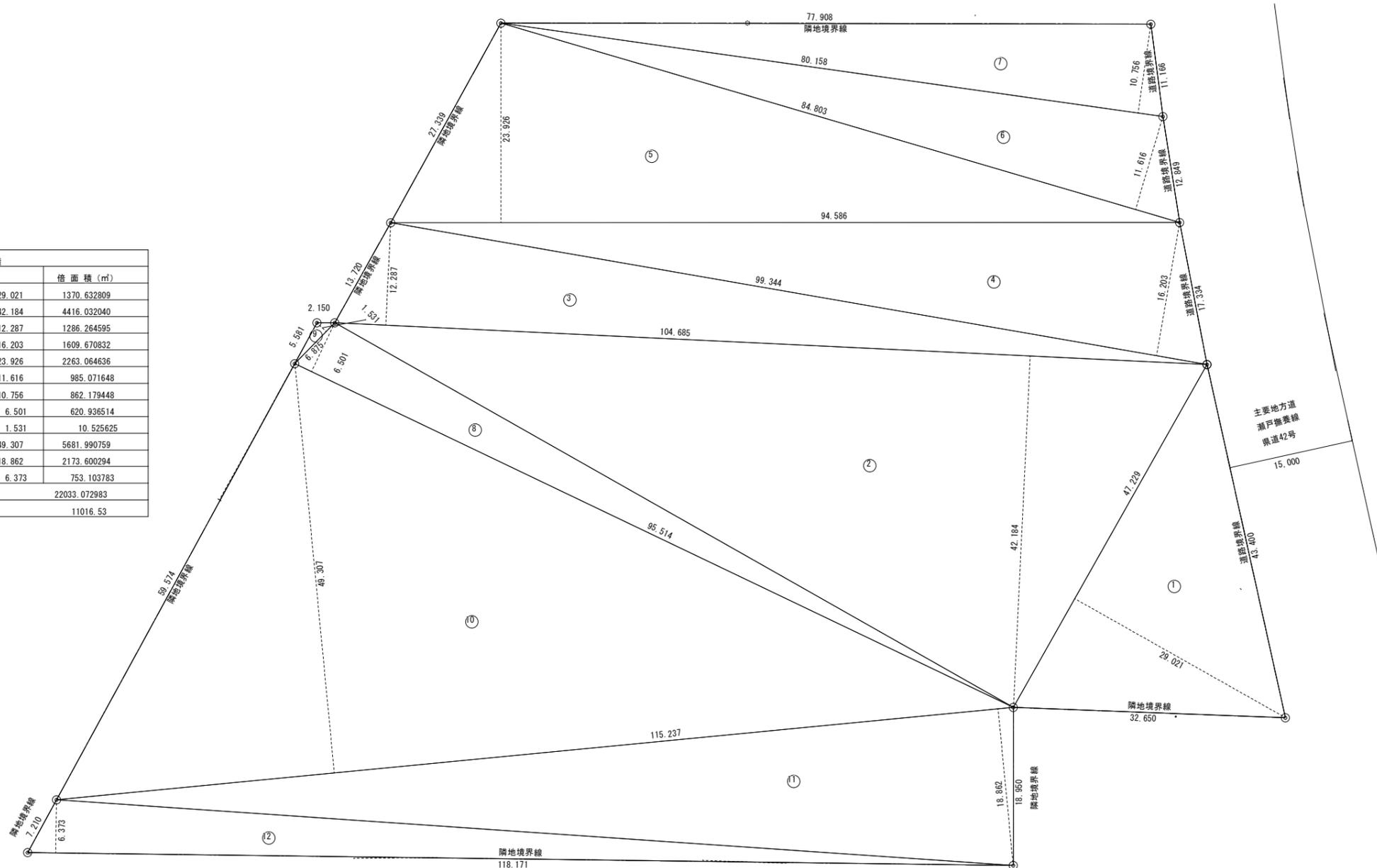


工事場所—鳴門市撫養町大桑島灣岩浜
48-30.48-31.48-35.48-62.48-64.48.67

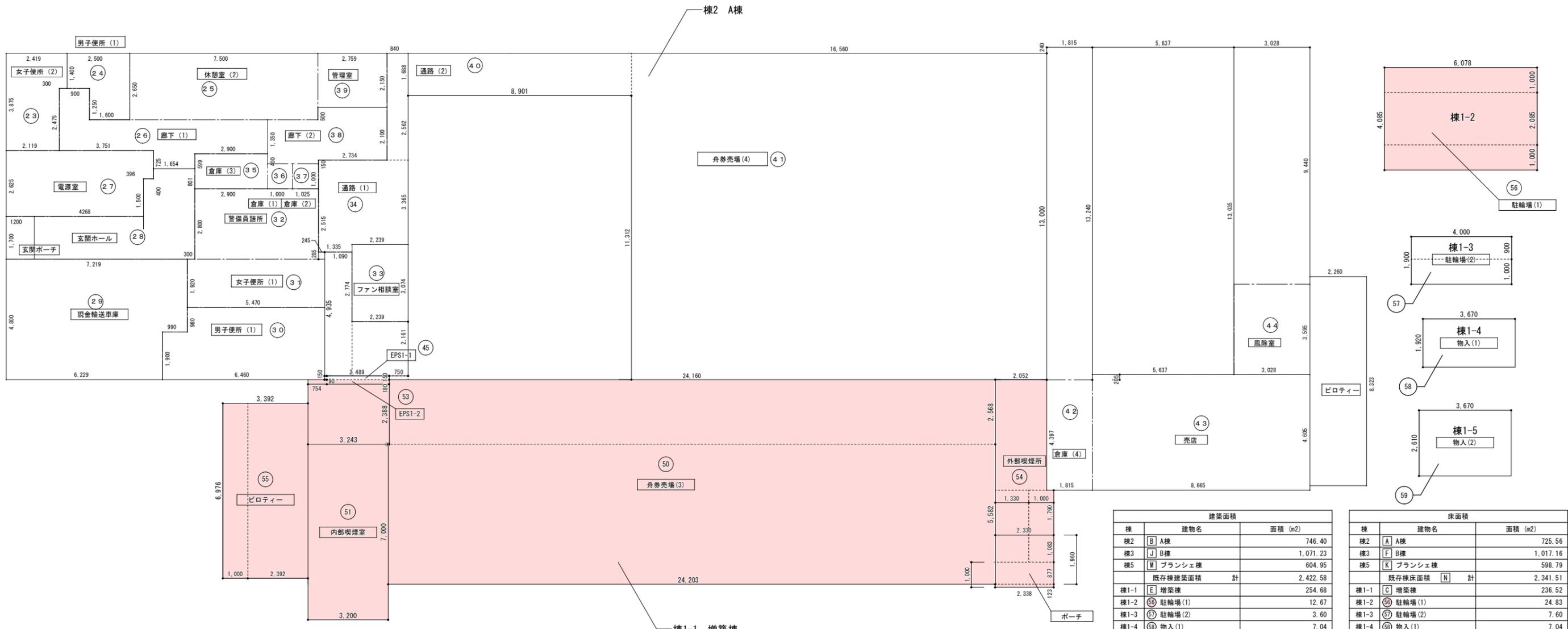
訂正	鳴門市企業局ポートレース事業課			株式会社サデザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大庭登洋 164276号 中野 知哉 〒765-0024 徳島県鳴門市大桑島1-14-6 ロータスビル3F TEL:091-3926-8284 FAX:091-3926-8289		作成	原簿	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	図面No.	実物No.
	発行	図名 附近見取図	図尺	図面No.	A-005					



敷地面積			
	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 (㎡)
①	47.229	29.021	1370.632809
②	104.685	42.184	4416.032040
③	104.685	12.287	1286.264595
④	99.344	16.203	1609.670832
⑤	94.586	23.926	2263.064636
⑥	84.803	11.616	985.071648
⑦	80.158	10.756	862.179448
⑧	95.514	6.501	620.936514
⑨	6.875	1.531	10.525625
⑩	115.237	49.307	5681.990759
⑪	115.237	18.862	2173.600294
⑫	118.171	6.373	753.103783
倍面積 計			22033.072983
敷地面積 (㎡)			11016.53



訂正	年	月	日	備考 ※建築士指図等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大沼登録第164276号 中野 和敬 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成	承認	工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO	図面NO A-006
	発行		図面名称 敷地求積表			図面NO 整理NO				
								縮尺 A1 1:300 A3 1:600		



建築面積		
棟	建物名	面積 (m ²)
棟2	B A棟	746.40
棟3	J B棟	1,071.23
棟5	M プランシェ棟	604.95
既存棟建築面積		計 2,422.58
棟1-1	E 増築棟	254.68
棟1-2	56 駐輪場(1)	12.67
棟1-3	57 駐輪場(2)	3.60
棟1-4	58 物入(1)	7.04
棟1-5	59 物入(2)	9.57
増築棟建築面積		計 287.56
合計		2,710.14

床面積		
棟	建物名	面積 (m ²)
棟2	A A棟	725.56
棟3	F B棟	1,017.16
棟5	K プランシェ棟	598.79
既存棟床面積		N 計 2,341.51
棟1-1	C 増築棟	236.52
棟1-2	56 駐輪場(1)	24.83
棟1-3	57 駐輪場(2)	7.60
棟1-4	58 物入(1)	7.04
棟1-5	59 物入(2)	9.57
増築棟床面積		L 計 285.56
N + L 合計		2,627.07

部屋名	辺長 m	面積 m ²
23 女子便所(2)	2.419, 1.400	3.386
24 男子便所(2)	2.119, 1.400	2.966
25 休憩室	1.600, 1.250	2.000
26 廊下(1)	7.500, 2.650	19.875
27 電源室	2.119, 1.400	2.966
28 玄関ホール	1.600, 1.250	2.000
29 現金輸送車庫	6.229, 1.900	11.835
30 男子便所(1)	7.219, 2.900	20.935
31 女子便所(1)	6.460, 1.900	12.274
32 警備員詰所	5.470, 0.980	5.360
33 ファン相談室	5.470, 1.920	10.502
34 通路(1)	4.925, 2.800	13.790
35 倉庫(3)	0.245, 0.285	0.069
36 倉庫(1)	2.239, 3.074	6.882

部屋名	辺長 m	面積 m ²
37 倉庫(2)	1.025, 1.000	1.025
38 廊下(2)	2.025, 1.750	3.543
39 管理室	2.734, 2.100	5.741
40 通路(2)	2.759, 2.150	5.931
41 舟券売場(4)	1.090, 4.935	5.379
42 倉庫(4)	1.090, 2.161	2.354
43 売店	0.990, 0.150	0.148
44 風除室	0.750, 0.150	0.113
45 EPS1-1	8.901, 11.312	100.688
合計 725.560		
床面積 725.56		
建築面積 10.621		
玄関ホール 1.200*1.077=2.040		
ピロティー 2.260*8.323=18.809		
725.560+2.040+18.809=746.409		
合計 746.40		

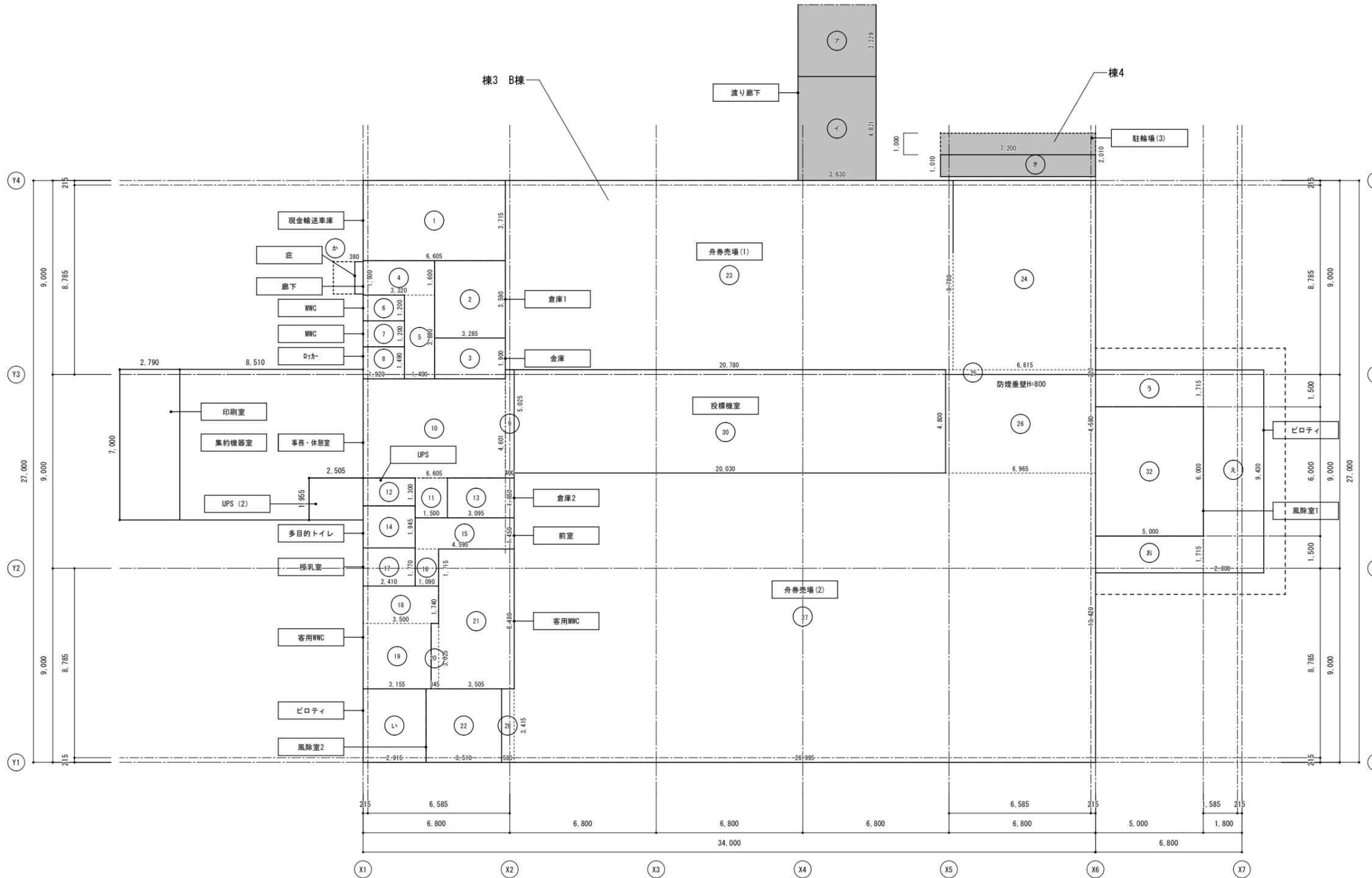
部屋名	辺長 (m)	面積 (m ²)
56 駐輪場(1)	4.085, 6.078	24.829
床面積 合計		24.83
建築面積 合計	2.085, 6.078	12.673

部屋名	辺長 (m)	面積 (m ²)
57 駐輪場(2)	1.900, 4.000	7.600
床面積 合計		7.60
建築面積 合計	0.900, 4.000	3.600

部屋名	辺長 (m)	面積 (m ²)
58 物入(1)	1.920, 3.670	7.046
床面積 合計		7.04
建築面積 合計	1.920, 3.670	7.046

部屋名	辺長 (m)	面積 (m ²)
59 物入(2)	2.610, 3.670	9.578
床面積 合計		9.57
建築面積 合計	2.610, 3.670	9.578

増築範囲を示す。

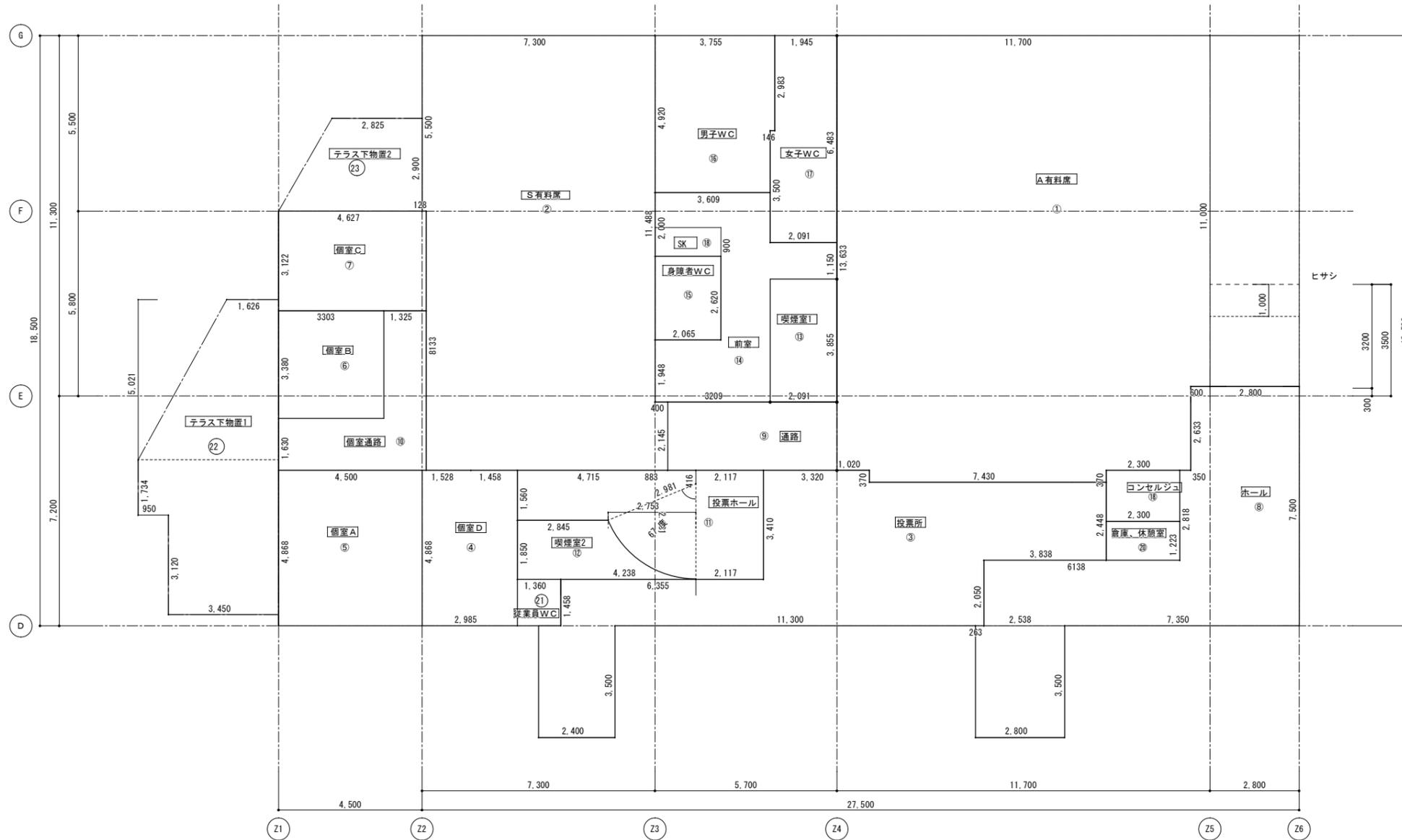


棟3 B棟面積表			
部屋名	辺長 (m)		面積 (m ²)
① 現金輸送車庫	6.605	3.715	24.538
② 倉庫1	3.285	3.590	11.793
③ 倉庫	3.285	1.900	6.242
④ 廊下	3.320	1.600	5.312
⑤ 廊下	1.400	3.890	5.446
⑥ WWC	1.920	1.200	2.304
⑦ WWC	1.920	1.200	2.304
⑧ ロッカー	1.920	1.490	2.861
⑨	0.400	5.025	2.010
⑩ 事務・休憩室	6.605	4.601	30.390
⑪	1.500	1.850	2.775
⑫	欠番		35.175
⑬ UPS	2.410	1.300	3.133
⑭ 倉庫2	3.095	1.850	5.726
⑮ 多目的トイレ	2.410	1.945	4.687
⑯ WWC前室	4.595	1.450	6.663
⑰ 授乳室	1.090	1.715	1.869
⑱ 授乳室	2.410	1.770	4.266
⑲ 客用WWC	3.500	1.740	6.090
⑳ 客用WWC	3.155	3.025	9.544
㉑ 客用WWC	0.345	3.025	1.044
㉒ 客用WWC	3.505	6.480	22.712
㉓ 風除室2	3.510	3.415	11.987
㉔	20.780	8.780	182.448
㉕ 舟券売場(1)	6.615	8.780	58.083
㉖	6.965	0.220	1.53
㉗	6.965	4.580	31.900
㉘ 舟券売場(2)	26.995	13.420	362.273
㉙	0.580	3.415	1.981
㉚ 投票機室	20.030	4.800	96.144
㉛	欠番		
㉜ 風除室1	5.000	6.000	30.000
㉝ 集約機器室	8.510	7.000	59.570
㉞ 印刷室	2.790	7.000	19.530
㉟ UPS(2)	2.505	1.955	4.897
㊱ 床面積 計 ①~㉚			1,017.16
㊲ 渡り廊下	3.630	3.329	12.084
㊳ 渡り廊下	3.630	4.821	17.500
㊴ 撤去面積 計 ㊲・㊳			29.58
㊵	欠番		
㊶ ビロティ	2.915	3.415	9.954
㊷ ビロティ	5.000	1.715	8.575
㊸ ビロティ	2.800	9.430	26.404
㊹ ビロティ	5.000	1.715	8.575
㊺ 庇	1.500	0.380	0.570
㊻	欠番		
㊼	欠番		
㊽	欠番		
㊾	欠番		
㊿	欠番		
Ⅱ 計			54.07
Ⅲ 建築面積 合計	Ⅱ + ㊵ + ㊶ + ㊷ + ㊸ + ㊹ + ㊺		1,071.23

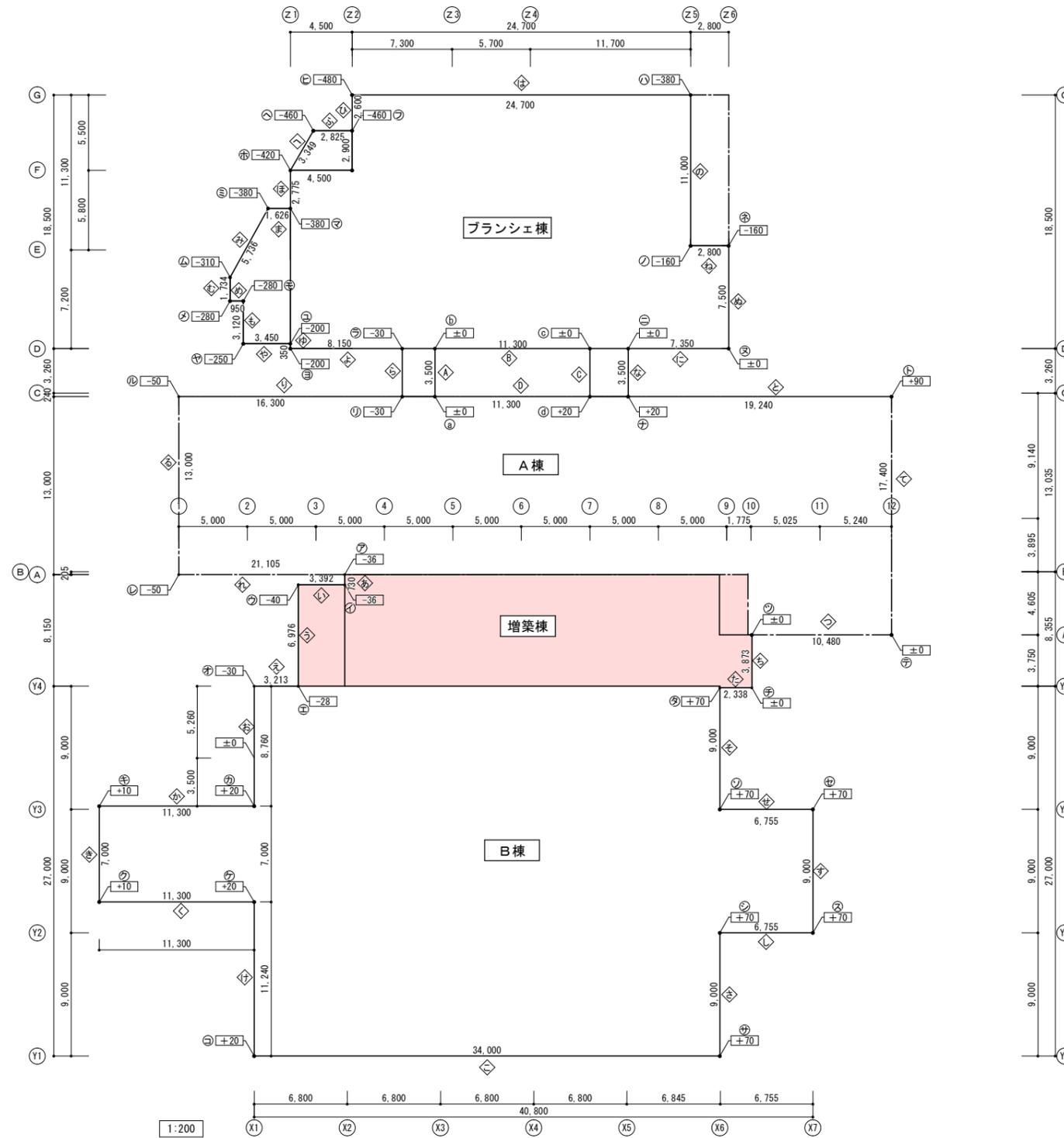
棟4 駐輪場(3)面積表			
部屋名	辺長 (m)		面積 (m ²)
㊿ 駐輪場(3)	7.200	2.010	14.472
床面積 合計			14.47
建築面積 合計	7.200	1.010	7.272

撤去面積		
式	面積 (m ²)	
Ⅲ + ㊿	合計	
	44.05	

撤去床面積 (既存面積から減する)



棟5		プランシエ様面積積表		
部屋名	辺長	m	面積	m ²
① A有料席	0.600	11.000	6.600	160.671
	2.650	13.632	36.124	
	7.430	14.003	104.042	
② S有料席	1.020	13.633	13.905	99.337
	7.300	5.500	40.150	
	7.172	8.133	58.392	
③ 投票所	0.400	2.145	0.858	59.377
	3.838	2.448	9.395	
	3.592	4.498	16.156	
	3.320	4.868	16.161	
	6.355	1.458	9.265	
④ 個室D	2.400	3.500	8.400	14.530
	2.985	4.868	14.530	
⑤ 個室A	4.500	4.868	21.906	21.906
⑥ 個室B	3.302	3.380	11.160	11.160
⑦ 個室C	4.628	3.122	14.448	14.448
⑧ ホール	3.400	2.633	8.952	49.589
	3.750	2.818	10.567	
	9.888	2.050	20.270	
	2.800	3.500	9.800	
	2.800	3.500	9.800	
⑨ 通路	5.300	2.145	11.368	11.368
⑩ 個室通路	4.628	1.630	7.543	12.021
	1.325	3.380	4.478	
⑪ 投票ホール	2.117	3.410	7.218	19.568
	2.981+2.981+3.14+67/360		5.193	
	0.416+1.560+2.753+0.5		2.919	
⑫ 喫煙室2	2.845	1.560	4.438	6.740
⑬ 喫煙室1	3.410*7.715-19.568		6.740	8.060
⑭ 前室	2.091	3.855	8.060	18.841
	3.609	1.948	7.030	
	1.545	3.52	5.438	
⑮ 身障者WC	2.091	1.150	2.404	5.410
	3.609	1.10	3.969	
	2.065	2.620	5.410	
⑯ 男子WC	3.609	4.920	17.756	18.191
	0.146	2.983	0.435	
⑰ 女子WC	2.091	3.500	7.318	13.119
⑱ コンセルジュ	1.945	2.983	5.801	3.668
⑲ SK	2.300	1.595	3.668	1.858
⑳ 倉庫・休憩室	2.065	0.90	1.858	2.812
㉑ 従業員WC	2.300	1.223	2.812	1.982
㉒ テラス下物置1	1.360	1.458	1.982	33.521
	1.626+4.400*5.021+0.5		15.128	
㉓ テラス下物置2	3.450	4.854	16.746	10.621
	0.95	1.734	1.647	
合計				598.798
床面積				598.79
建築面積				604.95
598.79+2.2*2.8				604.95
合計				604.95



平均地盤算定表		
符号	計算式	計
あ	-0.036×0.73	-0.0262 m ²
い	$(-0.036 + -0.04) \times 3.392 \div 2$	-0.1280 m ²
う	$(-0.04 + -0.028) \times 6.976 \div 2$	-0.2371 m ²
え	$(-0.028 + -0.03) \times 3.213 \div 2$	-0.0931 m ²
お	$(3.5 \times 0.02 \div 2) + (5.26 \times -0.03 \div 2)$	-0.0439 m ²
か	$(0.01 \times 0.020) \times 11.300 \div 2$	0.1695 m ²
き	7.000×0.01	0.0700 m ²
く	$(0.01 + 0.02) \times 11.300 \div 2$	0.1695 m ²
け	11.420×0.02	0.2248 m ²
こ	$(0.02 + 0.07) \times 34.000 \div 2$	1.5300 m ²
さ	9.000×0.07	0.6300 m ²
し	6.755×0.07	0.4728 m ²
す	9.000×0.07	0.6300 m ²
せ	6.755×0.07	0.4728 m ²
そ	9.000×0.07	0.6300 m ²
た	$2.338 \times 0.07 \div 2$	0.0818 m ²
ち	3.873×0	0 m ²
つ	10.480×0	0 m ²
て	$17.400 \times 0.09 \div 2$	0.7830 m ²
と	$19.240 \times 0.09 \div 2$	0.8658 m ²
な	$3.500 \times 0.02 \div 2$	0.0350 m ²
に	7.350×0	0 m ²
ぬ	7.500×-0.16	-0.6000 m ²
ね	2.800×-0.16	-0.4480 m ²
の	$(-0.16 + -0.380) \times 11.000 \div 2$	-2.9700 m ²
ほ	$(-0.38 + -0.48) \times 24.700 \div 2$	-10.621 m ²
ひ	$(-0.48 + -0.46) \times 2.600 \div 2$	-1.2220 m ²
ふ	2.825×-0.46	-1.2995 m ²
へ	$(-0.46 + -0.42) \times 3.349 \div 2$	-1.4735 m ²
ほ	$(-0.42 + -0.38) \times 2.775 \div 2$	-1.1100 m ²
ま	1.626×-0.38	-0.6178 m ²
み	$(-0.38 + -0.31) \times 5.736 \div 2$	-1.9789 m ²
む	$(-0.31 + -0.28) \times 1.734 \div 2$	-0.5115 m ²
め	0.95×-0.28	-0.2660 m ²
も	$(-0.28 + -0.25) \times 3.12 \div 2$	-0.8268 m ²
や	$(-0.25 + -0.2) \times 3.45 \div 2$	-0.7762 m ²
ゆ	0.35×-0.2	-0.0700 m ²
よ	$(-0.2 + -0.03) \times 8.15 \div 2$	-0.9372 m ²
ら	3.5×-0.03	-0.1050 m ²
り	$16.300 \times -0.05 \div 2$	-0.4075 m ²
る	13.000×-0.05	-0.6500 m ²
れ	$(-0.05 + -0.036) \times 21.105 \div 2$	-0.9075 m ²
ア	3.5×0	0 m ²
イ	11.3×0	0 m ²
ウ	$3.5 \times 0.02 \div 2$	0.035 m ²
エ	11.3×0	0 m ²
合計		-21.526 m ²
建物周長		368.772 m
		$-21.526 \text{ m}^2 \div 368.772 \text{ m} = -0.058 \text{ m}$
		平均GL=設計GL-58mm=1FL-508mm

凡例

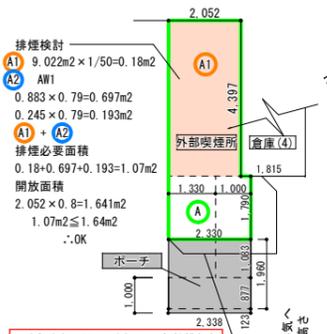
*** の数値は設計GLからのレベルとする

増築範囲を示す。

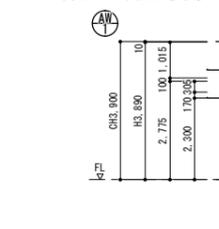
訂正	年月日	内容	鳴門市企業局ポートレース事業課	備考 ※諸官庁指図書等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大庭登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 平均地盤算定図 縮尺 A1 1:200 A3 1:400	設計NO 整理NO	図面NO A-010
----	-----	----	-----------------	---	---	-------------	--	--------------	---------------

■外部喫煙所の排煙検討

外部喫煙所	居室	排煙検討
A	13.19	A1 9.022m ² × 1/50 = 0.18m ²
L	非常照明	0.883 × 0.79 = 0.697m ²
V	機械換気	0.245 × 0.79 = 0.193m ²
S	自然排煙	A1 + A2
	必要排煙面積	0.18 + 0.697 + 0.193 = 1.07m ²
	開放面積	2.052 × 0.8 = 1.641m ²
	開放面積 (外部喫煙所)	1.07m ² ≤ 1.64m ²
	開放面積 (外部喫煙所)	2.79 × 0.26 = 0.729m ²
	開放面積 (外部喫煙所)	4.12 × 0.8 = 3.29m ²
	開放面積 (外部喫煙所)	3.05m ² ≤ 3.29m ²
		∴OK



■外部喫煙所の開放面積根拠



床面積根拠

固定席・立見席	床面積	①	452.40 m ²
合計			452.40 m ²
増築棟・B棟			
舟券売場(1)・舟券売場(3)	床面積	⑤③	204.888 m ²
		②⑤	242.061 m ²
計			446.949 m ²
合計			446.95 m ²

防火区画面積

防火区画①	床面積	A棟	725.56 m ²	
		プランシェ棟	598.79 m ²	
合計			1,324.35 m ²	
防火区画②	床面積	増築棟	⑤③ ~ ⑤⑤	223.33 m ²
		B棟	① ~ ③⑤	1017.16 m ²
合計			1,240.49 m ²	

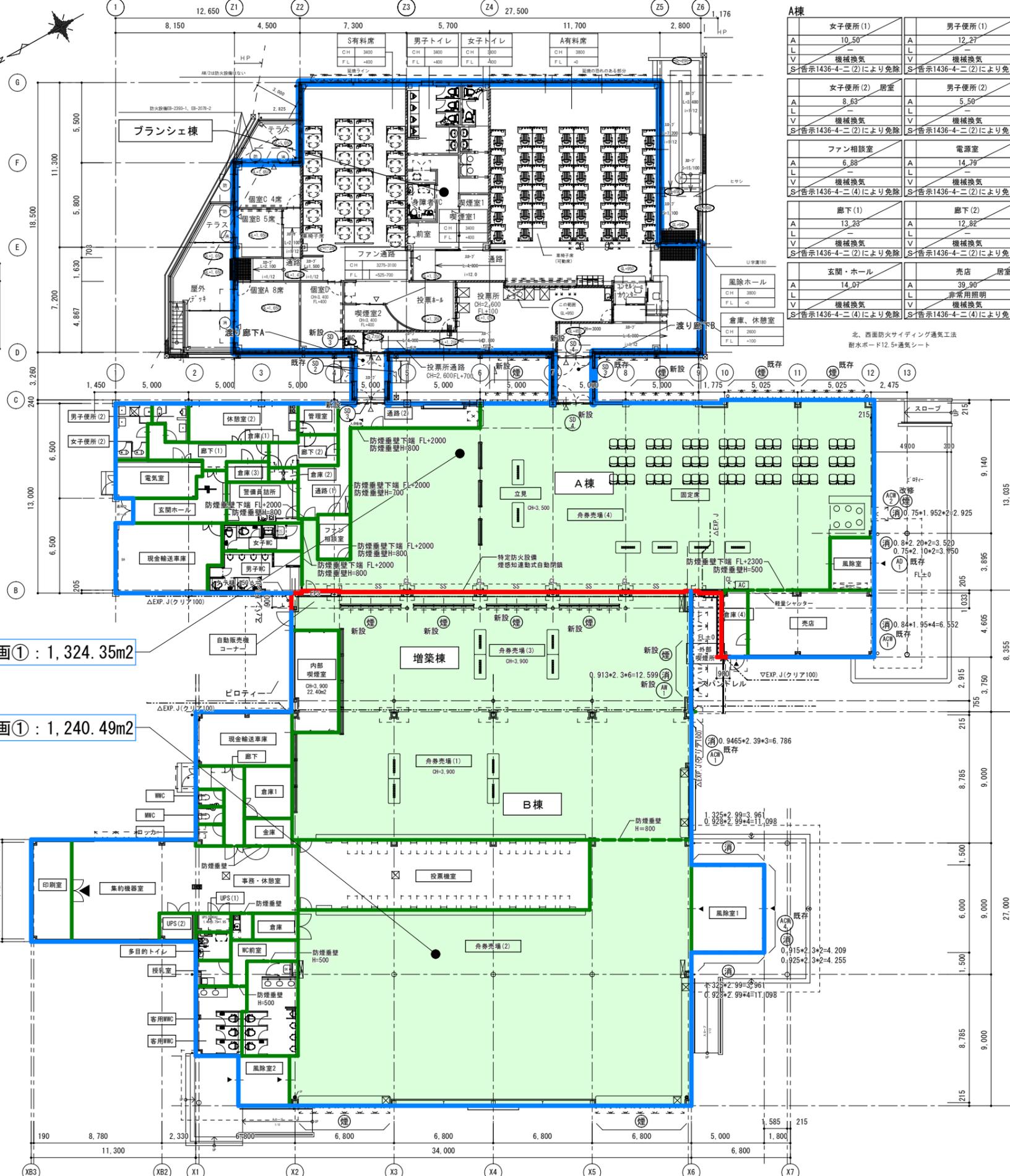
※申請建築には火器の使用はありません。
準耐火戸2任意の為、面積区画は1,500m²区画で考えています。

消防法上の普通階、無窓階の判定

床面積	A (A棟)	725.56 m ²
	C (増築棟)	236.52 m ²
	F (B棟)	1,017.16 m ²
合計		1,979.24 m ²
必要面積		1,979.24m ² /30 = 65.97m ²
有窓対象開口面積		
A棟	ACW1 + ACW2 + AD1	= 16.147
増築棟	AW1	= 12.599
B棟	ACW1 + ACW2	= 45.368
合計		74.114m ²
		∴有窓階

※既存の有窓対象開口面積根拠は既存図参照。
※プランシェ棟は既存図に示す。

- 防火防煙区画
 - 防煙区画 (防煙壁)
 - 防煙区画 (防煙垂壁)
 - 排煙区画
 - 排煙窓
 - 消火活動に有効な開口部
- ・特記なき限り排煙告示はH12建設省告示第1436号四以下に記載している
・改修部分以外の排煙(自然・機械排煙、告示告示適用)については既存図による想定のため、現況と異なる場合があり、その場合、現況を優先します。
・□ 既存のままの室を示す。
・□ 改修により変更された室を示す。
- ※ □、○ はA-007、A-008参照。
※ 既存・新設防煙壁、防煙壁 LGS (不燃) + 不燃PB。



防火区画① : 1,324.35m²

防火区画② : 1,240.49m²

A棟

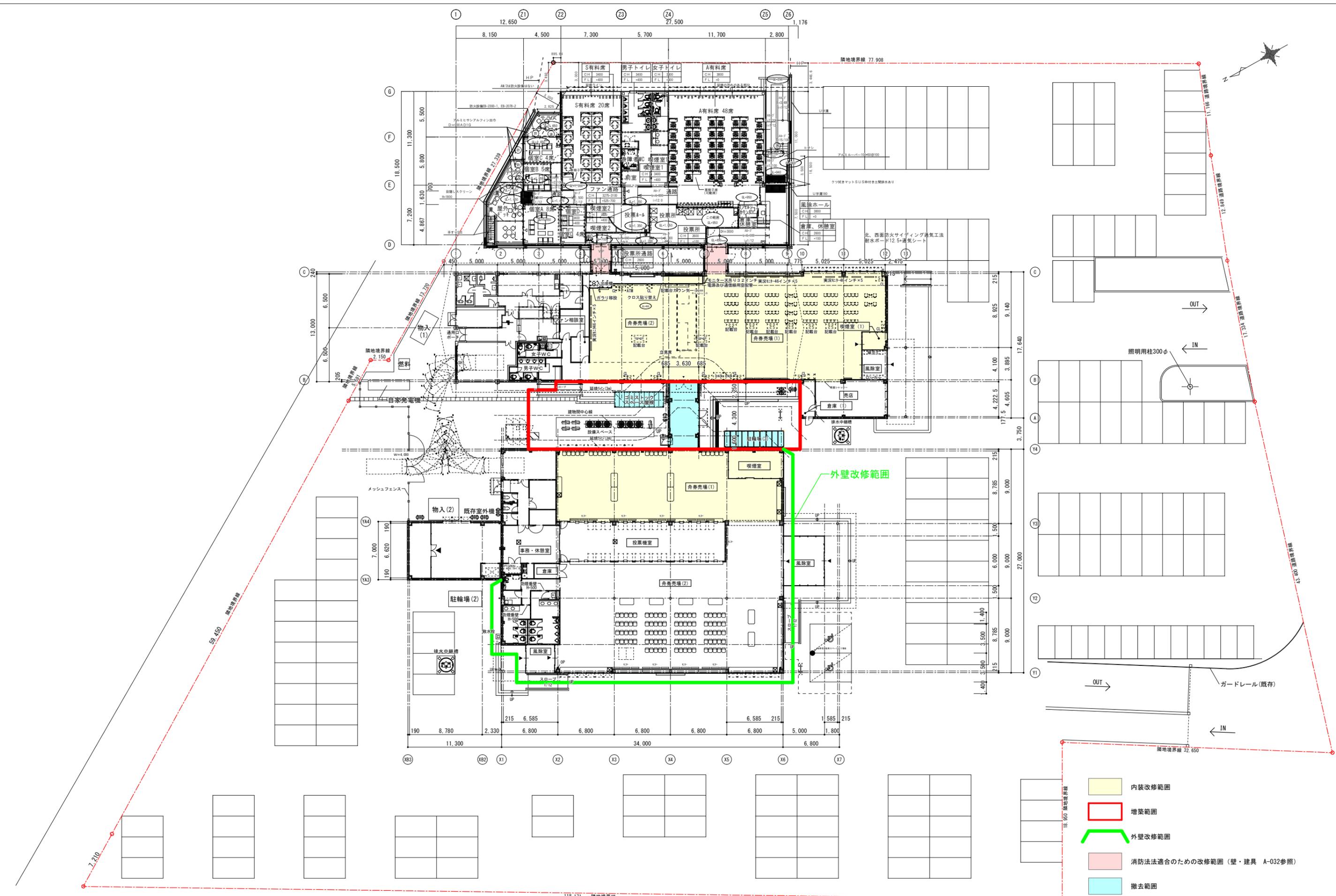
女子便所(1)	男子便所(1)	廊下(1)	現金輸送車庫	管理室
A 10.50	A 12.27	A 13.23	A 32.77	A 5.93
L -	L -	L -	L -	L 非常用照明
V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除
女子便所(2)	男子便所(2)	倉庫(3)	現金輸送車庫	警備員詰所 居室
A 8.63	A 5.50	A 4.06	A 33.16m ² /50=0.66m ²	A 13.85
L -	L -	L -	L 有効排煙面積	L -
V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気	V 自然排煙	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	V 必要排煙面積	S 告示1436-4-2(2)により免除
			33.16m ² /50=0.66m ²	
			有効排煙面積	
			1.185 × 0.575 = 0.68m ²	
			0.66m ² < 0.68m ²	
			∴OK	
ファン相談室	電話室	倉庫(3)	休憩室	舟券売場(4) 居室
A 6.88	A 14.79	A 4.06	A 19.87	A 452.403
L -	L -	L -	L -	L 非常用照明
V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除
廊下(1)	廊下(2)	倉庫(1)	倉庫(2)	舟券売場(4) 居室
A 13.23	A 12.82	A 1.00	A 1.02	A 452.403
L -	L -	L -	L -	L 非常用照明
V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除
玄関・ホール	売店 居室	倉庫(4)	風除室	舟券売場(4) 居室
A 14.07	A 39.90	A -	A 10.88	A 452.403
L -	L 非常用照明	L -	L -	L 非常用照明
V 機械換気	V 機械換気	V -	V 機械換気	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除
				必要排煙面積
				※452.403m ² /50=9.04m ²
				有効排煙面積
				既存AW1 0.80 × 0.6 + 10 × 3.68m ²
				AW2 0.78 × 0.85 + 10 × 0.663m ²
				4.8 × 3.68 + 0.663 = 9.143m ²
				9.04m ² < 9.14m ²
				∴OK
				※ 床面積根拠による。
				EPS
				A 0.82
				L -
				V -
				S 告示1436-4-2(2)により免除

増築棟・B棟

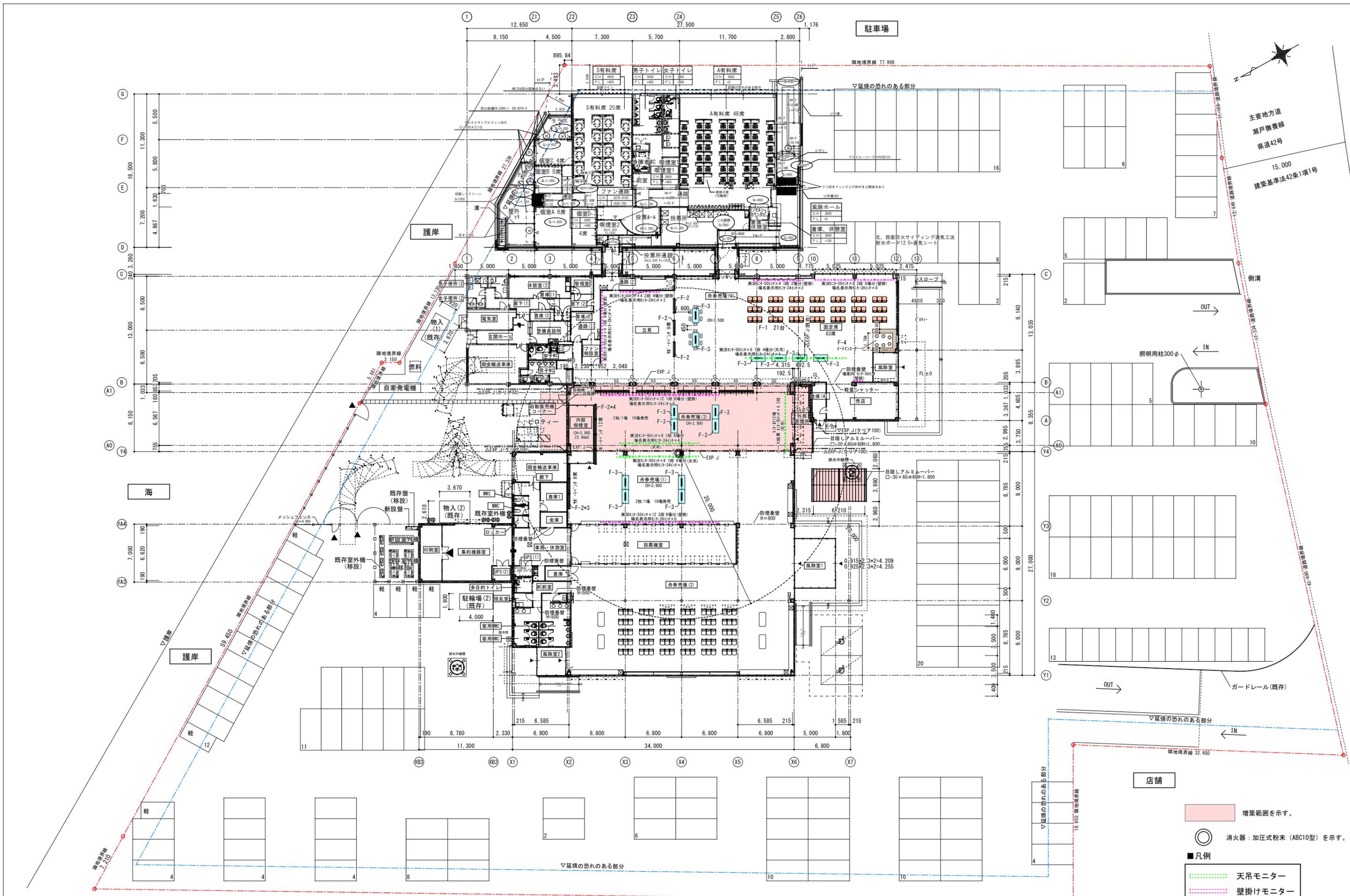
舟券売場(1)	居室	増築棟	内部喫煙所 居室
A 446.95		A 22.40	
L 非常照明		L 非常照明	
V 機械換気		V 機械換気	
S 告示1436-4-2(2)により免除		S 告示1436-4-2(2)により免除	
現金輸送車庫	廊下	現金輸送車庫	廊下
A 24.54	A 10.76	A 24.54	A 10.76
L -	L -	L -	L -
V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除

WWC	ロッカ	倉庫1
A 2.30	A 2.86	A 11.79
L -	L -	L -
V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除
MWC	金庫	投票機室
A 2.30	A 6.24	A 96.14
L -	L -	L -
V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除
UPS(2)	UPS(1)	多目的トイレ
A 4.89	A 3.13	A 4.69
L -	L -	L -
V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除
印刷室	客用WWC	客用WWC
A 19.53	A 15.63	A 23.76
L -	L -	L -
V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除
風除室1	倉庫2	授乳室
A 30.00	A 5.72	A 4.27
L -	L -	L -
V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除
風除室2	事務・休憩室	舟券売場(2)
A 11.99	A 35.18 54.67	A 396.15
L -	L -	L 非常用照明
V 機械換気	V 機械換気	V 機械換気
S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除	S 告示1436-4-2(2)により免除
WC前室		自然排煙
A 8.53		必要排煙面積
L -		396.15m ² /50=7.92m ²
V 機械換気		有効排煙面積
S 告示1436-4-2(2)により免除		(0.90 × 0.70) × 12 = 7.92m ²
		7.92m ² < 7.92m ²
		∴OK

工種	工事内容	本工事	別途工事			工種	工事内容	本工事	別途工事			工種	工事内容	本工事	別途工事					
			投票	映像、音響 成績、通信	その他				投票	映像、音響 成績、通信	その他				投票	映像、音響 成績、通信	その他			
開発 駐車場・外構 工事	建築	1 設計 2 舗装、圍障、排水、植栽	●		●	分電盤・端子盤設備	1 別途工事に關わる盤の設計 2 上記以外のすべて		●	●		投票システム (設計共別途※)	1 自動機の用意及び設置 2 通信ケーブル配線、接続 3 電源送り、コンセント設置、通信ケーブルのルート確保 4 自動機と窓枠間の隙間埋め 5 上記以外のすべて		●		●	電気工事		
	電気設備	1 なし				CVCF(UPS)設備	1 別途工事に關わる盤の設計 2 上記以外のすべて		●	●										
	機械設備	1 なし				照明設備	1 施設の照明工事 2 駐車場の照明工事						映像システム (設計共別途※)	1 モニター、壁掛金物の用意及び設置 2 モニター用取付下地設置 3 投票所内ラック用ベース、吊モニター金物、映像ケーブルの支給 4 投票所内ラック用ベース、吊モニター金物、映像ケーブルの設置 5 映像ケーブル接続 6 電源送り、コンセント設置、通信ケーブルのルート確保 7 吊モニター金物取付、点検口設置 8 上記以外のすべて	●		●			
解体 工事	建築	1 既存建物、アスファルト舗装、境界フェンス	●			コンセント設備	1 全工事					音響・放送システム (設計共別途※)	1 スピーカーの用意及び設置、音響ケーブル支給 2 音響ケーブル配線 3 音響ケーブル接続 4 スピーカー天井開口(補強共) 5 電源送り、コンセント設置(必要な場合)、通信ケーブルのルート確保 6 上記以外のすべて			●		●		
	電気設備	1 既存建物に關わる部分が必要な場合	●			電話設備	1 構内から端子盤までの配線ルート確保 2 構内から端子盤までの通信ケーブル配線 3 端子盤から接続機器までの通信ケーブル配線、接続 4 回線申し込み											●	●	
	機械設備	1 既存建物に關わる部分が必要な場合	●			TV共聴設備	1 なし													●
建築 工事	天井	1 全工事	●			インターホン設備	1 全工事					成績表示システム (設計共別途※)	1 モニター、壁掛金物の用意及び設置 2 モニター用取付下地設置 3 投票所内ラック用ベース、吊モニター金物、映像ケーブルの支給 4 投票所内ラック用ベース、吊モニター金物、映像ケーブルの設置 5 映像ケーブル接続 6 電源送り、コンセント設置、通信ケーブルのルート確保 7 吊モニター金物取付、点検口設置 8 上記以外のすべて	●		●		●		
	壁	1 全工事	●			消火器設備	1 全工事													●
	柱	1 全工事	●			自動火災報知設備	1 全工事					光通信設備 (設計共別途※)	1 構内から端子盤までの配線ルート確保 2 構内から端子盤までの通信ケーブル配線 3 端子盤から接続機器までの通信ケーブル配線、接続 4 上記以外のすべて			●	●	●	●	
	床	1 全工事	●			非常警報設備	1 全工事													
	内部造作	1 全工事	●			非常照明・誘導灯設備	1 全工事					有料席入退室 管理システム	1 全工事	●						
	防煙垂壁	1 全工事	●			給水設備	1 全工事					有料席座席 管理システム	1 全工事	●						
	外部・外構	1 コンクリート舗装 2 設備スペース(基礎、目隠しフェンス)	●			排水設備	1 全工事					監視カメラ設備	1 監視カメラ、監視カメラ設置、監視カメラケーブル支給 2 天井開口(補強共) 3 監視カメラケーブル配線 4 監視カメラケーブル接続 5 電源送り、コンセント設置 6 上記以外のすべて	●		●	●	●		
	サイン	1 上記以外のすべて	●			衛生設備	1 全工事													●
	電気 設備 工事	受変電設備	1 全工事			電気工事	換気設備	1 全工事					機械警備 (設計共別途)	1 配線ルート確保 2 上記以外のすべて	●					●
		幹線設備	1 全工事			電気工事	空調設備	1 全工事												



訂正	年月日		鳴門市企業局ポートルース事業課 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 ステデザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大田登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO 図面名称 工事範囲図(カラー)	図面NO 整理NO A-014
	縮尺 A1 1:200 A3 1:400							

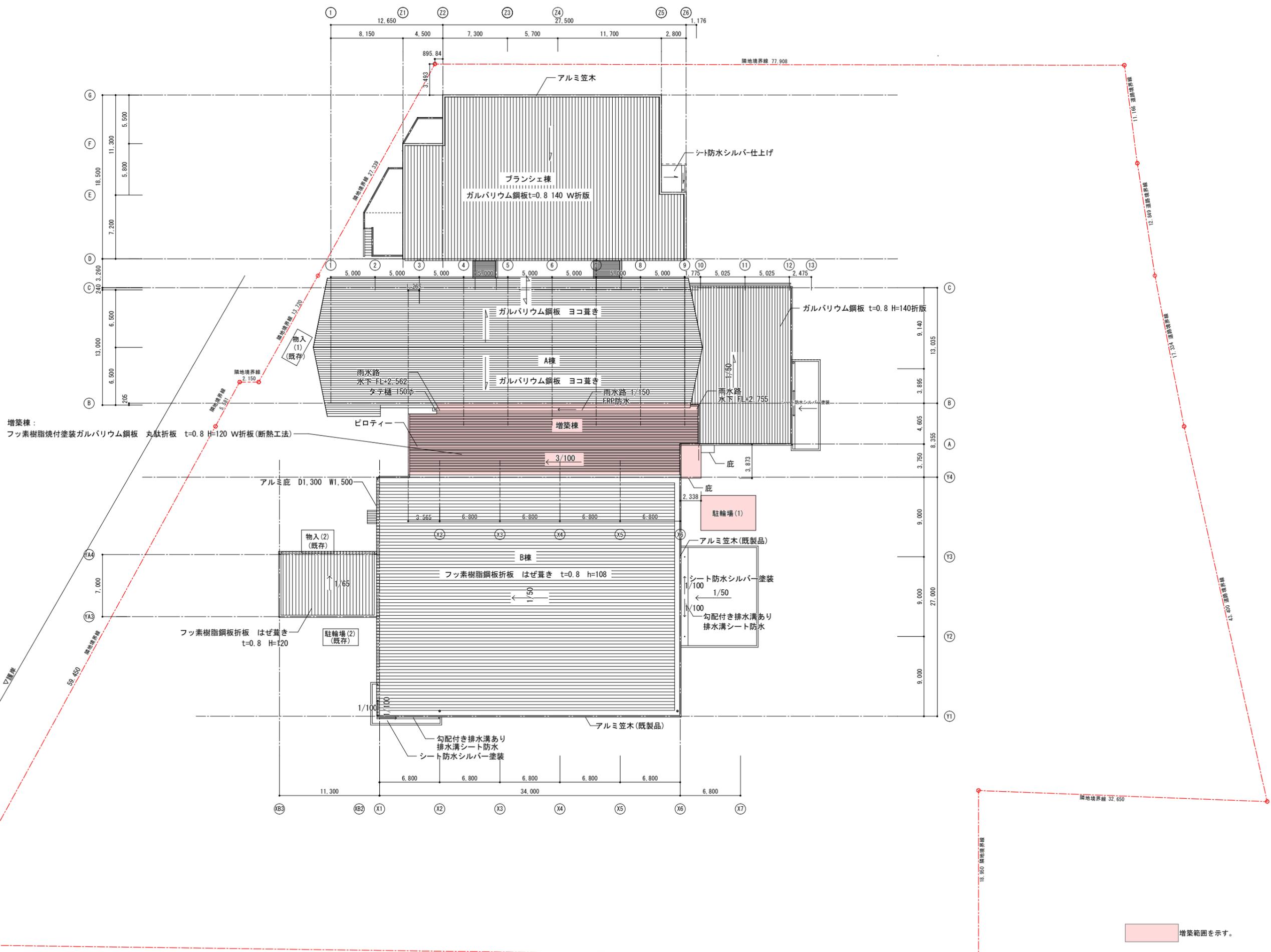


主要地方道
瀬戸無養線
県道42号
15,000
建築基準法42条1項1号

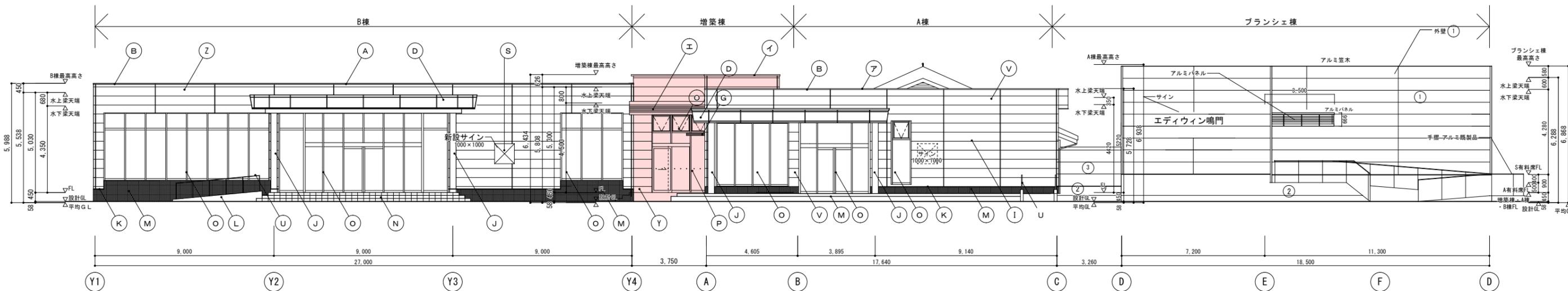
店舗

- 増築範囲を示す。
- 消火器：加圧式粉末（ABC10型）を示す。
- 凡例
- 天吊モニター
- 壁掛けモニター

訂正		鳴門市企業局ポータル事業課 備考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※既設が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 ステデザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大匠 登録第164276号 中野 和敏 東京都田原区東平2-14-40-1 タスビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8280	作成 承認 発行	工事名称 エディウイン鳴門一般乗機増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 全体配置図兼平面図	設計NO 整理NO A1 1:200 A3 1:400	図面NO A-015
----	--	---	--	-------------	--	--------------------------------------	---------------

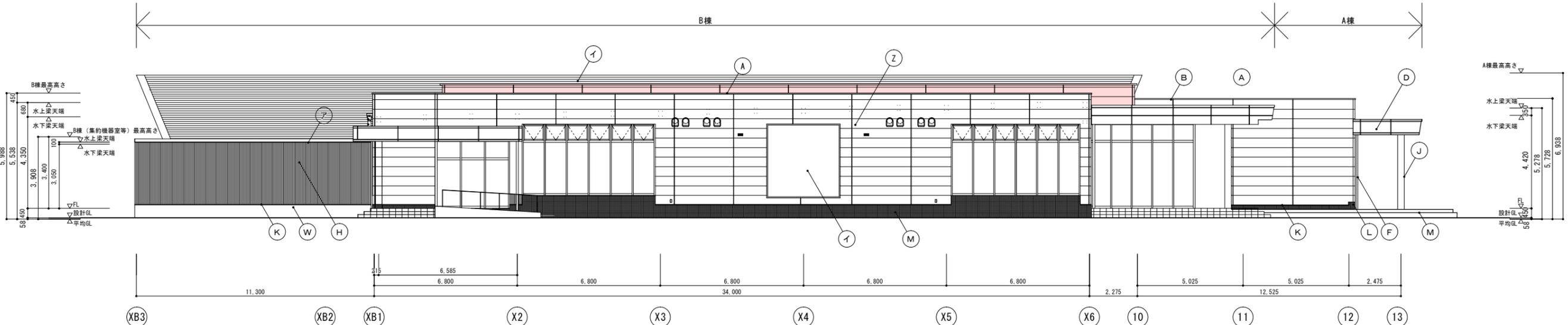


訂正	年月日	内容	備考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大田登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 全体屋根伏図	設計NO 整理NO 縮尺 A1 1:200 A3 1:400	図面NO A-016
	年月日	内容						



南側立面図

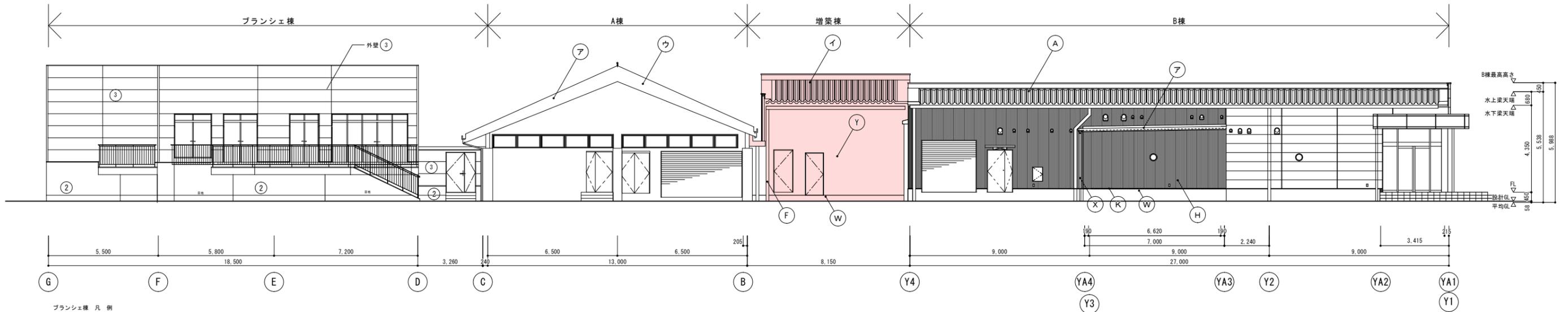
- ブランシェ棟 凡例
- ① 外壁 ①：東面及び南面は押出成形セメント板 ア 60の上フッ素塗装(白色)
 - ② 基礎幅木 ②：コンクリート打ち出し、フッ素塗装H=300目地切
 - ③ 外壁 ③：北面、西面及び遮廊下はサイディング張り



西側立面図

増築範囲を示す。
この範囲においては詳細別図による。

凡例					
Ⓐ 屋根 フッ素樹脂塗装鋼板折板 はげ葺 t=0.8 H=108	Ⓕ 縦樋 カラーVU 150φ	Ⓚ 水切 フッ素鋼板	Ⓟ 欠番	Ⓤ 手すり ステンレス HL	Ⓩ 外壁 既存外壁の上、サイディング張 t=16
Ⓑ 窓木 アルミ既製品	Ⓞ 庇 軒天アルミ	Ⓛ 立ち上がり コンクリートの上50角モザイクタイル貼	Ⓠ 欠番	Ⓥ 扉板 カラーガルバリウム鋼板	Ⓩ 屋根 フッ素樹脂塗装折板 はげ葺 t=0.8 H=120
Ⓒ 水切・カバ 包み フッ素鋼板	Ⓡ 外壁 防水ボード12.5下地のフッ素樹脂塗装鋼板 スパンデル K型スパン0.5	Ⓜ 縦壁 コンクリートの上50角モザイクタイル貼	Ⓡ 欠番	Ⓦ 立ち上がり モルタル刷毛引き	Ⓨ 屋根 フッ素樹脂塗付塗装 丸葺折板 t=0.8H=120折板
Ⓓ 幕板 アルミパネル貼	Ⓢ 外壁(防火構造：国交省告示1359号) 同上	Ⓝ 立ち上がり コンクリートの上300角磁器質タイル	Ⓢ サイン 内照式 アルミ枠 インクジェットシート貼	Ⓧ 縦樋 カラーVU 100φ	Ⓩ 水切り・破風板 カラーガルバリウム鋼板
Ⓔ 軒樋 塩ビ既製品	Ⓣ 鉄骨柱 溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装	Ⓞ 器具 アルミサッシ 二次電解着色	Ⓣ サイン ステンレス箱文字 焼付塗装 H=1,000	Ⓨ 外壁 サイディング張 t=16	Ⓨ 庇 アルミパネル



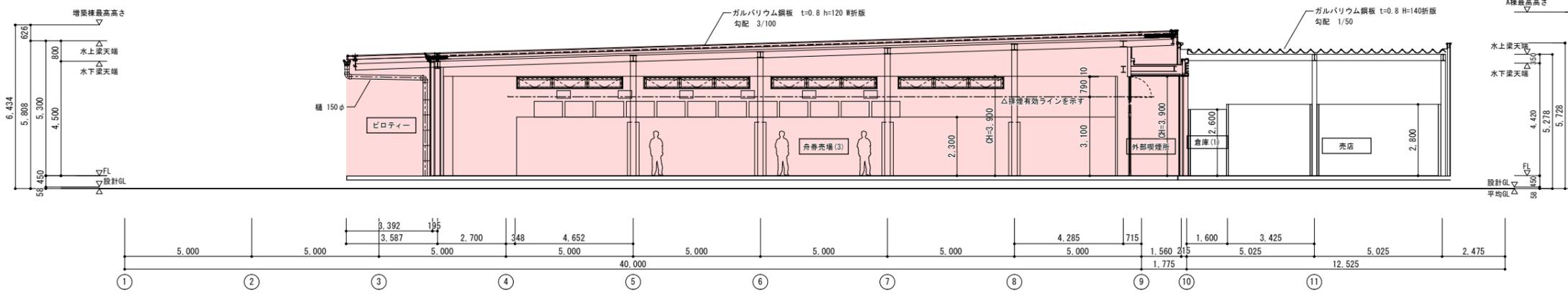
北側立面図

- プランシエ棟 凡例
- ① 外壁 ① : 東面及び南面は押出成形セメント板 A 60の上フッ素塗装(白色)
 - ② 基礎幅木 ② : コンクリート打ち放し、フッ素塗装H=300目地切
 - ③ 外壁 ③ : 北面、西面及び遠端下はサイディング張り

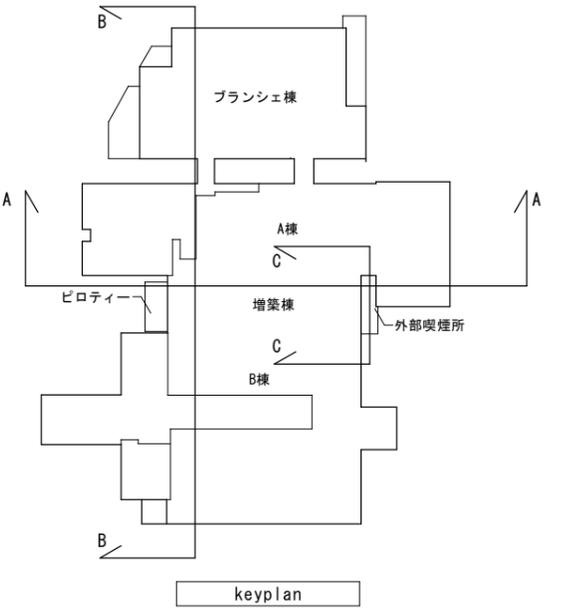
増築範囲を示す。
この範囲においては詳細別図による。

凡例									
(A) 屋根 フッ素樹脂塗装鋼板折板 はず葺 t=0.8 H=108	(F) 縦樋 カラーVU 150φ	(K) 水切 フッ素鋼板	(P) 欠番	(U) 手すり ステンレス HL	(Z) 外壁 既存外壁の上、サイディング張 t=16				
(B) 窓木 アルミ既製品	(G) 庇 軒天アルミ	(L) 立ち上がり コンクリートの上50角モザイクタイル貼	(Q) 欠番	(V) 扉板 カラーガルバリウム鋼板	(ア) 屋根 フッ素樹脂塗装鋼板折板 はず葺 t=0.8 H=120				
(C) 水切・サバ 包み フッ素鋼板	(H) 外壁 耐水ボード12.5下地のフッ素樹脂塗装鋼板 スパンドレル K型スパン0.5	(M) 縦壁 コンクリートの上50角モザイクタイル貼	(R) 欠番	(W) 立ち上がり モルタル刷毛引き	(イ) 屋根 フッ素樹脂塗付塗膜 丸貼折板 t=0.8H=120断折板				
(D) 幕板 アルミパネル貼	(I) 外壁(防火構造: 国交省告示1359号) 同上	(N) 立ち上がり コンクリートの上300角磁器質タイル	(S) サイン 内照式 アルミ枠 インクジェットシート貼	(X) 縦樋 カラーVU 100φ	(ウ) 水切り・破風板 カラーガルバリウム鋼板				
(E) 軒樋 塩ビ既製品	(J) 鉄骨柱 溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装	(O) 器具 アルミサッシ 二次電解着色	(T) サイン ステンレス箱文字 焼付塗装 H=1,000	(Y) 外壁 サイディング張 t=16	(エ) 庇 アルミパネル				

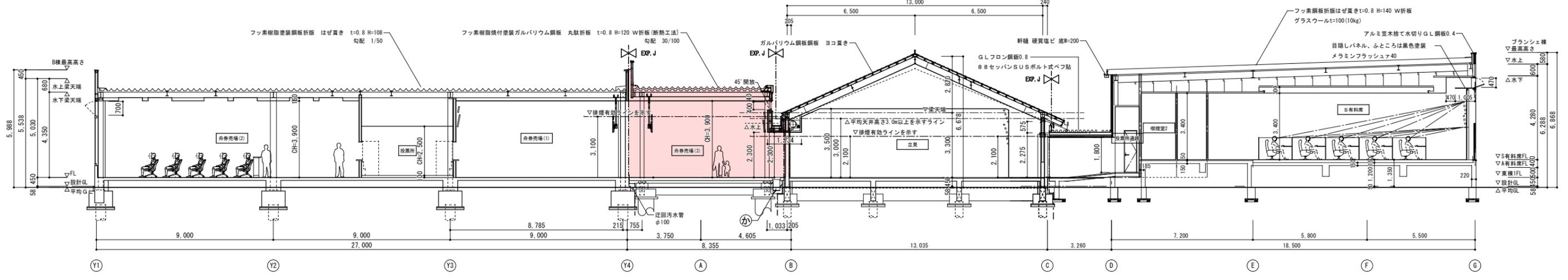
訂正	年月日	内容	鳴門市企業局ポートルース事業課	備考 ※建築仕様等の変更により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※状況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大塚登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 立面図(2)	設計NO 整理NO 縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面NO A-018
----	-----	----	-----------------	---	---	-------------	---	--	---------------



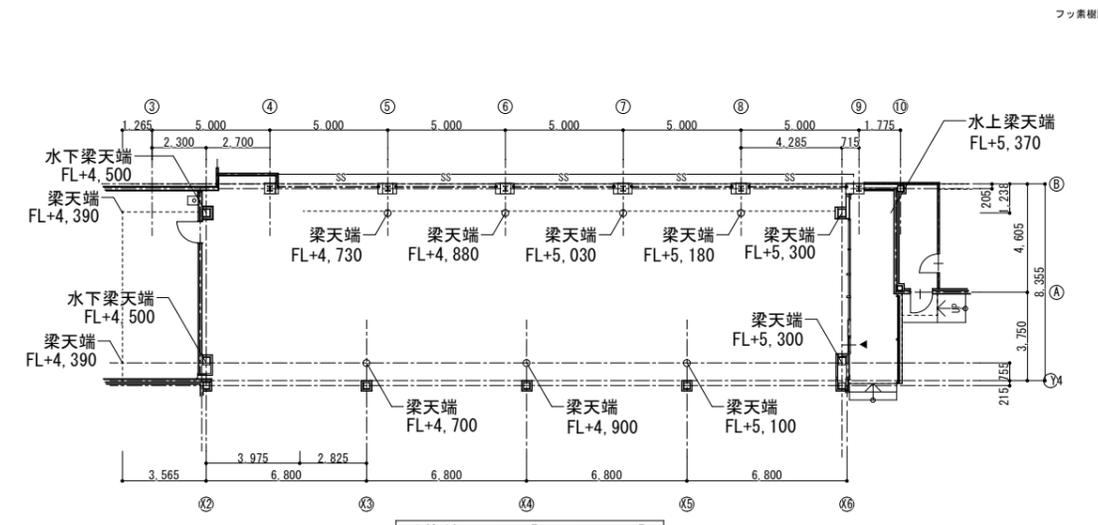
A-A断面図



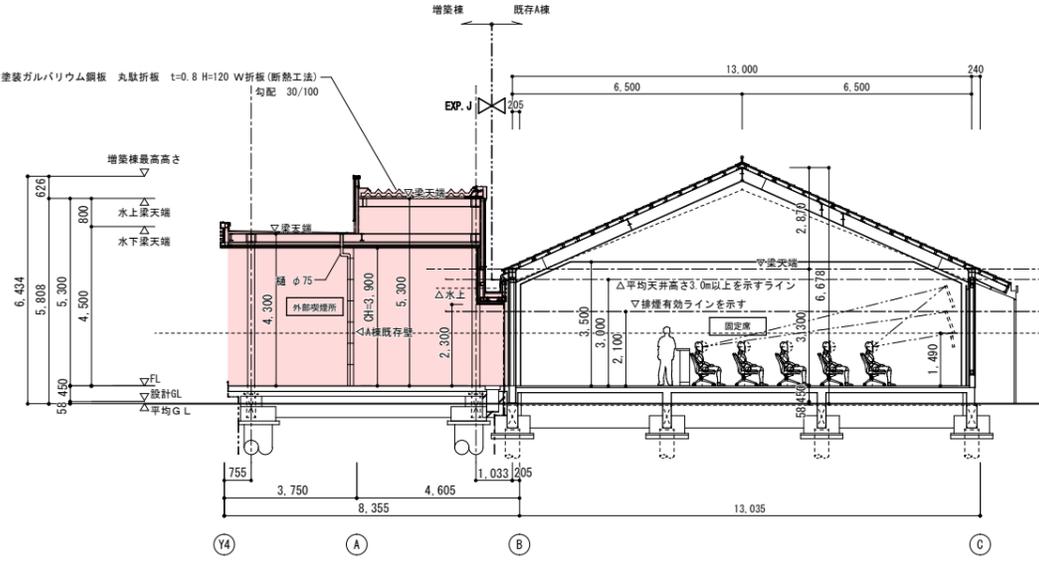
keyplan



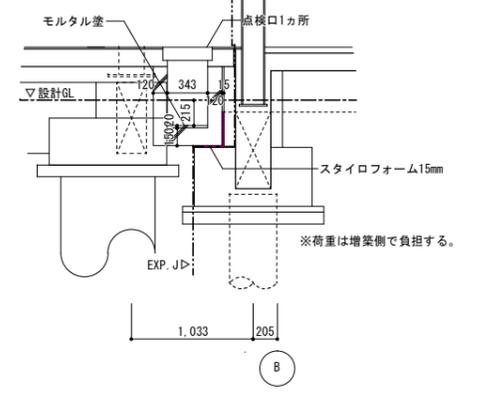
B-B断面図



増築棟平面図【梁天レベル】



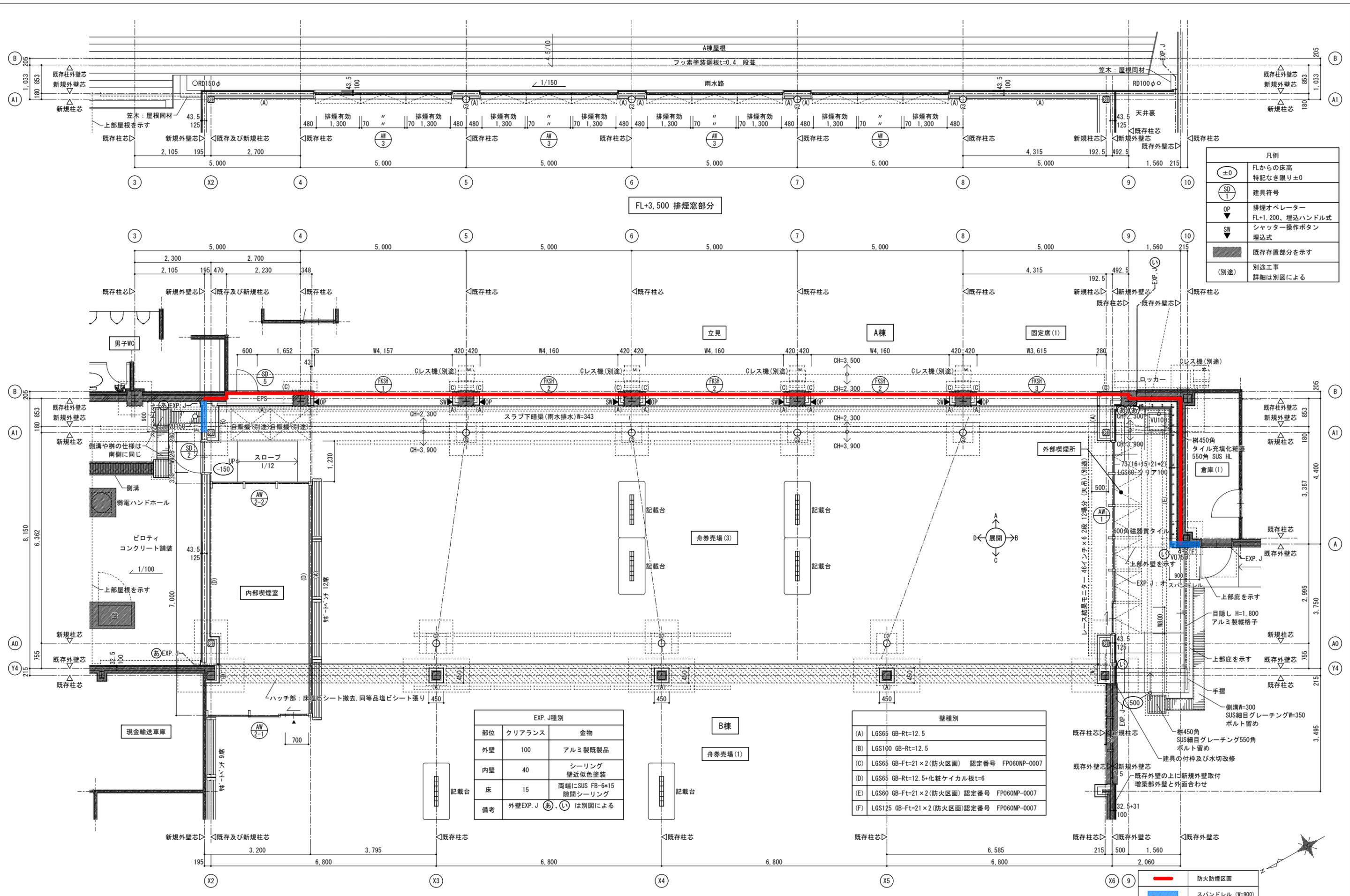
C-C断面図



部詳細図

増築範囲を示す。

訂正	年月日	内容	備考	作成	承認	発行	工事名称	設計NO	図面NO	
			※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大畑登録第164276号 中野 和敬 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289			エディヴィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事	図面名称 断面図	図面NO A1 1:100 A3 1:200	整理NO A-019



凡例

(±0)	FLからの床高 特記なき限り±0
(SD)	建具符号
OP	排煙オペレーター FL+1.200、埋込ハンドル式 シャッター操作ボタン
SW	埋込式
(陰影)	既存存置部分を示す
(別途)	別途工事 詳細は別図による

EXP. J種別

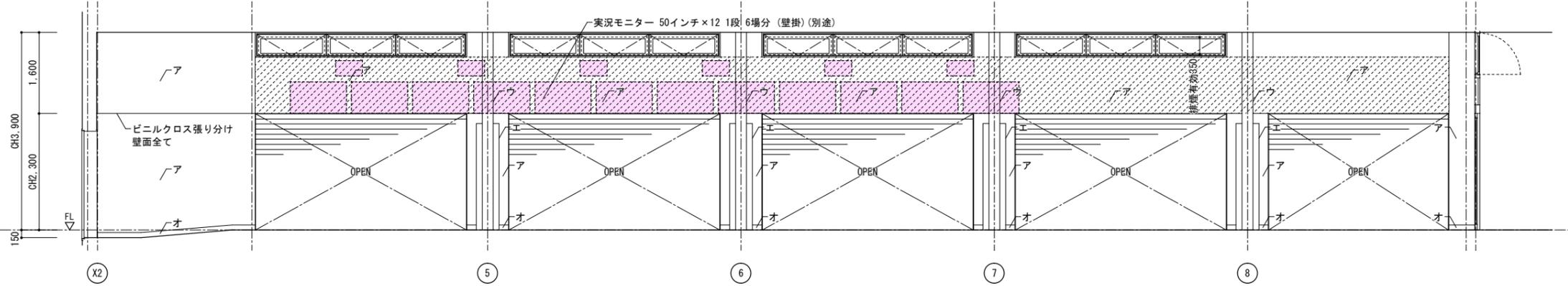
部位	クリアランス	金物
外壁	100	アルミ製既製品
内壁	40	シーリング 壁近似色塗装
床	15	両端にSUS FB-6*15 隙間シーリング
備考	外壁EXP. J (ア)、(イ) は別図による	

壁種別

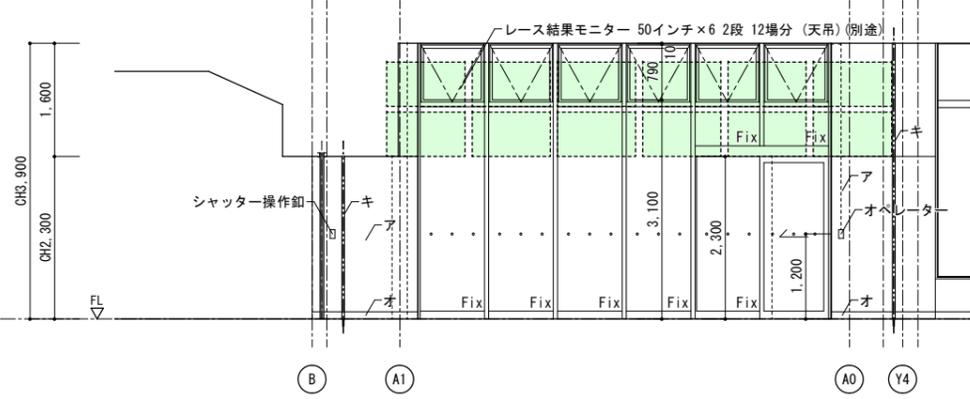
(A)	LGS65 GB-Rt=12.5
(B)	LGS100 GB-Rt=12.5
(C)	LGS65 GB-Ft=21×2(防火区画) 認定番号 FP060NP-0007
(D)	LGS65 GB-Rt=12.5+化粧化粧板t=6
(E)	LGS60 GB-Ft=21×2(防火区画) 認定番号 FP060NP-0007
(F)	LGS125 GB-Ft=21×2(防火区画)認定番号 FP060NP-0007

(赤線)	防火防煙区画
(青線)	スバンドレル (W=900)

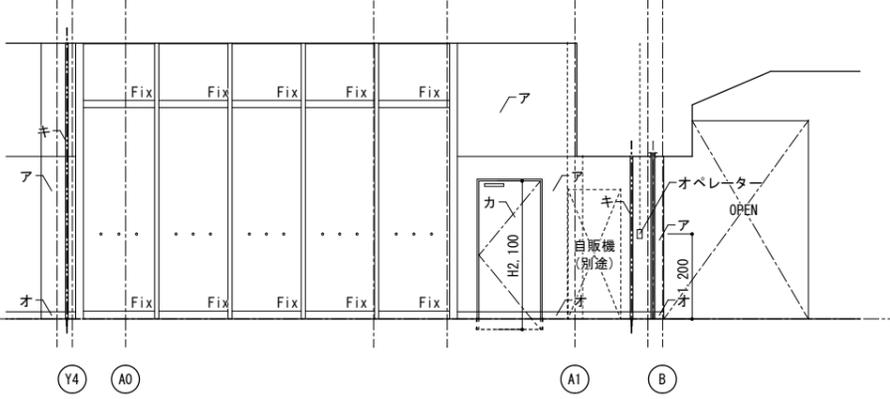
舟券売場(3) A



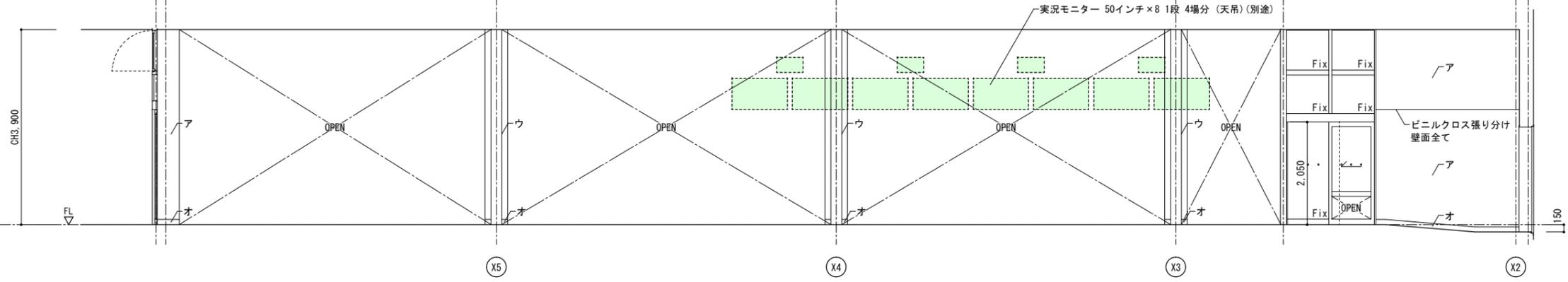
B



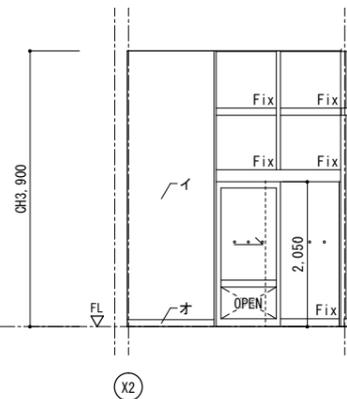
D



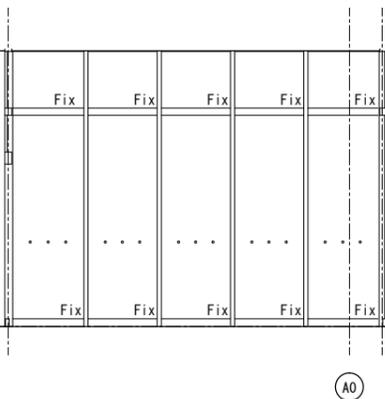
C



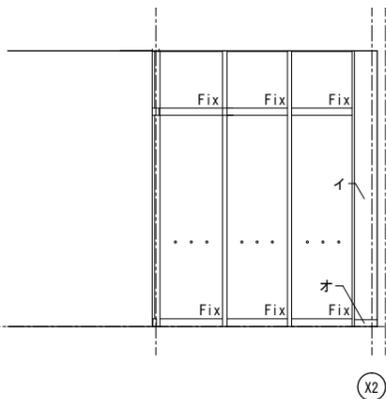
内部喫煙室 A



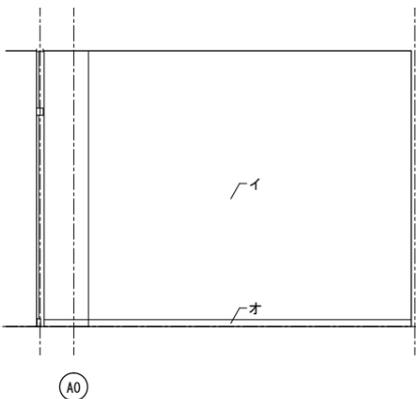
B



C

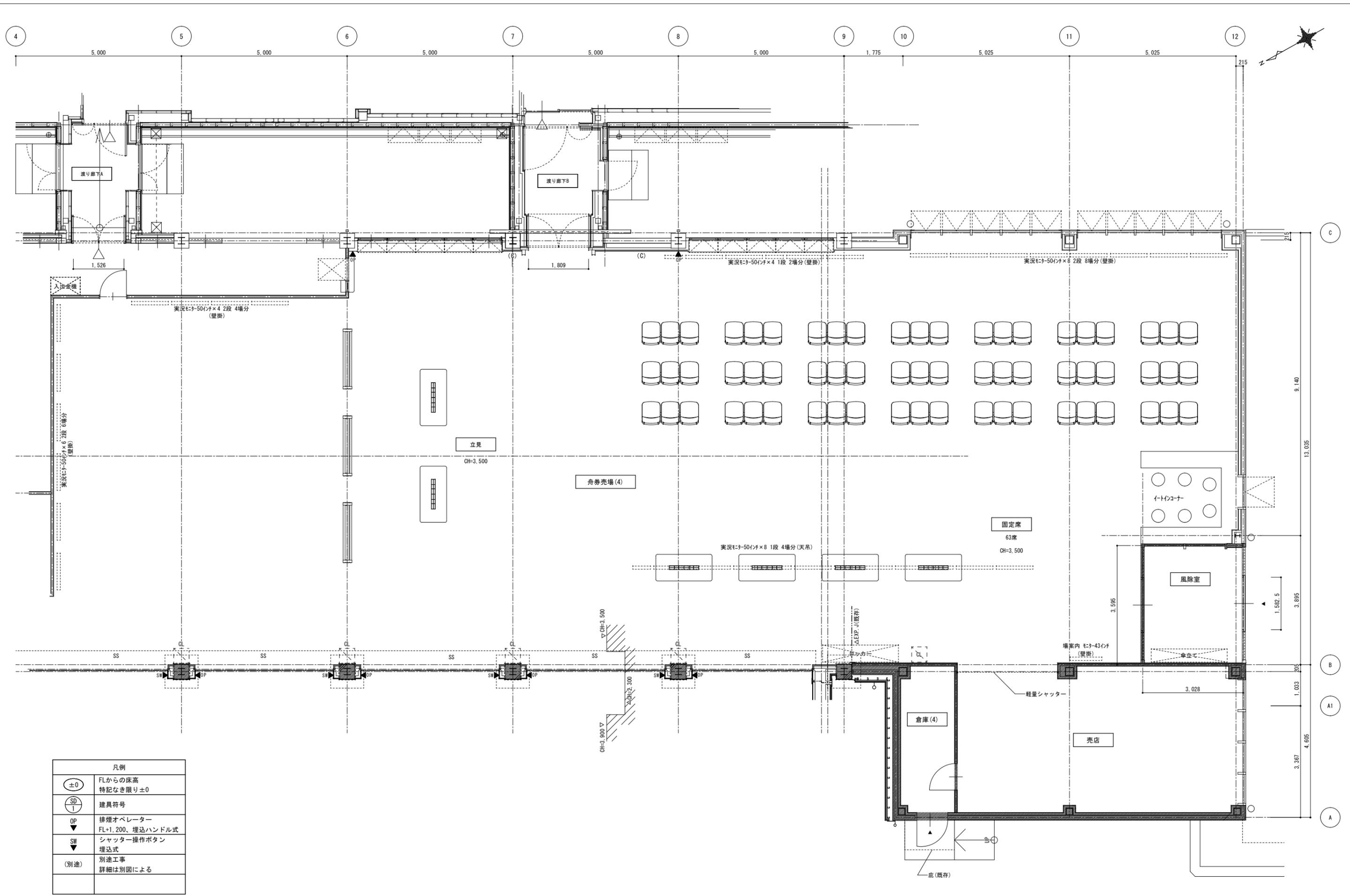


D

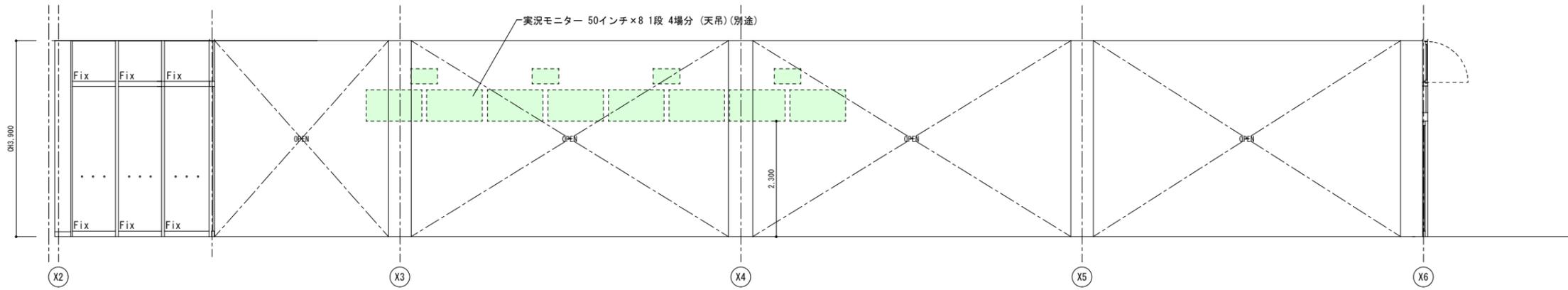


凡例		
ア	壁	ビニルクロス GB-Rt=12.5下地
イ	壁	化粧ケイカル板t=6 GB-Rt=12.5下地
ウ	丸柱	防錆塗装の上SOP
エ	コンクリート柱	下地処理の上AEP
オ	巾木	ビニル巾木 H=100
カ	建具	防錆塗装の上SOP
キ	EXP. J	シーリング 壁面近似色塗装

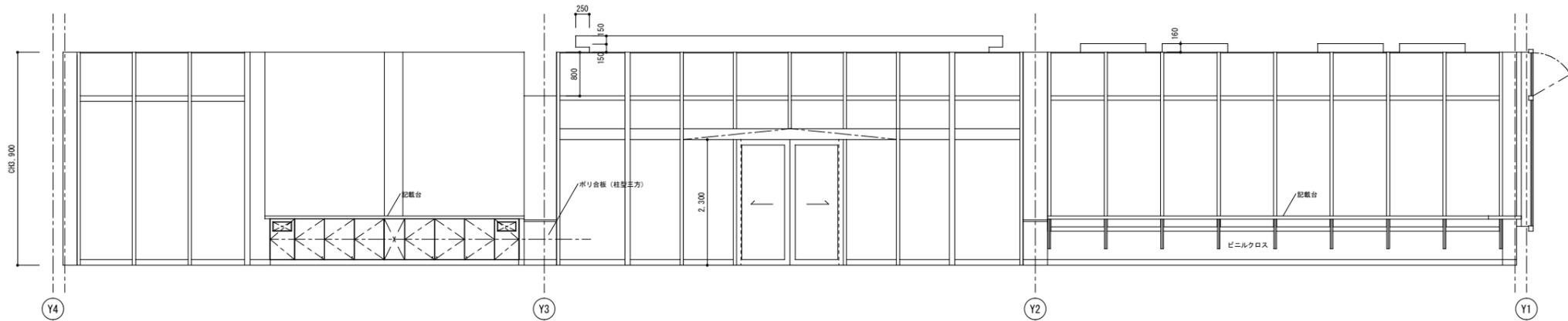
壁掛モニター設置箇所は、GB-Rt=12.5×1枚の下に合板=12×1枚 (計2枚張り) 壁面近似色塗装
その他の同面壁はGB-Rt増し張り (2枚張り) 仕上面を同面とする。



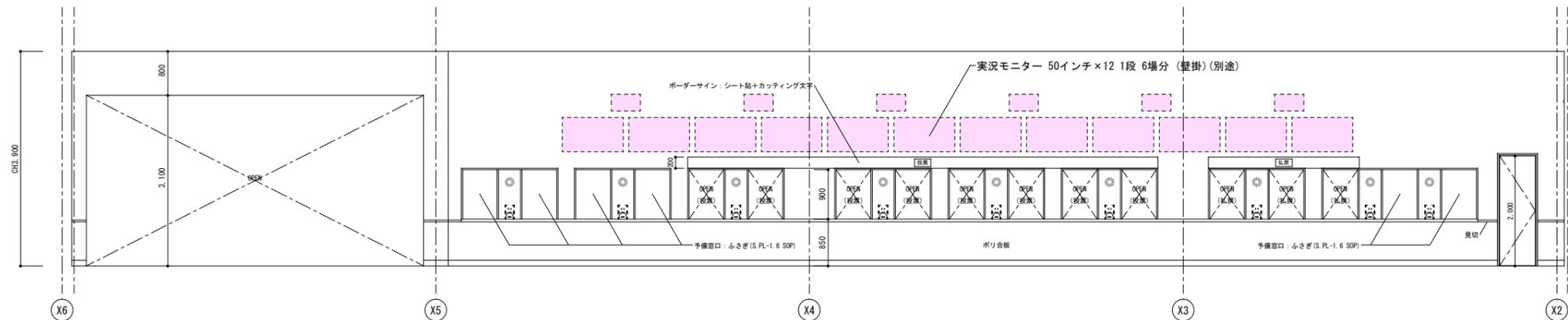
凡例	
±0	FLからの床高 特記なき限り±0
SD I	建具符号
DP ▼	排煙オペレーター FL+1,200、埋込ハンドル式
SW ▼	シャッター操作ボタン 埋込式
(別途)	別途工事 詳細は別図による



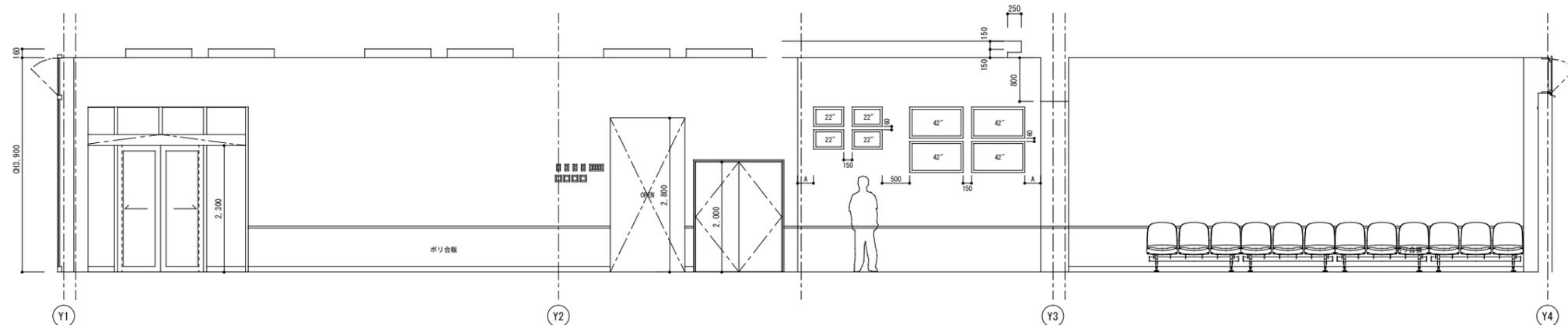
船券売場(1) A



船券売場(1) (2) B



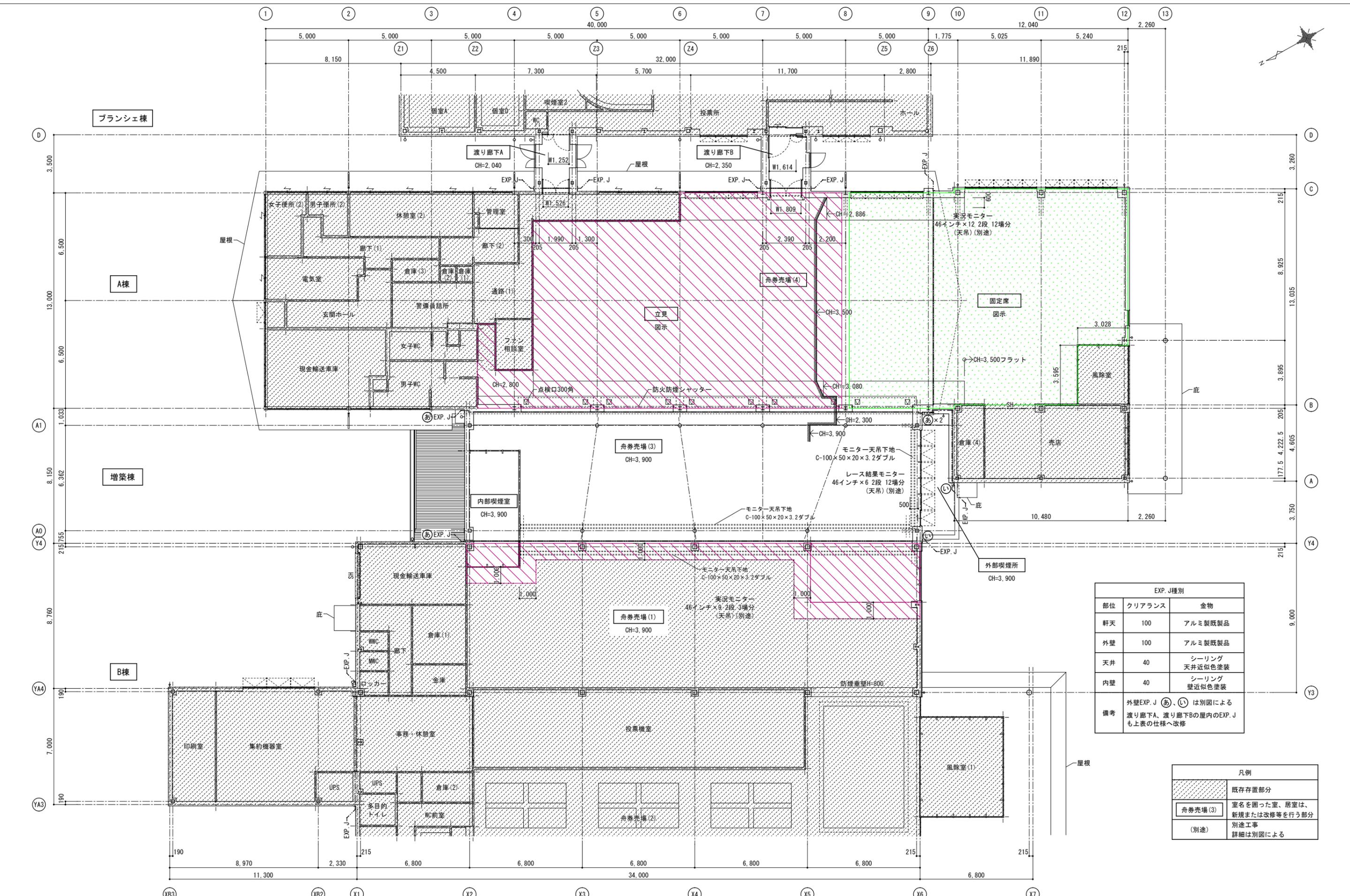
船券売場(1) C



船券売場(1) (2) D



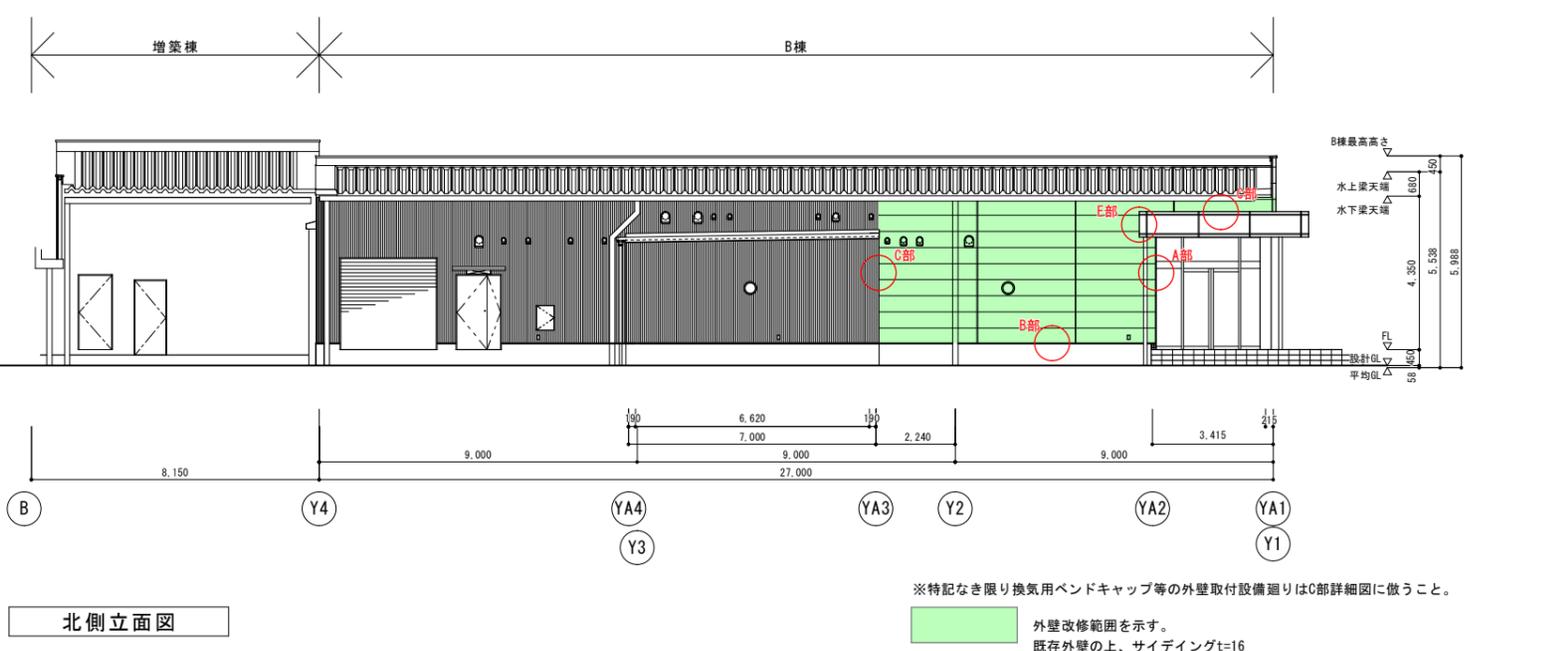
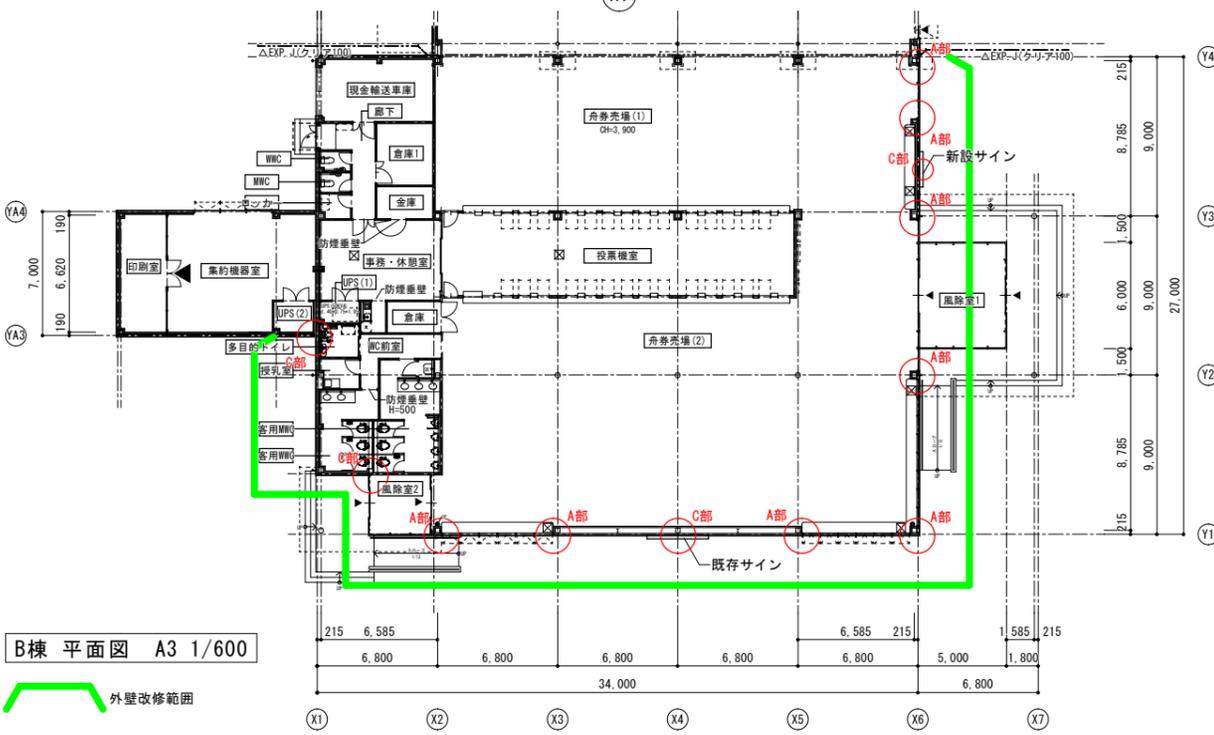
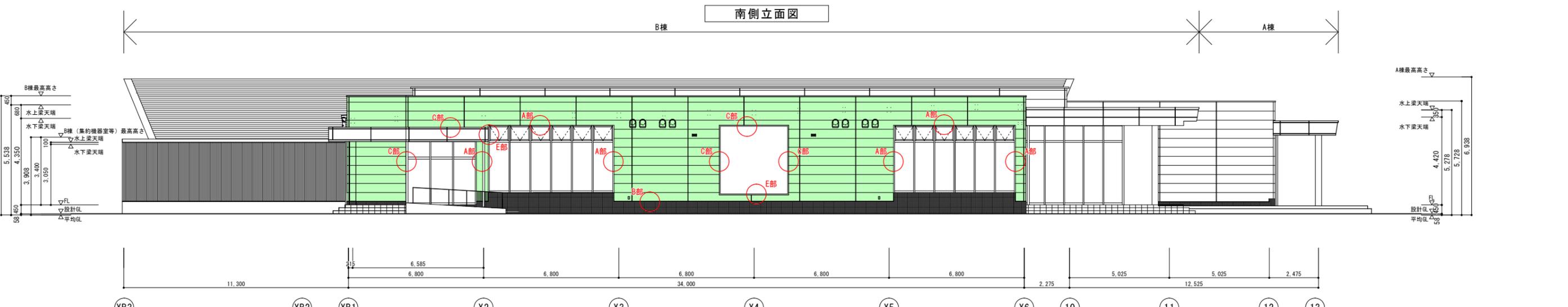
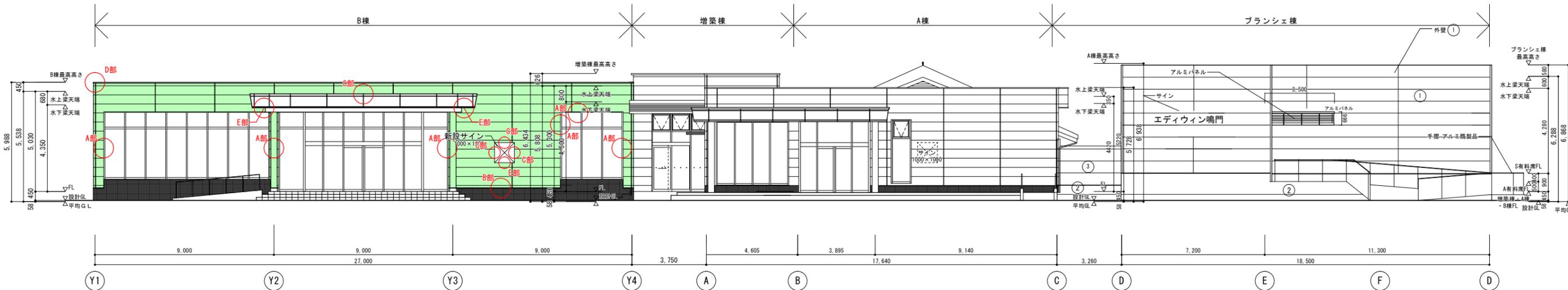
訂正	年月日		備考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	備考 株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区東甲2-14-6 ロータスビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO	図面NO
							整理NO	A-025
					発行	図面名称 B棟 展開図(改修)	縮尺 A1 1:50 A3 1:100	



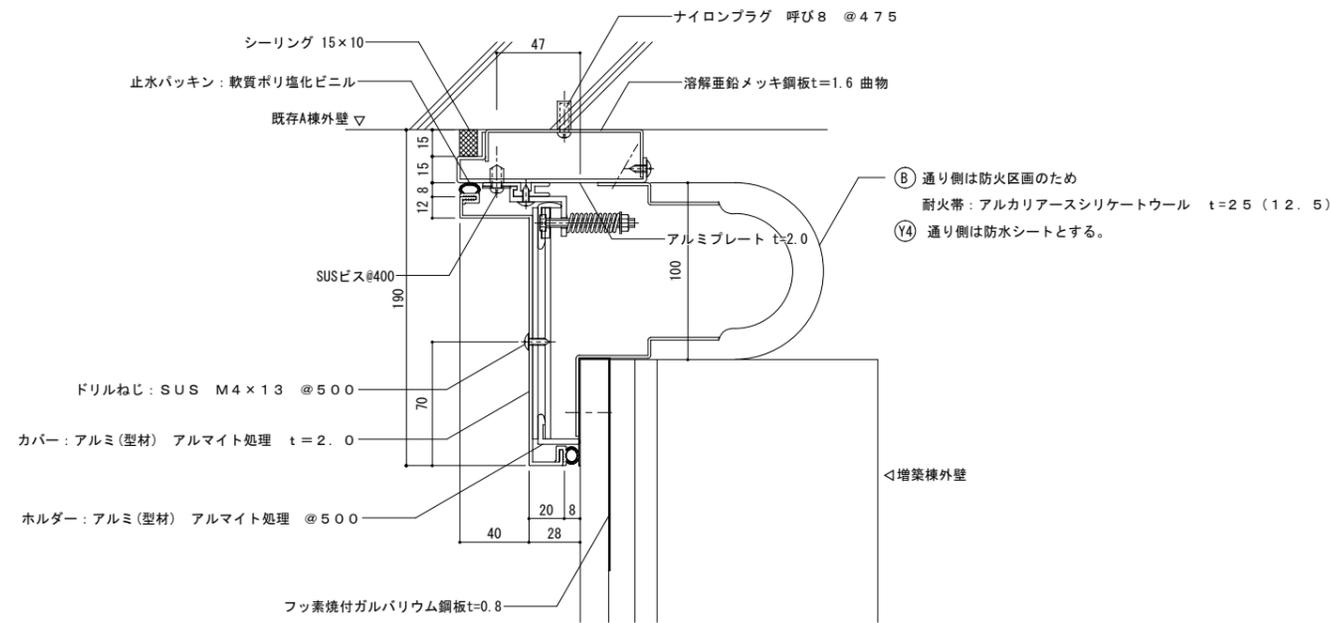
EXP. J種別		
部位	クリアランス	金物
軒天	100	アルミ製既製品
外壁	100	アルミ製既製品
天井	40	シーリング 天井近似色塗装
内壁	40	シーリング 壁近似色塗装
備考	外壁EXP. J (あ)、(い) は別図による 渡り廊下A、渡り廊下Bの屋内のEXP. J も上表の仕様へ改修	

凡例	
	既存存置部分
	室名を囲った室、居室は、 新規または改修を行う部分
(別途)	別途工事 詳細は別図による

特記仕様・凡例	建具種類 建具符号	建具形式 使用場所	法規制 数量	AW 1	外倒し窓+FIX窓+片引き戸 舟券売場(3)	— 1	AW 2-1	FIX窓+片引き戸 内部喫煙室	— 1	AW 2-2	FIX窓 内部喫煙室	— 1			
■ 建具種類 WD 木製戸 SMD 鋼製枠木製戸 SD 鋼製戸 LSD 軽量鋼製戸 FSD 防火戸 AD アルミ製戸 SSD ステンレス製戸 TSD 強化ガラス戸 WW 木製窓 SW 鋼製窓 AW アルミ製窓 SSW ステンレス製窓 SH スチール製シャッター FKSH 防火防煙シャッター FSH 防火シャッター KSH 防煙シャッター ASH アルミ製シャッター OS オーバースライダー SHD 鋼製ハンガー戸 LSDH 軽量鋼製ハンガー戸 AHD アルミ製ハンガー戸 WGR 木製ガラリ SG 鋼製ガラリ AG アルミ製ガラリ SS ステンレス製ガラリ PGR プラスチック製ガラリ S 三方枠 F ふすま TF 戸ぶすま SJ 紙障子 SPT 鋼製パーテーション APT アルミ製パーテーション BT 固定式防煙垂壁 BTL 昇降式防煙垂壁 BTF 可倒式防煙垂壁 ■ 法規制 特 特定防火設備 防 防火設備 排煙 自然排煙 消防 消防有窓 常閉 常時閉鎖式 ヒ 温度ヒューズ連動 煙 煙感知器連動 進 非常用進入口 ■ 枠形状 A B C D E F G H (AT) エアタイト ■ 番指形状 A B C D E F G H I (AT) エアタイト ■ 引合わせ形状 A B C D E F	■ 材質・仕上 SUS ステンレス製 AL アルミ製 S 鋼製 W 木製 O 合成樹脂製 SOP 合成樹脂調合ペイント塗り FE フタル酸エナメル塗り LC クリアラッカー塗り LE ラッカーエナメル塗り OS スティン塗り OSW スティンワックス塗り B-AE 焼付アクリル樹脂エナメル塗り B-UE 焼付ポリウレタンエナメル塗り 2-UE 2液形ポリウレタンエナメル塗り B-FUE 焼付フッ素樹脂エナメル塗り 2-FUE 常温乾燥型エナメル塗り HL ヘアライン ■ ガラス種類 FLG フロートガラス FG 型板ガラス TG 強化ガラス FWG 網入型板ガラス PWG 網入磨きガラス HWG 網入熱線吸収ガラス HG 熱線吸収ガラス RG 熱線反射ガラス PG 複層ガラス ■ ガラス留め付け種類 シ シーリング グチ グレージングチャンネル グビ グレージングビード ■ 窓中凡例 煙 排煙に有効な部分 光 採光に有効な部分 進 代替進入口に有効な部分 消 消防有窓に有効な部分 □ ドアクローザー(窓側設置) □□□ ドアクローザー(窓反対側設置)				建具の性能(耐風圧、気密、水密、遮音、断熱)	S-5、A-3、W-4	—	—	—	—					
					枠	材質・見込・仕上・形状	AL・200・二次電界着色・標準色	AL・200・二次電界着色・標準色	AL・200・二次電界着色・標準色	AL・200・二次電界着色・標準色	AL・200・二次電界着色・標準色				
					番指	材質・厚み・仕上・形状	SUS HL・1.5・E 水抜パイプ(最寄掛へ接続)	SUS HL・1.5・E	SUS HL・1.5・E	SUS HL・1.5・E	SUS HL・1.5・E				
					扉・障子	材質・見込・仕上・引合わせ形状	AL・二次電界着色・標準色	AL・二次電界着色・標準色	AL・二次電界着色・標準色	AL・二次電界着色・標準色	AL・二次電界着色・標準色				
					ガラス	種類・厚さ・留め付け	下段: PG(TG5+A12+TG5)・シ、上段: PG(FLG6+A12+FLG4)・シ	下段: TG・5・シ、上段: FLG・6・シ	下段: TG・5・シ、上段: FLG・6・シ	下段: TG・5・シ、上段: FLG・6・シ	下段: TG・5・シ、上段: FLG・6・シ				
					ガラリ	材質・仕上・開口率	—	AL・二次電界着色・標準色・0.37m2(100%開口)	AL・二次電界着色・標準色・0.37m2(100%開口)	AL・二次電界着色・標準色・0.37m2(100%開口)	AL・二次電界着色・標準色・0.37m2(100%開口)				
					水切	材質	—	—	—	—	—				
					額縁	材質・仕上	S・SOP	S・SOP	S・SOP	S・SOP	S・SOP				
					錠	把手 種類・材質	本(△-○)	引・SUS HL L=600、排煙オペレーター(手動ハンドル、壁埋込)	—	—	—				
					支持金物	その他金物	旗丁番・SUS、ダンバー(隠べい)、傾(自閉式)	付属金物一式	傾(自閉式)	付属金物一式	付属金物一式				
備考	—	外倒し窓90度開き、結露水排水機構、屋外側AL付枠、衝突防止シール(SUS鏡面30φ H=1,200 @300)	—	AL付枠、衝突防止シール(SUS鏡面30φ H=1,200 @300)	—	AL付枠、衝突防止シール(SUS鏡面30φ H=1,200 @300)									
建具種類	建具形式	法規制	AW 3	内倒し窓 舟券売場(3)	— 4	AW 4	内倒し窓 A棟 立見、固定席	— 2	SD 1	片開き戸 舟券売場(3)	— 1	SD 2	片開き戸 自動販売機コーナー	— 1	
■ 枠形状 A B C D E F G H (AT) エアタイト ■ 番指形状 A B C D E F G H I (AT) エアタイト ■ 引合わせ形状 A B C D E F	■ 支持金物 T 丁番 ピ ビポットヒンジ フ フロアヒンジ オ オートヒンジ 傾 傾斜レール 傾ス 傾斜レールストップ付 ■ その他金物 DC ドアクローザー DCス ドアクローザーストップ付 DCヒ ドアクローザーヒューズ付 DCコ ドアクローザーコンシールド型 ア アームストップ 落 フランス落とし 当 戸当たり 順 順位調整器 OP 排煙オペレーター					建具の性能(耐風圧、気密、水密、遮音、断熱)	S-5、A-3、W-4	S-5、A-3、W-4	—	—	—	—			
						枠	材質・見込・仕上・形状	AL・70・二次電界着色・標準色	AL・70・二次電界着色・標準色	AL・70・二次電界着色・標準色	S・291・防錆塗装の上SOP・B	S・325・防錆塗装の上SOP・B			
						番指	材質・厚み・仕上・形状	—	—	—	SUS HL・1.5・A	SUS HL・1.5・A			
						扉・障子	材質・見込・仕上・引合わせ形状	AL・二次電界着色・標準色	AL・二次電界着色・標準色	AL・二次電界着色・標準色	S・40・防錆塗装の上SOP	S・40・防錆塗装の上SOP			
						ガラス	種類・厚さ・留め付け	AL・3(障子同色)・シ	AL・3(障子同色)・シ	—	—	—			
						ガラリ	材質・仕上・開口率	AL	AL	—	—	—			
						水切	材質	AL	AL	—	—	—			
						額縁	材質・仕上	S・SOP	S・SOP	—	—	—			
						錠	把手 種類・材質	—	排煙オペレーター(手動ハンドル、壁埋込)	—	排煙オペレーター(手動ハンドル、壁埋込)	本(○-○)	レ・SUS HL	本(△-○)	レ・SUS HL
						支持金物	その他金物	旗丁番・SUS、ダンバー(隠べい)	付属金物一式	旗丁番・SUS、ダンバー(隠べい)	付属金物一式	旗丁番・SUS・3	DCス・付属金物一式	旗丁番・SUS・3	DCス・付属金物一式
備考	—	90度開き、屋外側AL付枠	—	90度開き、既存建具を撤去し新設、屋外側AL付枠	—	—	—	—	—						
建具種類	建具形式	法規制	(FKSH) 1	電動防火防煙シャッター 舟券売場(3)	特 1	(FKSH) 2	電動防火防煙シャッター 舟券売場(3)	特 3	(FKSH) 3	電動防火防煙シャッター 舟券売場(3)	特 1				
■ 鍵 箱 シリンダー箱錠 イ インテグラルロック モ シリンダーモノロック 本 シリンダー本締錠 鍵 鍵錠 非 非常錠 ホ ホテル錠 電 電気錠 O かぎ △ サムターン × かぎなし カ サムターンカバー ■ 把手 握 握玉 レ レバーハンドル 押 押板・把手 握 握込引手 引 引手 ケ ケースハンドル	■ 支持金物 T 丁番 ピ ビポットヒンジ フ フロアヒンジ オ オートヒンジ 傾 傾斜レール 傾ス 傾斜レールストップ付 ■ その他金物 DC ドアクローザー DCス ドアクローザーストップ付 DCヒ ドアクローザーヒューズ付 DCコ ドアクローザーコンシールド型 ア アームストップ 落 フランス落とし 当 戸当たり 順 順位調整器 OP 排煙オペレーター				建具の性能(耐風圧、気密、水密、遮音、断熱)	—	—	—	—	—					
					枠	材質・見込・仕上・形状	まぐさ: S SOP	まぐさ: S SOP	まぐさ: S SOP	まぐさ: S SOP	まぐさ: S SOP				
					番指	材質・厚み・仕上・形状	ガイドレール: SUS HL	ガイドレール: SUS HL	ガイドレール: SUS HL	ガイドレール: SUS HL	ガイドレール: SUS HL				
					扉・障子	材質・見込・仕上・引合わせ形状	スラット: S SOP	スラット: S SOP	スラット: S SOP	スラット: S SOP	スラット: S SOP				
					ガラス	種類・厚さ・留め付け	座板: S SOP	座板: S SOP	座板: S SOP	座板: S SOP	座板: S SOP				
					ガラリ	材質・仕上・開口率	—	—	—	—	—				
					水切	材質	—	—	—	—	—				
					額縁	材質・仕上	—	—	—	—	—				
					錠	把手 種類・材質	—	操作スイッチ(壁埋込)	—	操作スイッチ(壁埋込)	—				
					支持金物	その他金物	巻取機: 露出、電動式	付属金物一式	巻取機: 露出、電動式	付属金物一式	巻取機: 露出、電動式	付属金物一式			
備考	—	取付下地(鉄骨、防火構造壁)、自動火災報知設備連動、認定番号: CAS-1137	—	取付下地(鉄骨、防火構造壁)、自動火災報知設備連動、認定番号: CAS-1137	—	取付下地(鉄骨、防火構造壁)、自動火災報知設備連動、認定番号: CAS-1137	—								

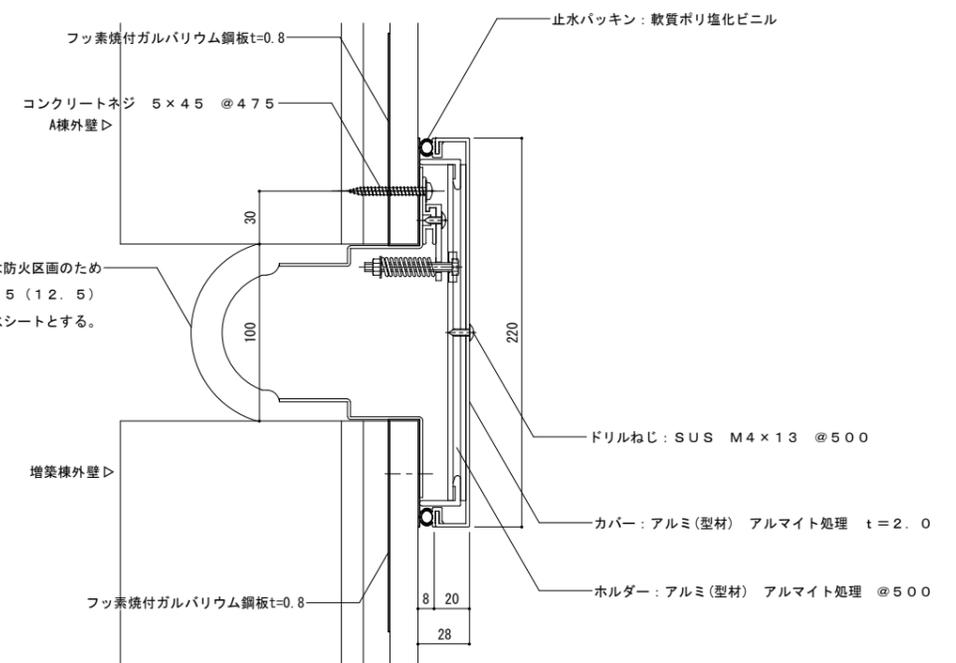


訂正	年月日	内容	鳴門市企業局ポートルース事業課 株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大畑登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6 ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 B棟 立面図(外壁改修工事)	図面NO A1 1:100 A3 1:200	設計NO 整理NO A-032
	年月日	内容					

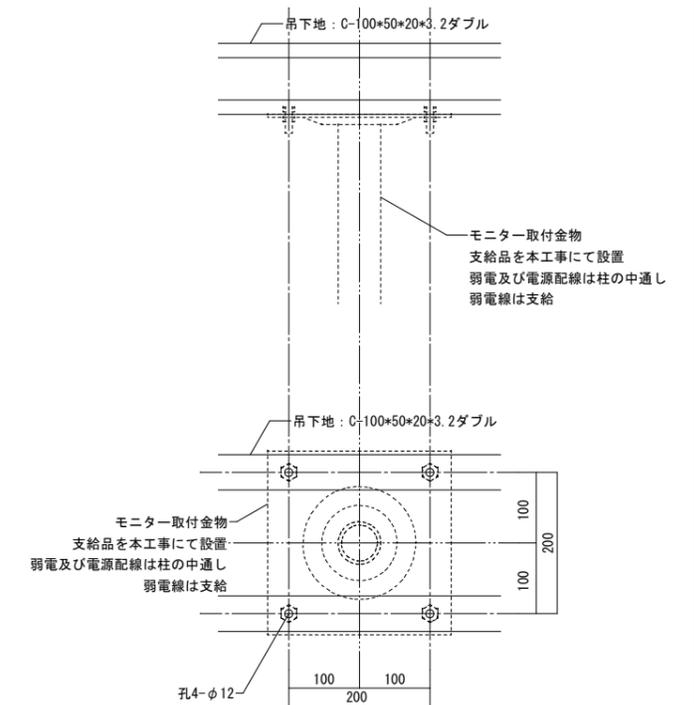
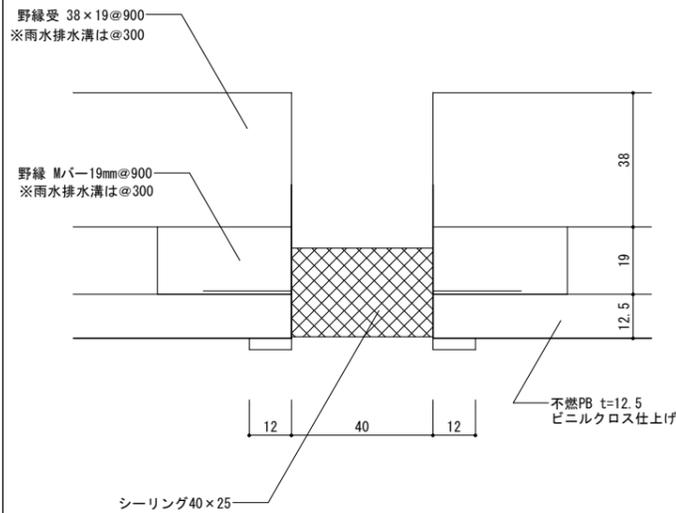
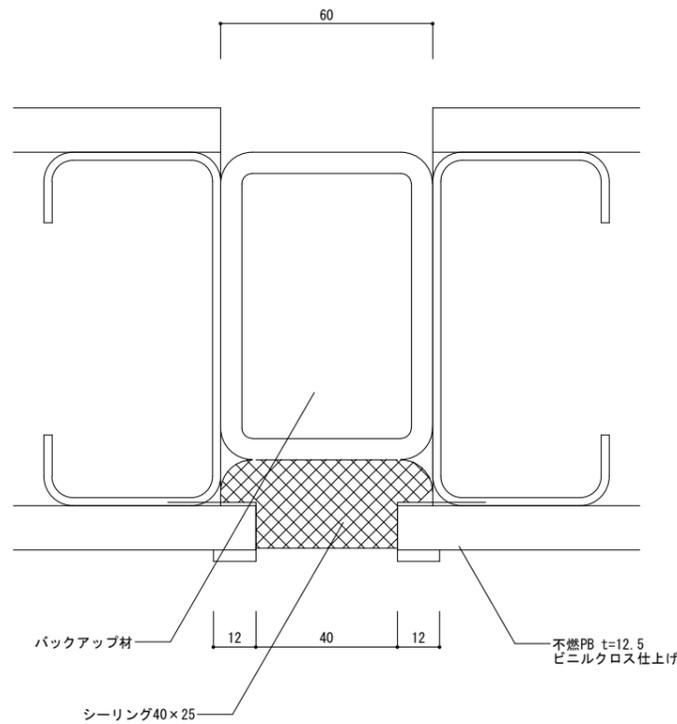
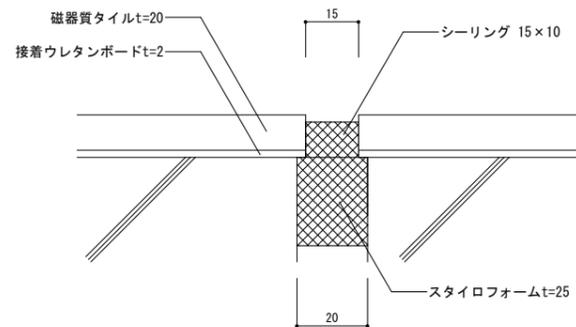


⑧ 通り側は防火区画のため
耐火帯：アルカリアースシリケートウール t=25 (12.5)
④ 通り側は防水シートとする。

※各EXP.Jの箇所はA-0211に示す。

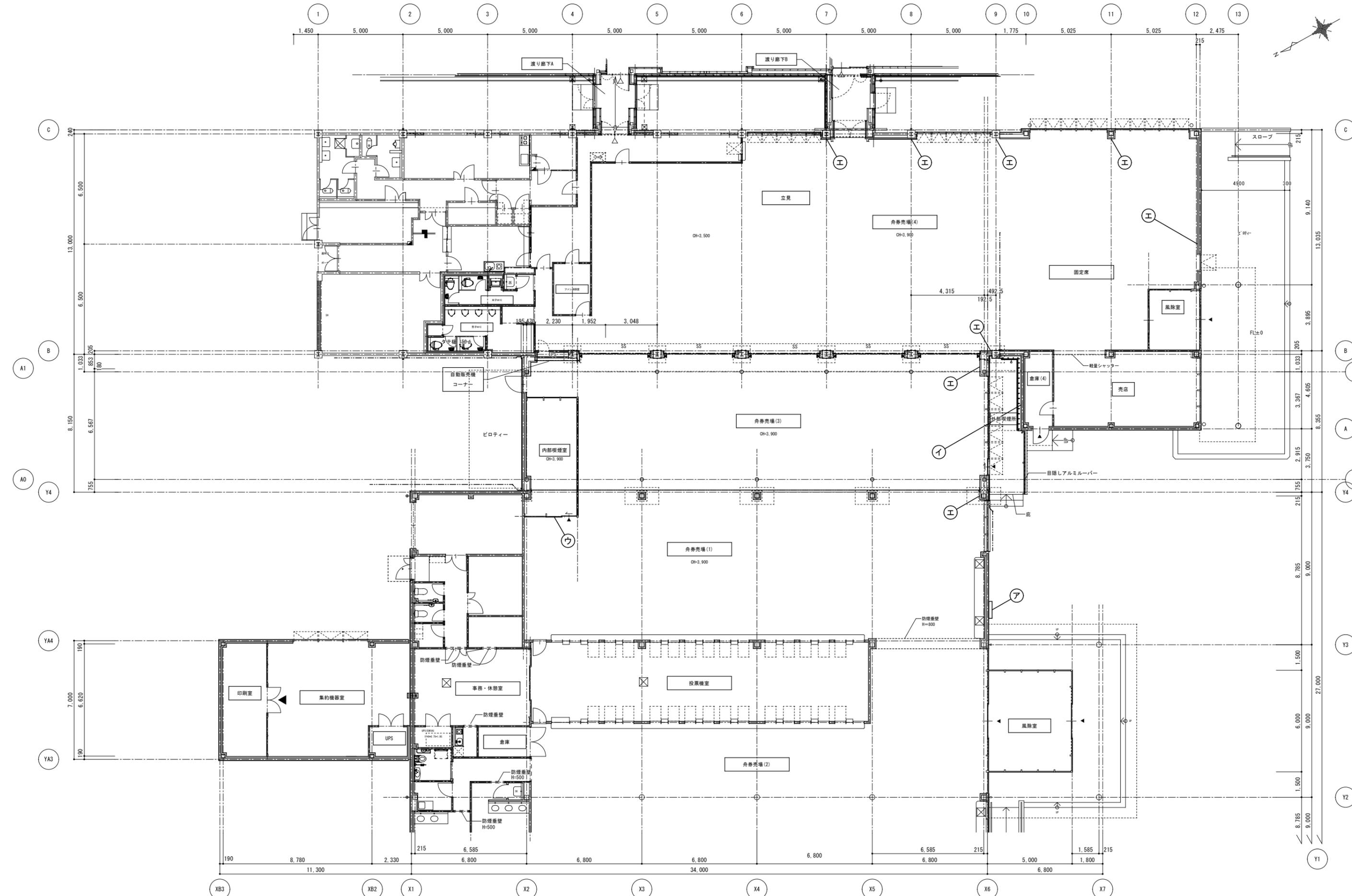


⑧ 通り側は防火区画のため
耐火帯：アルカリアースシリケートウール t=25 (12.5)
④ 通り側は防水シートとする。



※配置はA-0271に示す。

訂正	年月日	内容	備考	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大庭登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成	承認	工事名称	設計NO	図面NO
			※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。				エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事		A-037
					発行		図面名称	縮尺	整理NO
							部分詳細図(4)	A1 1:10 A3 1:20	



訂正	年月日	内容	備考	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大沼登雄 164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6 ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成	承認	工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO	図面NO
			※建築庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。		発行		図面名称 サイン配置図	整理NO	A-038
							縮尺 A1 1:100 A3 1:200		

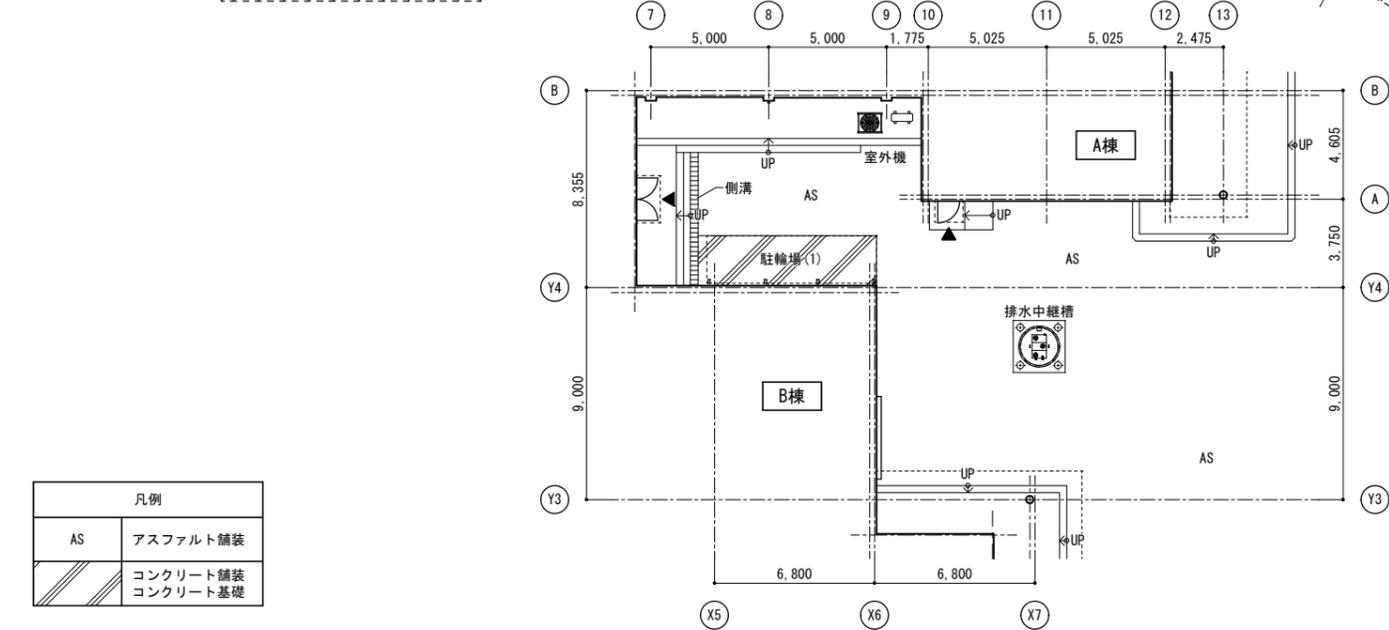
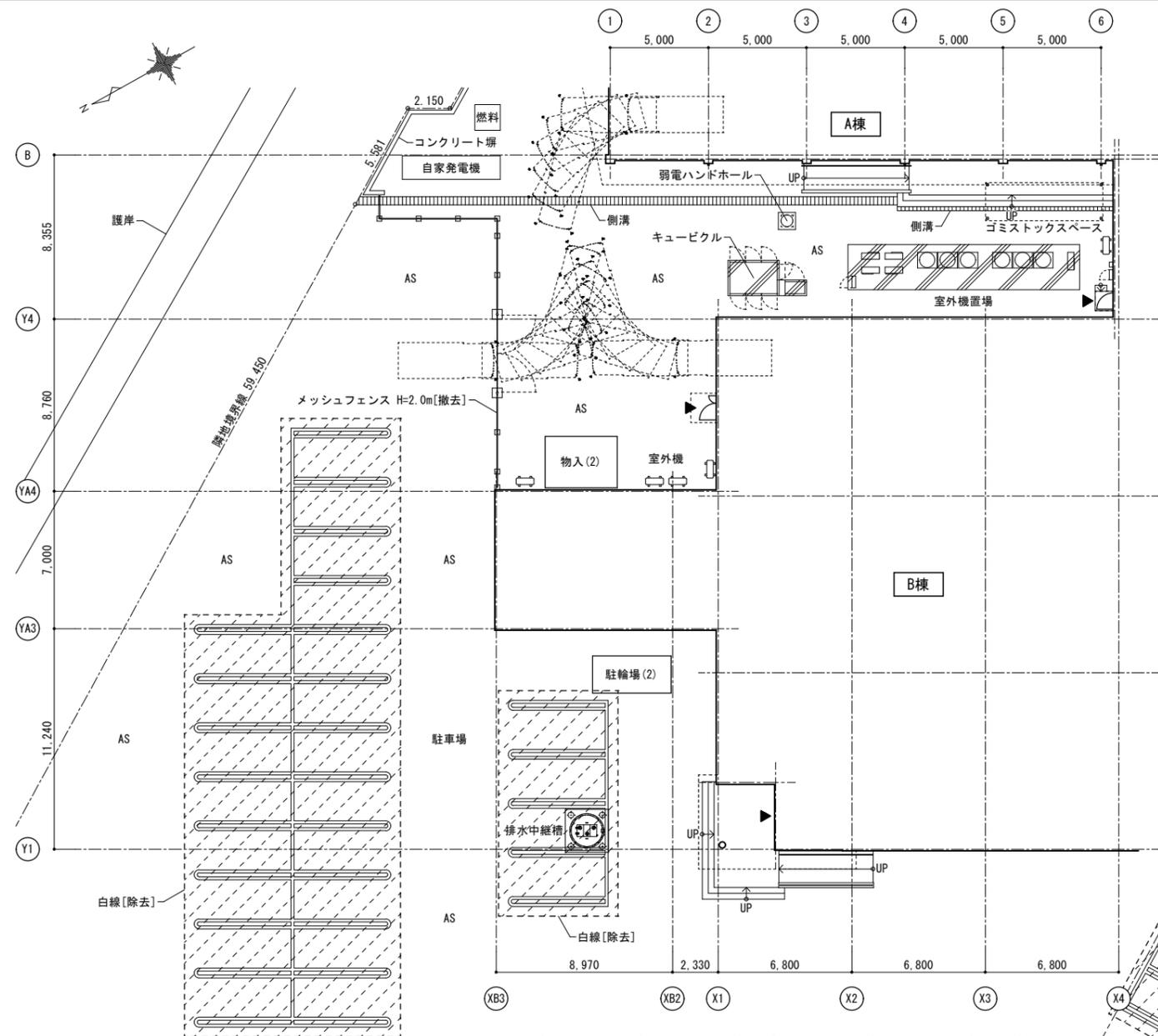
ア	屋外	施設名称	S=1:10	イ	屋外	喫煙所	S=1:3	ウ	屋内	喫煙室	S=1:3

箇所数	1	箇所数	1	箇所数	1
仕様	LED内照式、スチール下地、アルミ枠(シート張り)、FFシート、開閉式	仕様	カラーアクリル板t=3、カッティングシート、アルミ複合板t=3 200*200下地	仕様	カッティングシート
設置面/設置方法	アルミスバンドレル / アンカーボルト	設置面/設置方法	窯業系サイディング / ケミカルアンカー	設置面/設置方法	ガラス / 直貼り

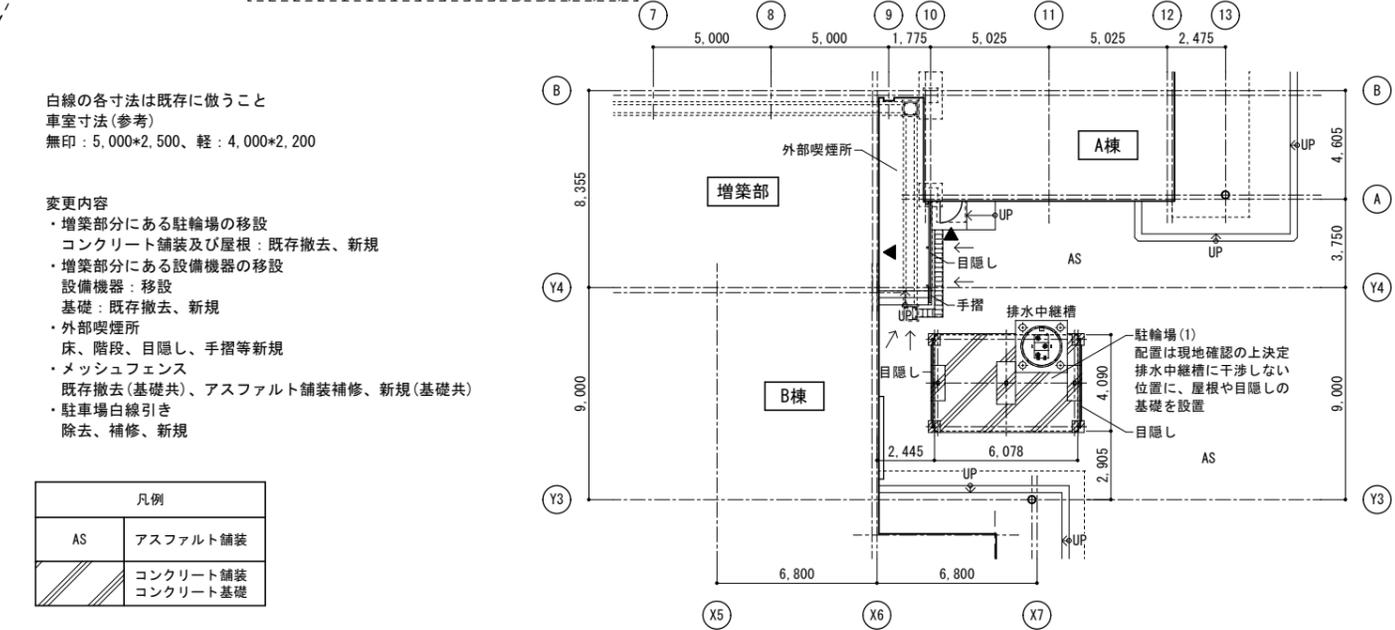
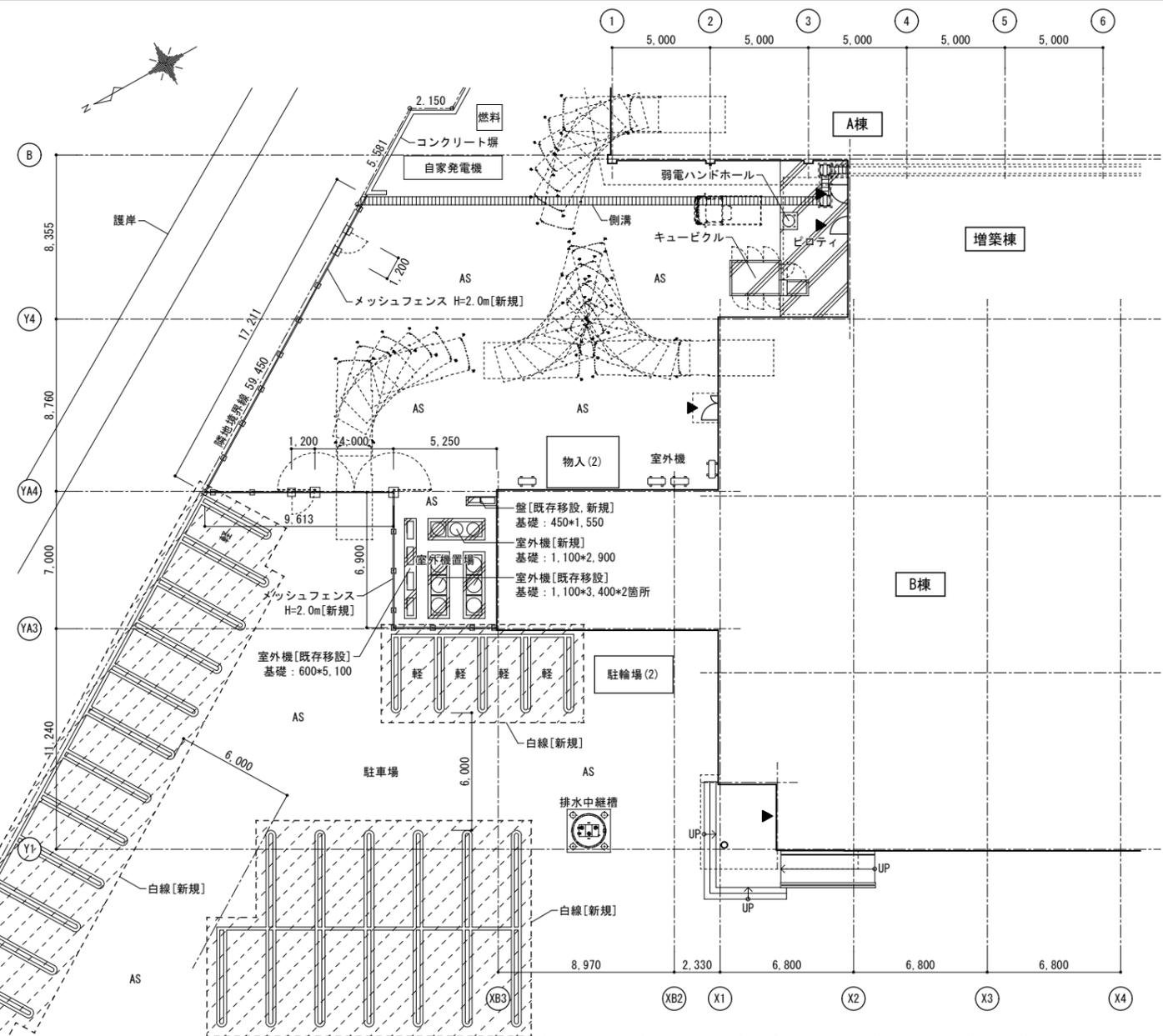
エ	屋内	禁煙	S=1:3				

箇所数	8	箇所数		箇所数	
仕様	カラーアクリル板t=3、カッティングシート、アルミ複合板t=3 200*200下地	仕様		仕様	
設置面/設置方法	石膏ボード+ビニルクロス / プラスチックアンカー+粘着テープ	設置面/設置方法		設置面/設置方法	

箇所数		箇所数		箇所数	
仕様		仕様		仕様	
設置面/設置方法		設置面/設置方法		設置面/設置方法	



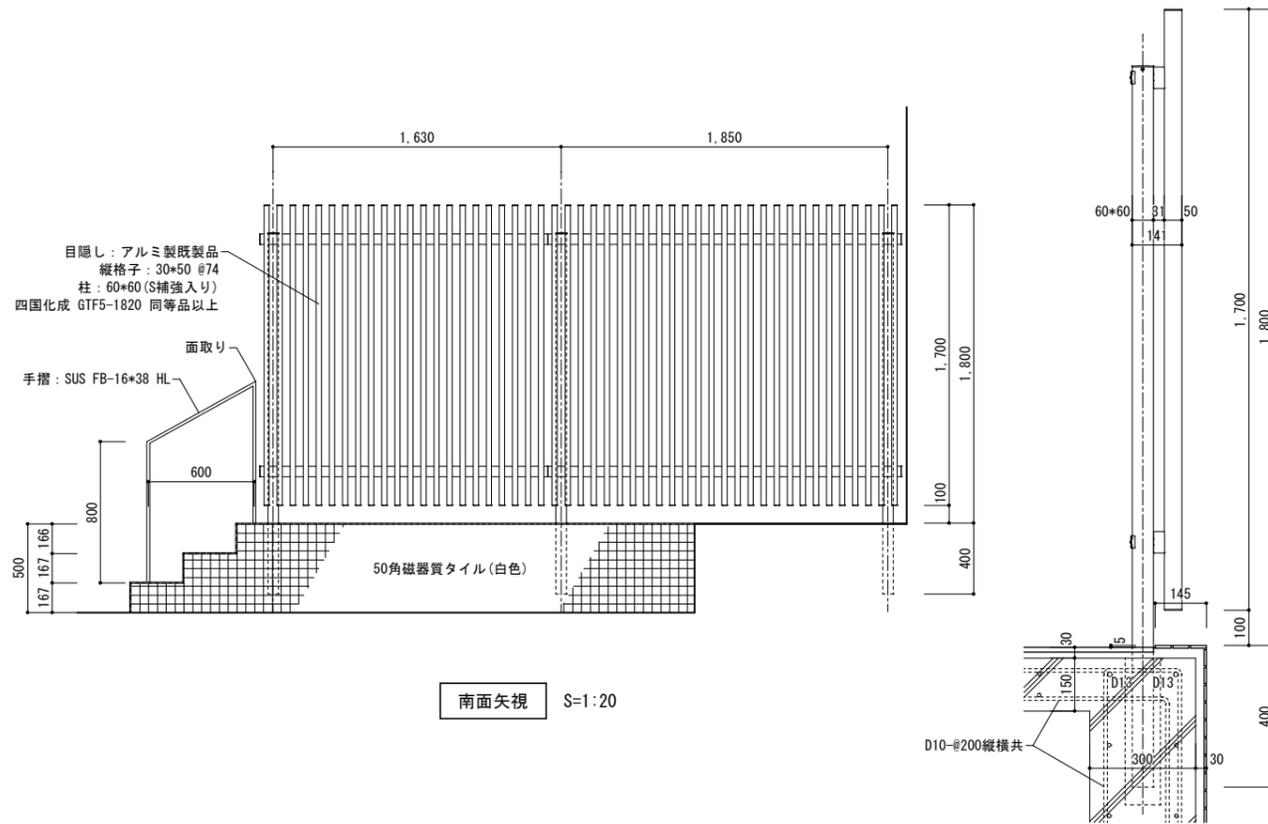
凡例	
AS	アスファルト舗装
	コンクリート舗装
	コンクリート基礎



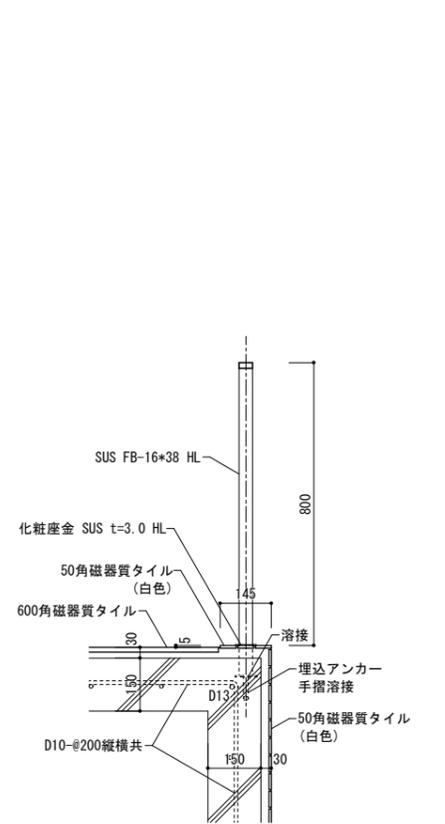
白線の各寸法は既存に倣うこと
車室寸法(参考)
無印: 5,000*2,500、軽: 4,000*2,200

- 変更内容
- 増築部分にある駐輪場の移設
 - コンクリート舗装及び屋根: 既存撤去、新規
 - 増築部分にある設備機器の移設
 - 設備機器: 移設
 - 基礎: 既存撤去、新規
 - 外部喫煙所
 - 床、階段、目隠し、手摺等新規
 - メッシュフェンス
 - 既存撤去(基礎共)、アスファルト舗装補修、新規(基礎共)
 - 駐車場白線引き
 - 除去、補修、新規

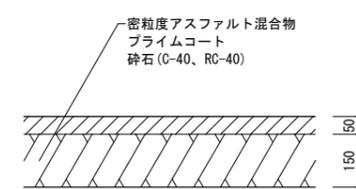
凡例	
AS	アスファルト舗装
	コンクリート舗装
	コンクリート基礎



南面矢視 S=1:20



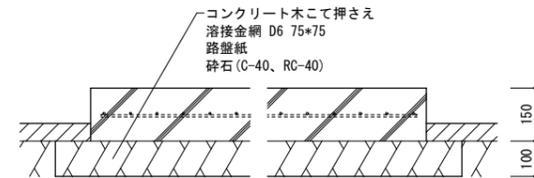
コンクリート強度：Fc21



アスファルト舗装



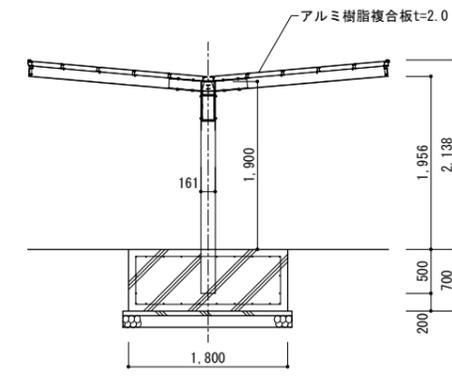
コンクリート舗装



コンクリート基礎

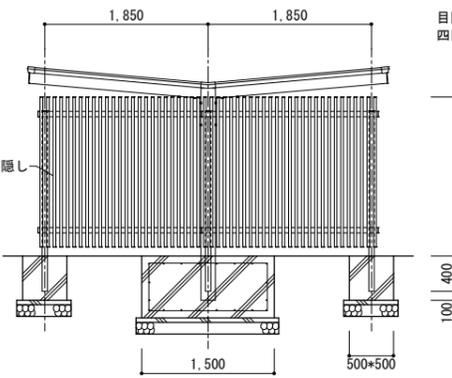
室外機置場
平面寸法は外構図に記載

コンクリート強度：Fc21



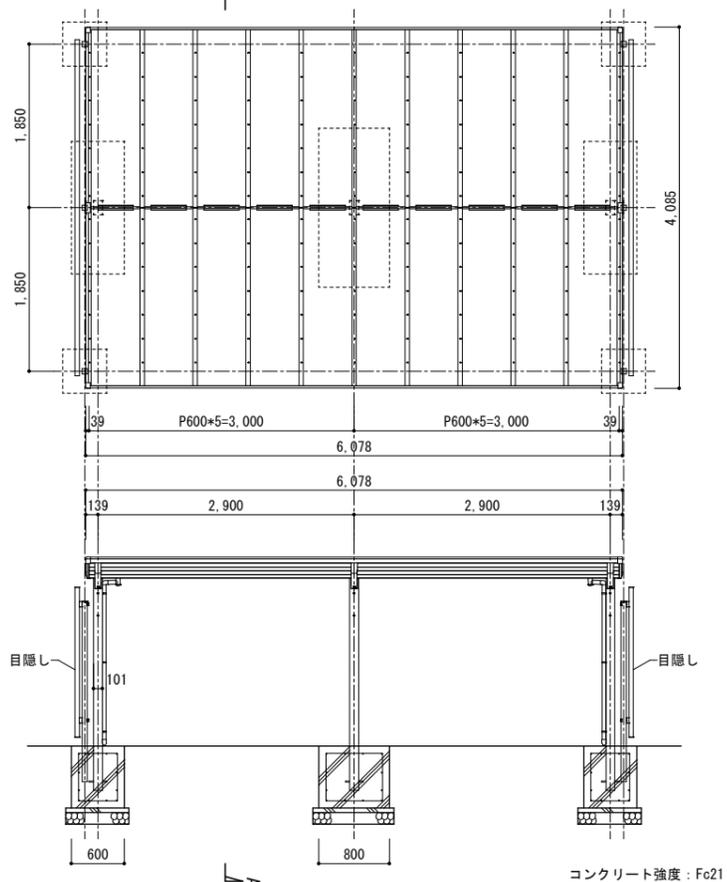
A-A断面

屋根：アルミ製既製品
四国化成 サイクルポート VF-R
900N/m2仕様 Y合掌タイプ
2連棟セット 同等品以上
照明：電気工事

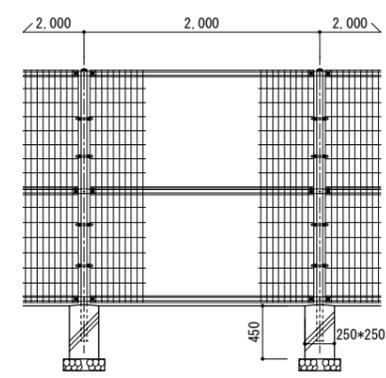


目隠し：アルミ製既製品
四国化成 GTF5-1820 同等品以上

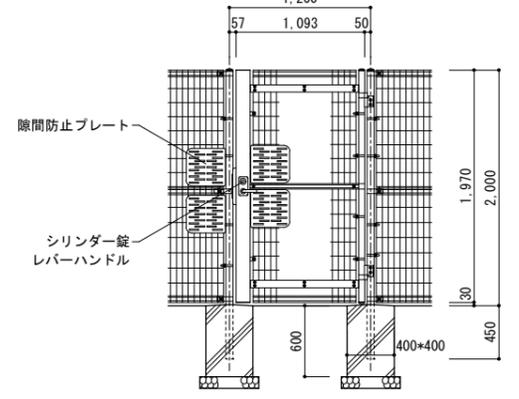
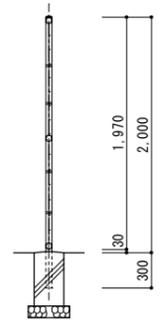
基礎配筋：D10-@150縦横共



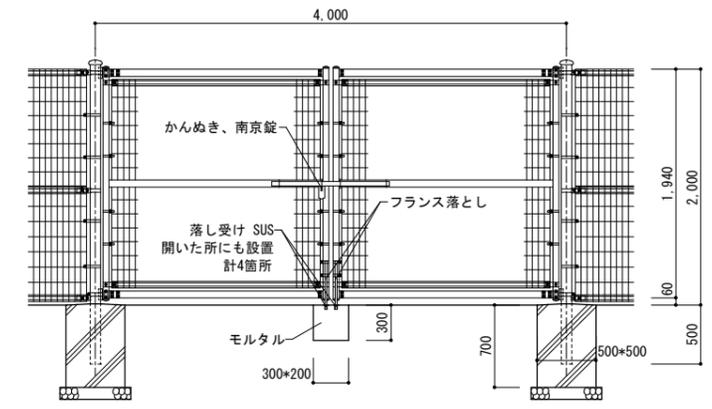
コンクリート強度：Fc21



一般部



門扉(W=1,200)

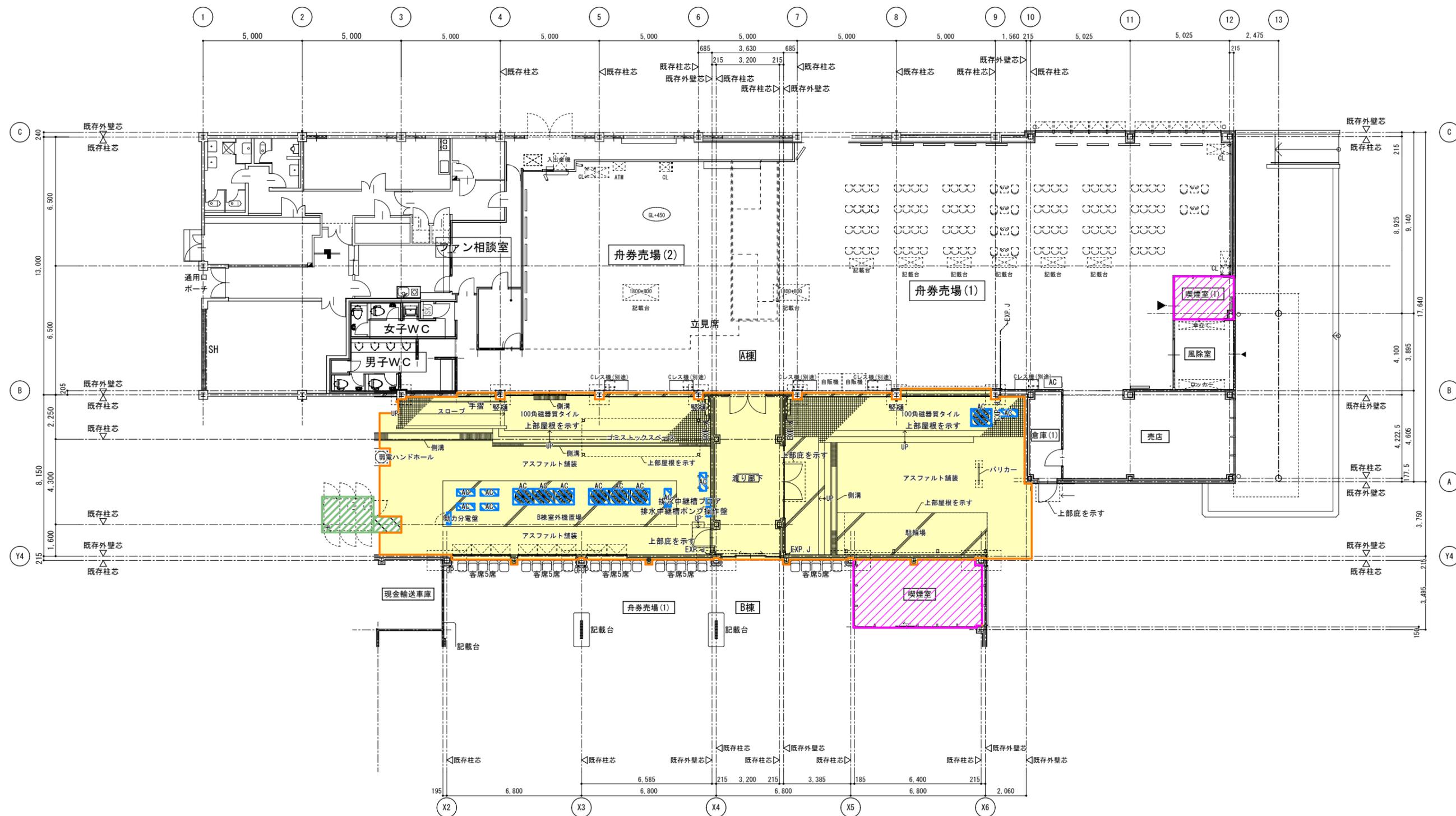


門扉(W=4,000)

朝日スチール工業 ユニフェンス
A型 一般型(溶融亜鉛めっき製品)
同等品以上

基礎はコンクリート製既製品(メーカー品)
砕石はC-40又はRC-40 t=100

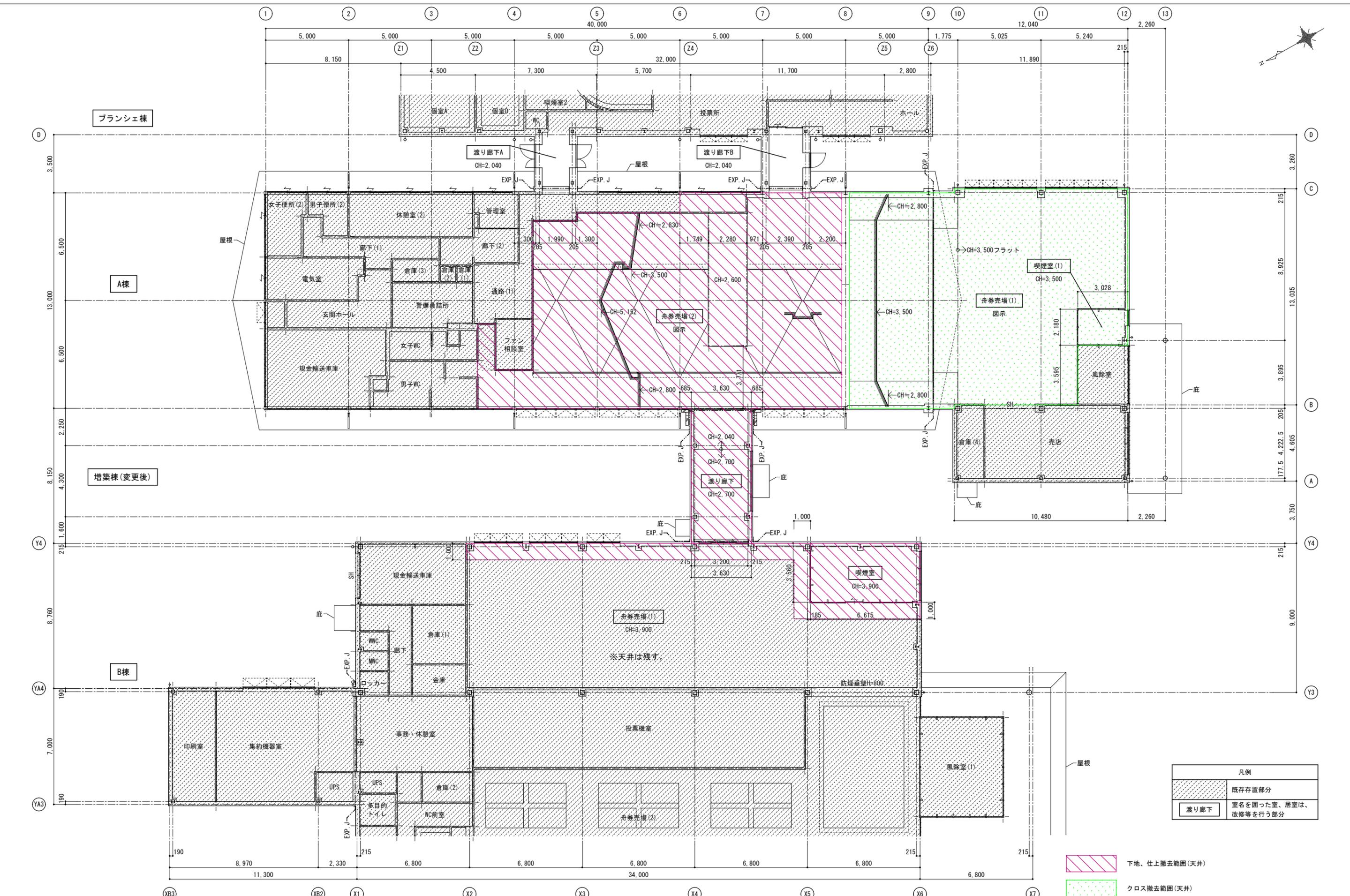
<table border="1"> <tr><td>年月日</td><td></td></tr> <tr><td>訂正</td><td></td></tr> </table>	年月日		訂正		<p>鳴門市企業局ポートレース事業課</p>	<p>株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大庭登録第164276号 中野 和敬 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289</p>	<table border="1"> <tr><td>作成</td><td>承認</td></tr> <tr><td>発行</td><td></td></tr> </table>	作成	承認	発行		<p>工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事</p> <p>図面名称 外構詳細図</p>	<table border="1"> <tr><td>設計NO</td><td>図面NO</td></tr> <tr><td>整理NO</td><td>A-041</td></tr> </table>	設計NO	図面NO	整理NO	A-041
年月日																	
訂正																	
作成	承認																
発行																	
設計NO	図面NO																
整理NO	A-041																



増築範囲 (増築範囲にかかるものは特記なき限り撤去)
 設備機器移設
 存置範囲
 撤去範囲



訂正		鳴門市企業局ポートルース事業課	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 <small>一級建築士 大田登輝第164276号 中野 和敬 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289</small>	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 解体範囲図 (1)	設計NO 整理NO 縮尺 A1 1:50 A3 1:100	図面NO A-101
----	--	-----------------	--	----------------	---	---	---------------



凡例	
	既存配置部分
	室名を囲った室、居室は、改修等を行う部分

- 下地、仕上撤去範囲(天井)
- クロス撤去範囲(天井)

ソイルセメントコラム工法特記仕様書

『建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針』日本建築センター

1、工法概要

本地業はスラリー状のセメント系固化材を地盤に注入しながら、現地盤土と機械的に攪拌し、固化材の化学反応により所要の強度を持つ改良体(ソイルセメントによるパイル)を構築するものである。

2、一般事項

(1) 工事に先立ち、施工計画書を管理員に提出する。施工計画は次の事項を明記する。

- 1)、建物概要、地盤概要
- 2)、工事内容(改良範囲、パイルの径、長さ、本数、設計基準強度)
- 3)、工事期間及び工程
- 4)、工事要領(使用固化材、配合計画、攪拌羽の昇降速度、噴出量等)
- 5)、施工機器
- 6)、施工管理方法
- 7)、品質管理の方法
- 8)、仮設備とその配置
- 9)、各種作業に従事する主たる人員の組織表
- 10)、施工記録の方法
- 11)、環境の保安対策
- 12)、安全対策
- 13)、建築請負者の本工事責任者名
- 14)、本工事施工業者名及び責任者名

3、特記事項

- (1) 本工事の施工業者は、本工法の施工技術に精通したもので、工事に先立ち試験施工を行った後、管理員の承認を得たものとする。
- (2) 改良範囲、パイルの径、掘削深度(改良長+空堀長)、本数配置等は設計図による。
- (3) ソイルセメントの設計基準強度は $F_c=800\text{kN/m}^2$ とする。
- (4) 支持層はN値11.5以上とする。
- (5) 本工事工法は、改良体強度の品質が変動係数30%以下で(共回り防止翼を装備)あることを『建築技術検査証明協会』に属する機関で証明された技術審査証明取得工法、財団法人建築総合試験所で証明された建築技術性能証明取得工法とする。

4、固化材の配合

- (1) 固化材液に使用する固化材は、セメント系固化材とし、設計基準強度、土質及び使用材用を十分に考慮し、室内配合試験又はメーカー指定配合量により、必要な強度が得られるように決定すること。
- (2) 配合方法: 混合用タンクには始めに所定量の水を入れ、その水を攪拌しながら所定量の固化材を投入し、十分に攪拌する。
- (3) 使用量: 固化材の配合はW/C60~80%とする。

5、施工

- (1) 固化材液の充填方法は、掘削時充填工法とする。
- (2) 施工に対して擬義が生じた場合はただちに管理員と協議し、その指示を受ける。

6、施工機器

- (1) 改良機本体は、本工事に必要な器具(施工管理用測定器を含む)を装備したもので、自走式とする。
- (2) 攪拌ロッドは、曲がりや欠損の無いものとし、共回り防止翼を装備したものである。
- (3) 固化材の混合タンクは所定噴出量を十分供給できるもの。

7、施工管理

- (1) 施工過程における管理方法は次の通りとする。
- パイル鉛直度: 改良機本体に設置された傾斜計で管理する。
- 未固化改良体の確認: 抵抗測定ミキシングテスターで管理する(改良50箇所ごとに1箇所)。
- 固化材液の作成: (水の計量) 水量計又は、水管計で計測を管理する。

- (固化材の計量) 袋数又は重量計で計測をおこなう。
- (固化材液の吐出量) 流量計で測量し記録する。
- (掘進速度) 改良機本体に設置された速度計で計測し記録する。
- (掘進深度) 改良機本体に設置された速度計で計測し記録する。

8、報告

工事完了後、次の事項について報告書をまとめ、管理員に提出する。

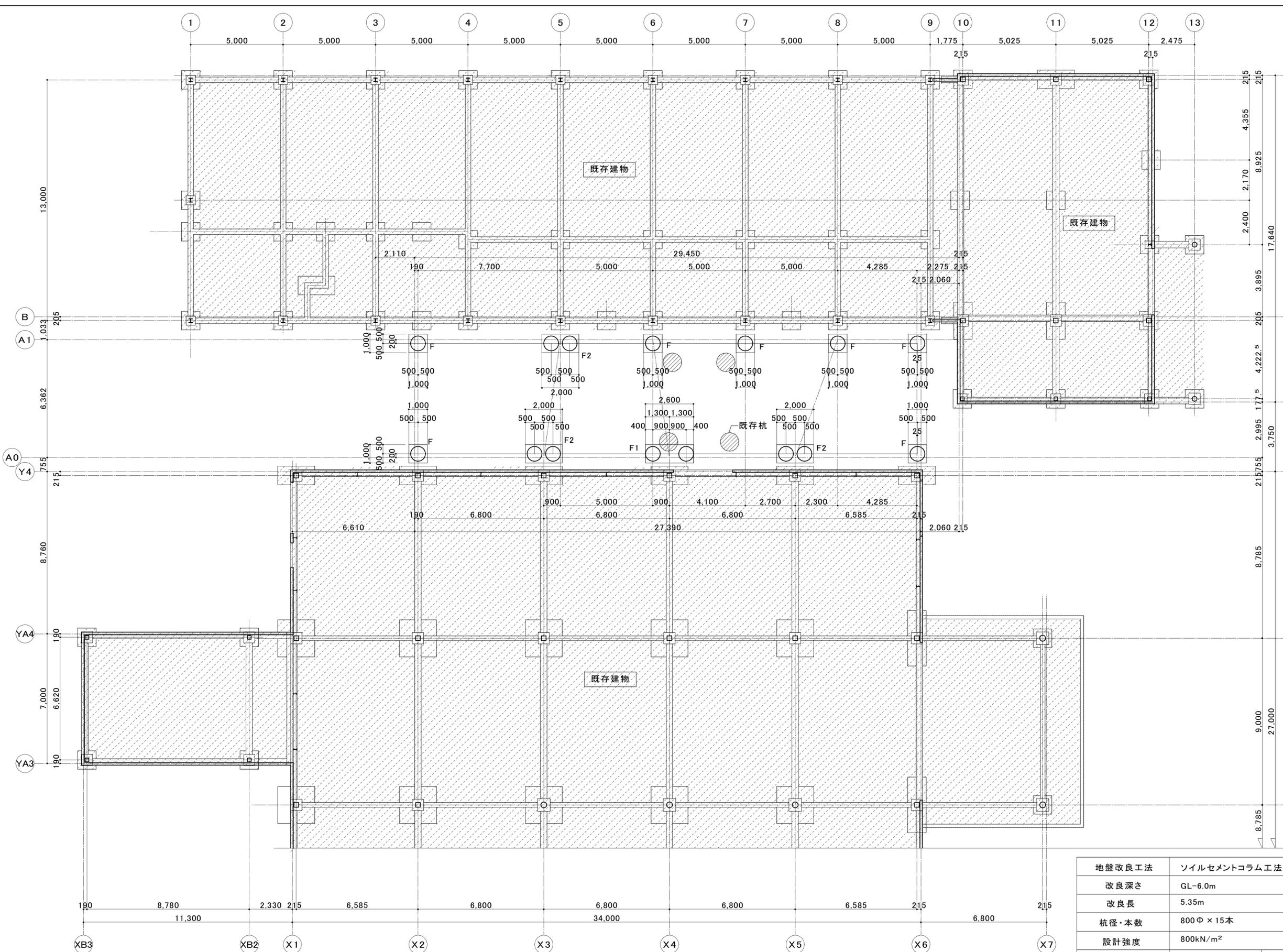
- (1) パイルの伏図及び番号
- (2) パイルの施工日
- (3) パイルの径及び長さ
- (4) 掘削深度
- (5) 掘削速度及び引き抜き速度
- (6) 固化材液の配合と固化材の使用量
- (7) コアの強度管理試験結果
- (8) 未固化改良体の比抵抗測定(ミキシングテスター)の測定結果

供試体(コアの採取)

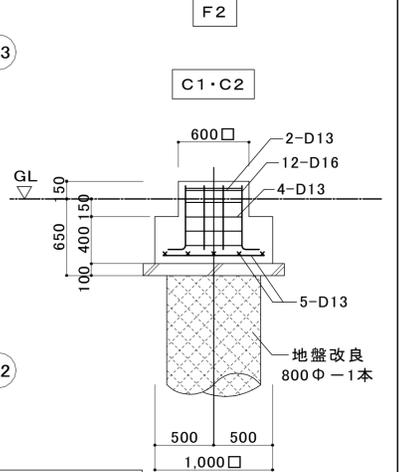
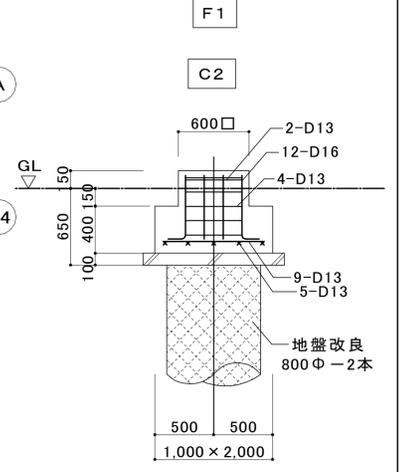
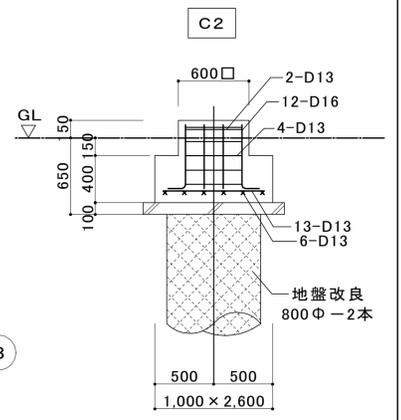
建築センターの指針により、設計時想定する検定結果による変動係数の推定値を30%以下、不良率を10%以下とする。

深度コアの採取は深度モールドコアサンプラーを使用する。

訂正	年月日		備 考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区業平2-14-6 ロータスビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成	承認	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO	図面NO
					発行		図面名称 縮尺	整理NO	KS-1
				地盤改良特記仕様書					

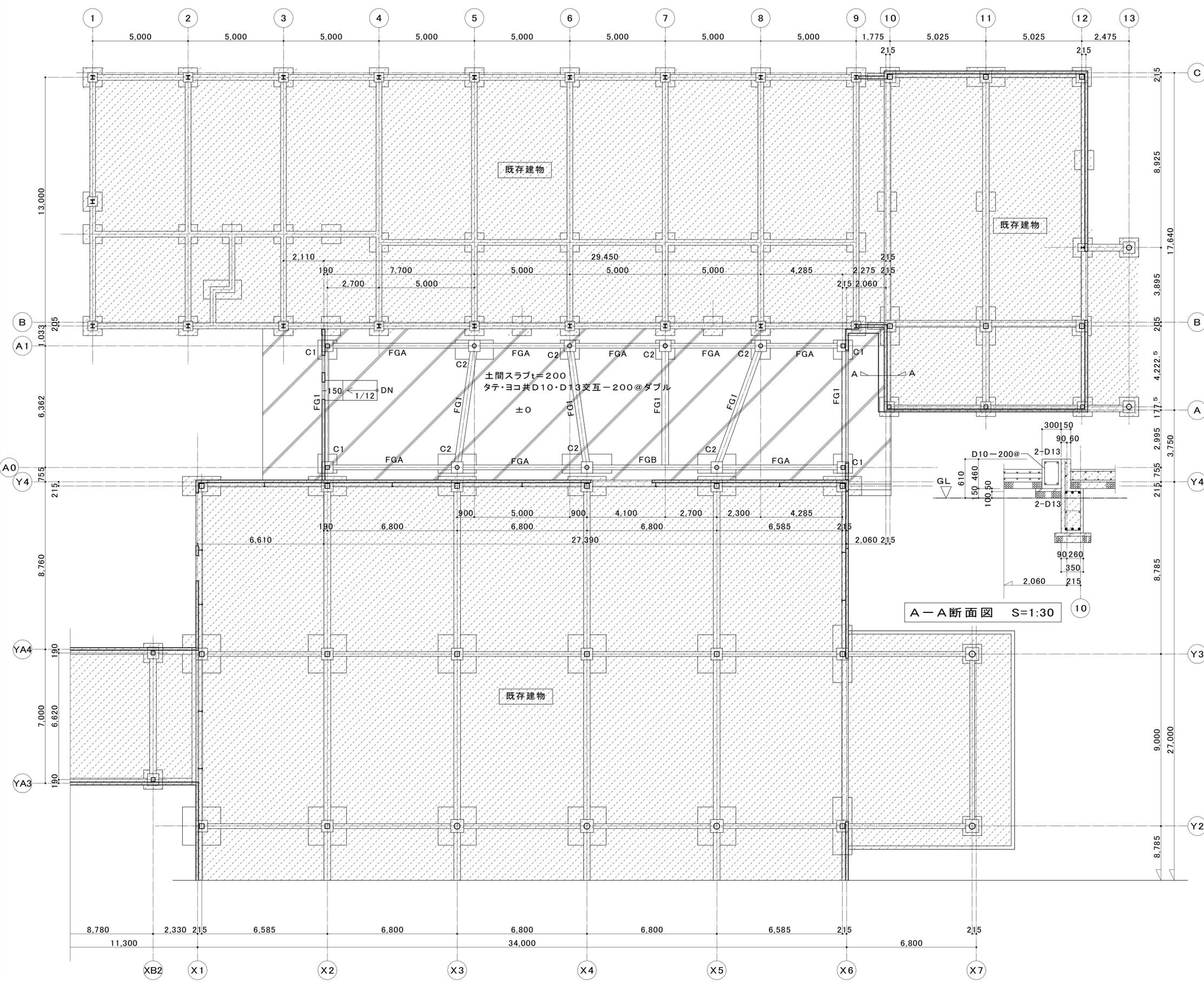


	F・F2	F1
長期許容支持力度	130kN/m ²	100kN/m ²
短期許容支持力度	260kN/m ²	200kN/m ²



地盤改良工法	ソイルセメントコラム工法	
改良深さ	GL-6.0m	
改良長	5.35m	
杭径・本数	800φ × 15本	
設計強度	800kN/m ²	
固化材推定配合量	固化材の種類	ユースタビラー10又は60
	配合量	300kg/m ³
固化剤添加量は、室内配合試験を行い決定すること。		

既存建物
 地盤改良伏図 S=1:100
事前に地中障害物の確認を行うこと。



基礎伏図 S=1:100

既存建物

地中梁断面リスト S=1:30

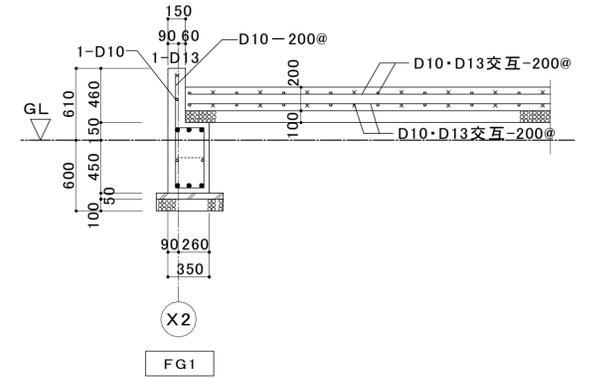
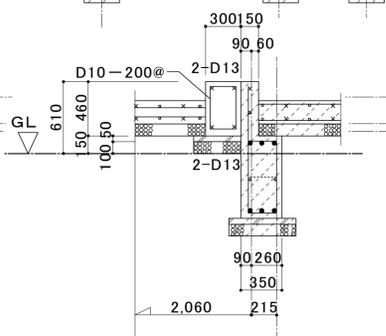
符号	FG1	FGA	FGB
位置	全断面	全断面	全断面
F階			
	()は中央のみ		
B × D	350 × 600	250 × 600	250 × 600
上端筋	3-D19	2-D19	2-D19
下端筋	3-D19(3/1-D19)	2-D19	2-D19(2/1-D19)
STP	D10-200@	D10-200@	D10-200@
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10

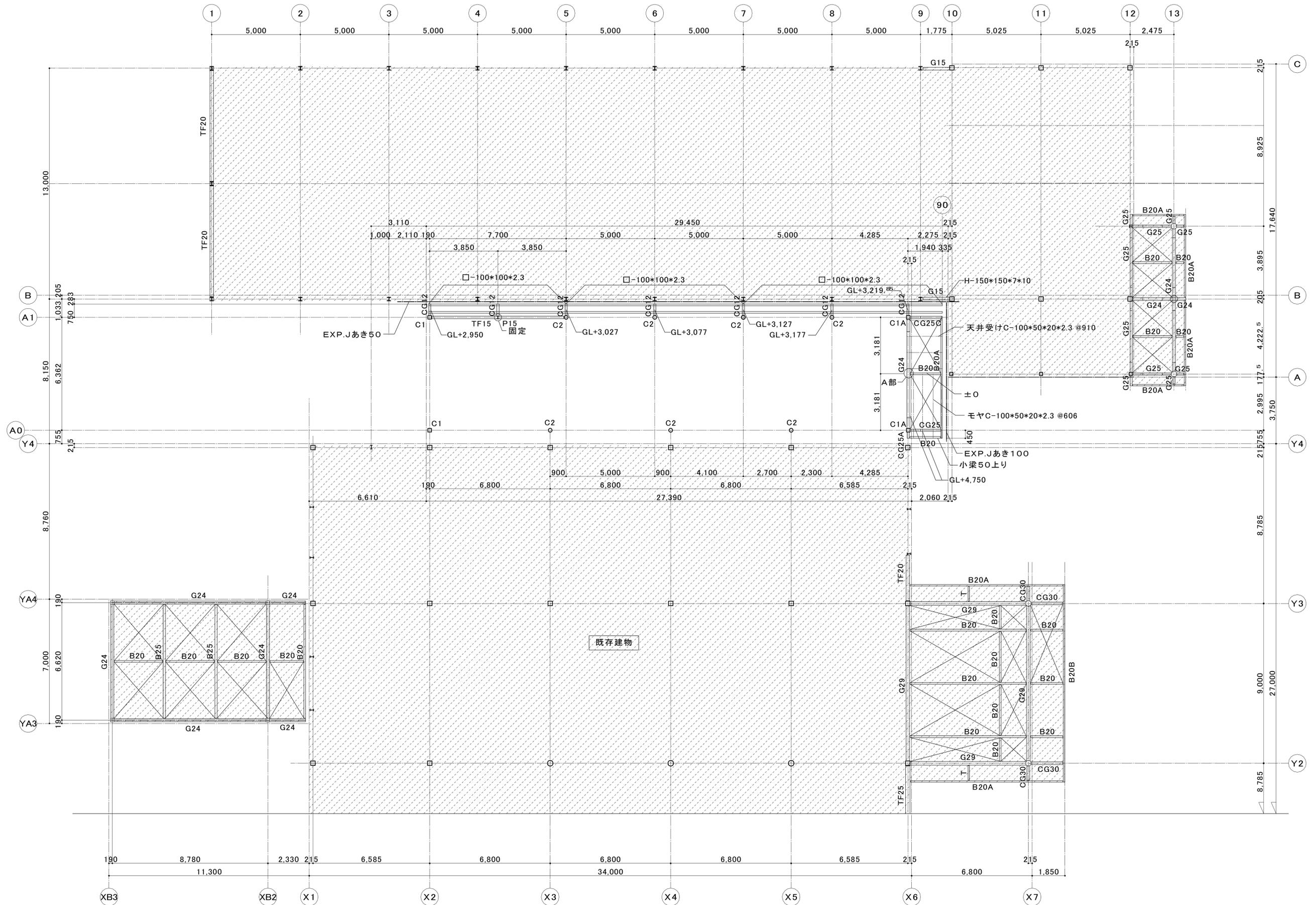
特記無き限り下記による。
巾止め筋はD10@800程度とする。

- 鉄筋コンクリート仕様
- コンクリート
 - 普通コンクリートの設計基準強度(N/mm²)
基礎・地中梁・土間スラブ 21
捨てコン 18
 - レディーミクストコンクリートの種別
JIS A 5308 ■ I 類 □ II 類
 - セメントの種類
■ 普通ポルトランドセメント(JIS R 5210)
 - 骨材
砕石及び砕砂(JIS A 5005)アルカリシリカ反応性による区分
■ A
粗骨材の塩化物量(%)
■ 0.04%以下
 - 混和材料の種類
■ 混和剤 AE減水剤(標準形 I 種)
 - 普通コンクリートの調合
所要スランブ(cm) 基礎・地中梁 18
土間スラブ・捨てコン 15

単位水量(最大値) 185kg/m³
単位セメント量(最小値) 270kg/m³
水セメント比(最大値) 65%
粗骨材の最大寸法(mm) 20
 - 試験及び養生方法
■ 圧縮強度試験 標準養生
 - 型枠の存置期間及び取外し
■ コンクリートの材齢による(日)15度C以上 3日
5度C以上 15度C未満 5日
5度C未満 8日
- 9. 水
■ 上水 上澄水

A-A断面図 S=1:30

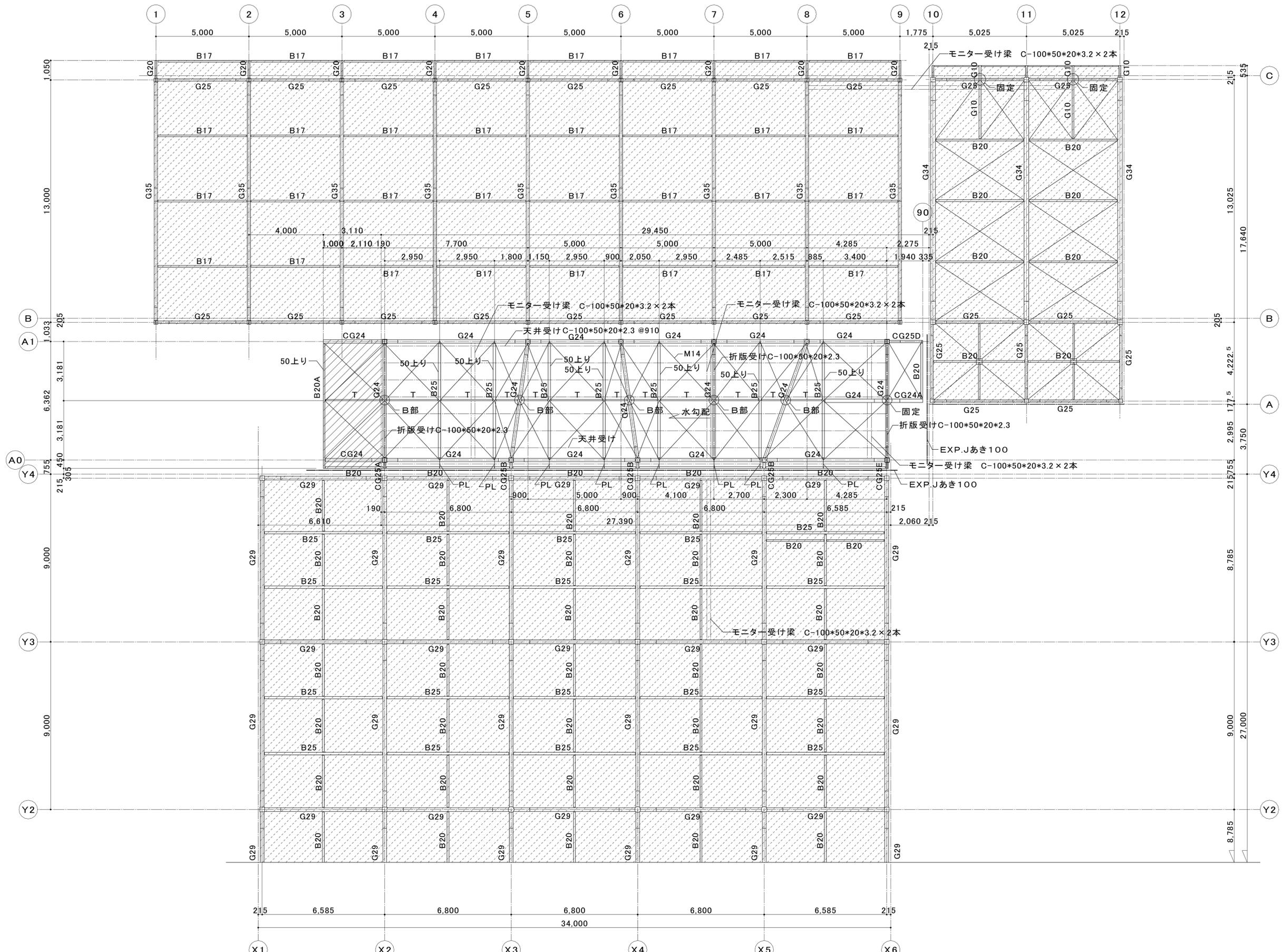




R階(下部)梁伏図 S=1:100

既存建物

訂正	年月日	備考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大庭登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区業平2-14-6ロースタビル3F TEL:03-3626-8284 FAX:03-3626-8289	作成	承認	工事名称 エディヴィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO	図面NO
				発行		図面名称 R階(下部)梁伏図	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	整理NO



R階梁伏図 S=1:100

既存建物
 溶融亜鉛メッキ

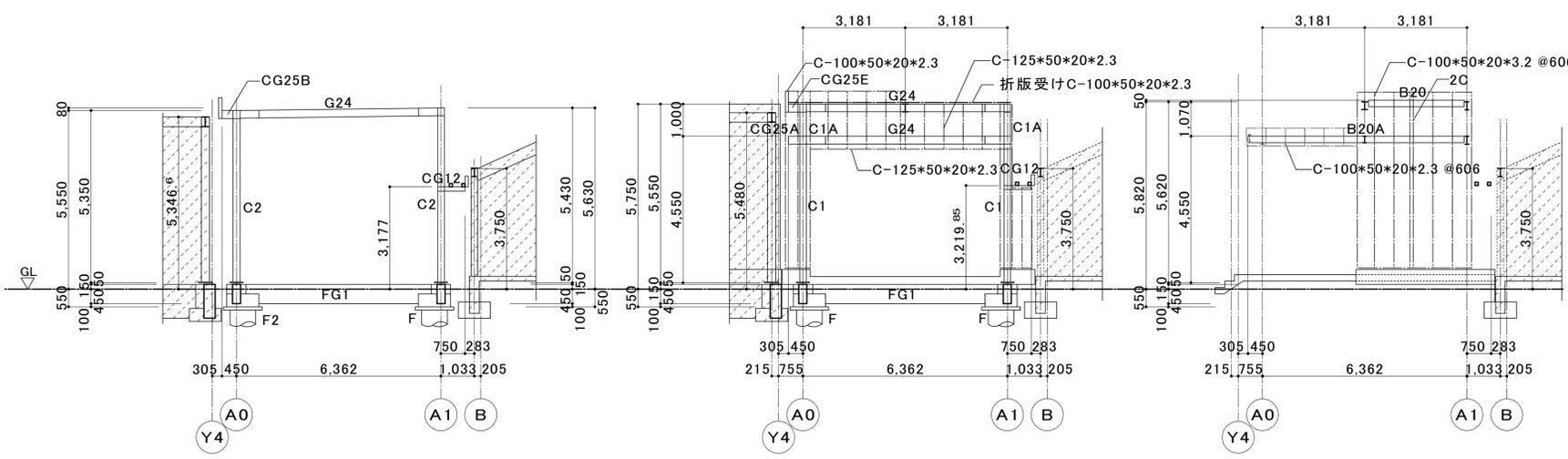
年月日		備考	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大庭登録第164276号 中野 和敬 東京都墨田区業平2-14-6ロータビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成	承認	工事名称 エディヴィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 R階梁伏図	設計NO 整理NO 縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面NO KS-5
訂正								

部材リスト

記号	名称	サイズ	規格	種類
C1・C1A	柱	□-200×200×12	冷間ロール成形角型鋼管	BCR295
C2	"	○-216.3×8.2	JIS G 3444	STK400
P15	間柱	H-150×150×7×10	JIS G 3101	SS400
G24	大梁	H-244×175×7×11	"	"
CG24・CG24A	片持梁	H-244×175×7×11	"	"
CG25A・CG25B CG25C・CG25D CG25E	"	H-250×125×6×9	"	"
CG12	"	H-125×125×6.5×9	"	"
B25	小梁	H-250×125×6×9	"	"
B20	"	H-200×100×5.5×8	"	"
B20A	"	[-200×80×7.5×11	"	"
TF15	耐風梁	H-150×150×7×10(水平)	"	"
T	ツナギ梁	[-150×75×6.5×10	"	"
屋根面ブレース		M14ターンバックル筋交い	JIS	"
胴縁	A1通5～X6間	ヨコ C-100*50*20*3.2 取付 2-M12(F4T)	JIS G 3350	SSC400
	X2通・X6通	タテ C-125*50*20*2.3 取付 2-M12(F4T)	"	"
モヤ	C-100*50*20*2.3 @606	取付 2-M12(F4T)	"	"

名称	仕様	規格	種類
通しダイヤフラム 内ダイヤフラム		JIS G3136	SN490C
			SN490B
柱脚			SN490C
高カボルト	構造用トルシア形高カボルト	国住指第4491号	MBLT-0125 S10T
	溶融亜鉛メッキ高カボルト	国住指第309号	MBLT-9033 F8T
ボルト	中ボルト	JIS B 1180	F4T
溶接材料	MAG溶接用ソリッドワイヤRC11 (高張力鋼用被服アーク溶接棒)	JIS Z3321	YGW11

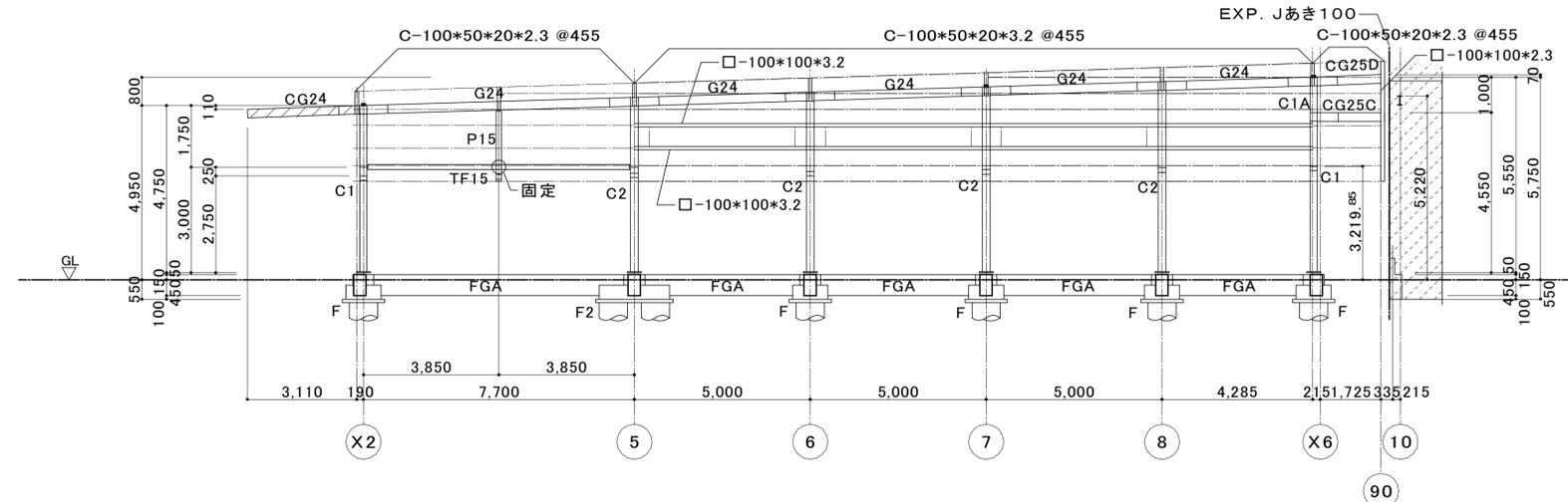
∴鉄骨製作工場は、国土交通省大臣認定Rグレード以上とする。



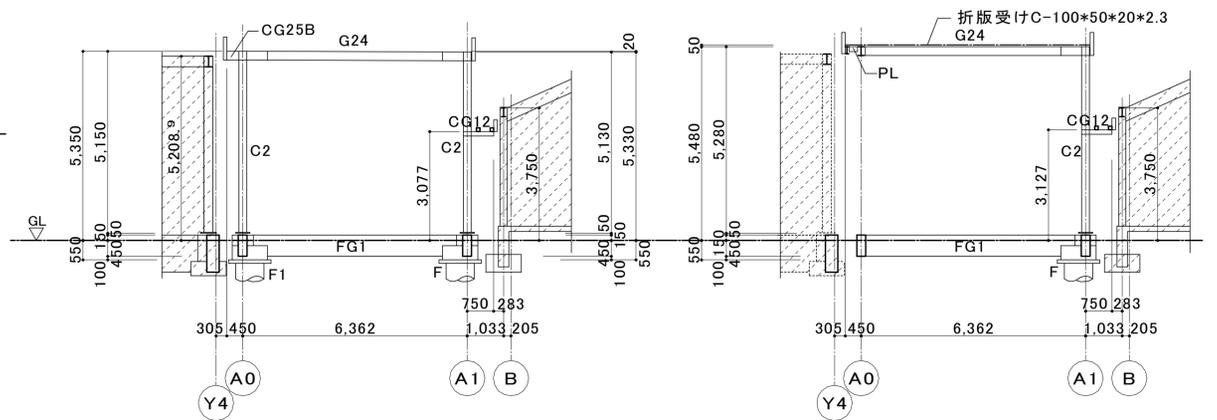
X5通～8通軸組図 S=1:100

X6通軸組図 S=1:100

90通軸組図 S=1:100

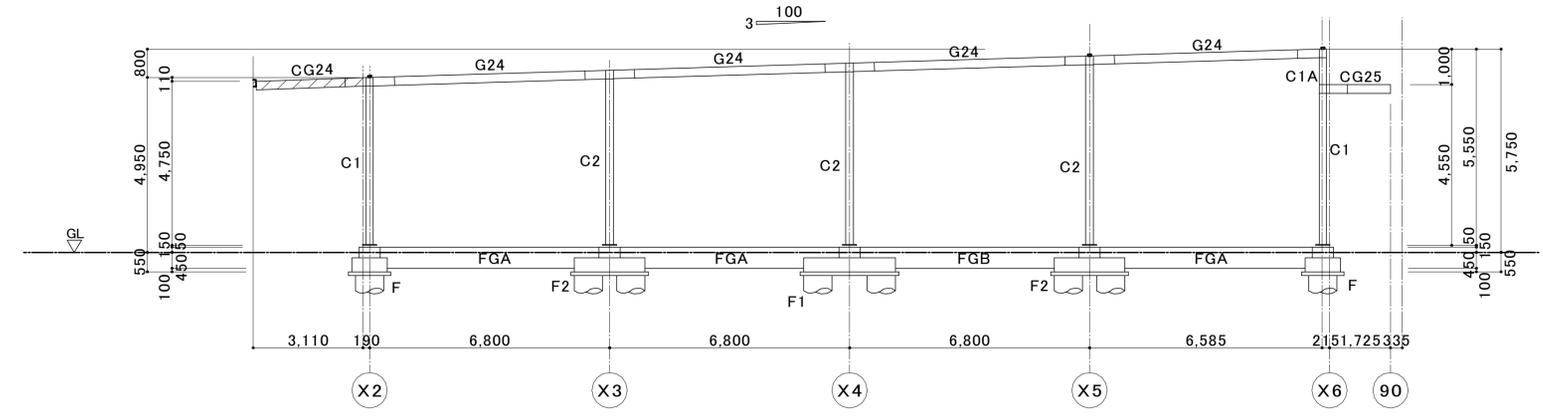


A1通軸組図 S=1:100

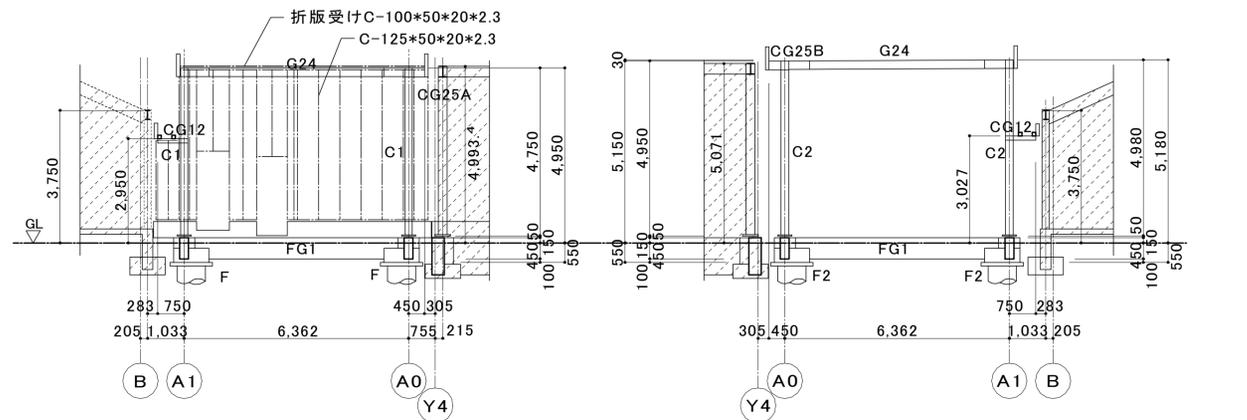


X4通～6通軸組図 S=1:100

7通軸組図 S=1:100



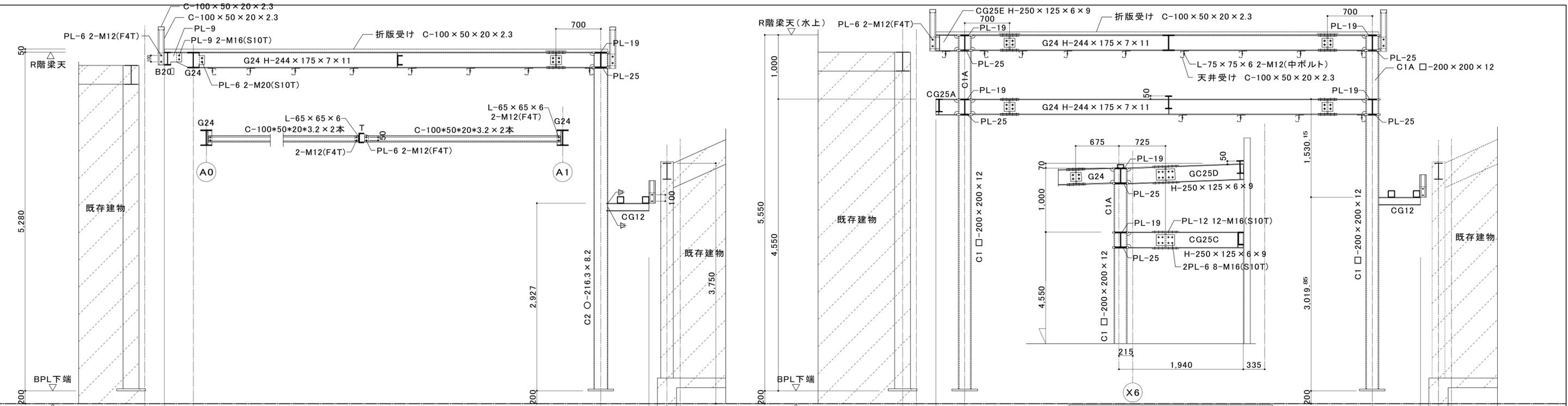
AO通軸組図 S=1:100



X2通通軸組図 S=1:100

X3通～5通軸組図 S=1:100

溶融亜鉛メッキ 既存建物

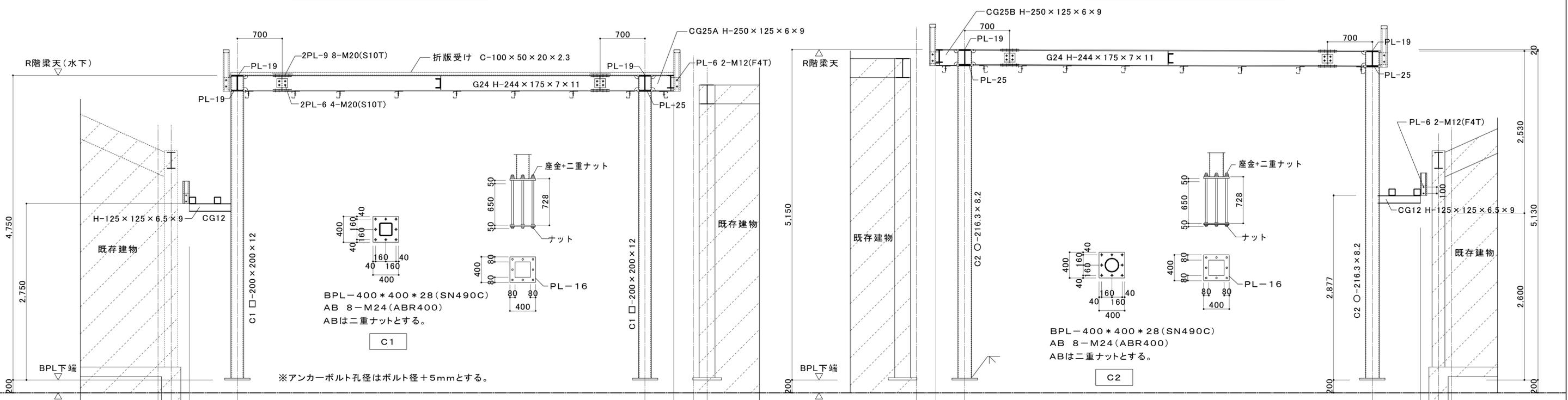


A1通鉄骨架構図 S=1:30



7通鉄骨架構図 S=1:30

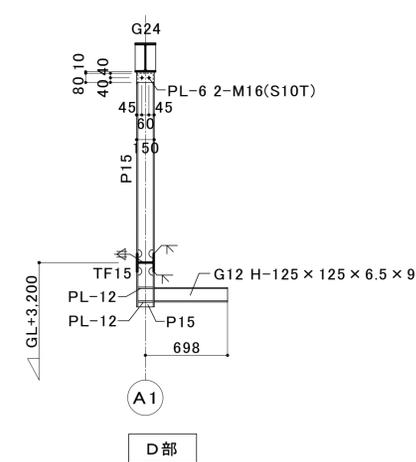
X6通鉄骨架構図 S=1:30



X2通鉄骨架構図 S=1:30

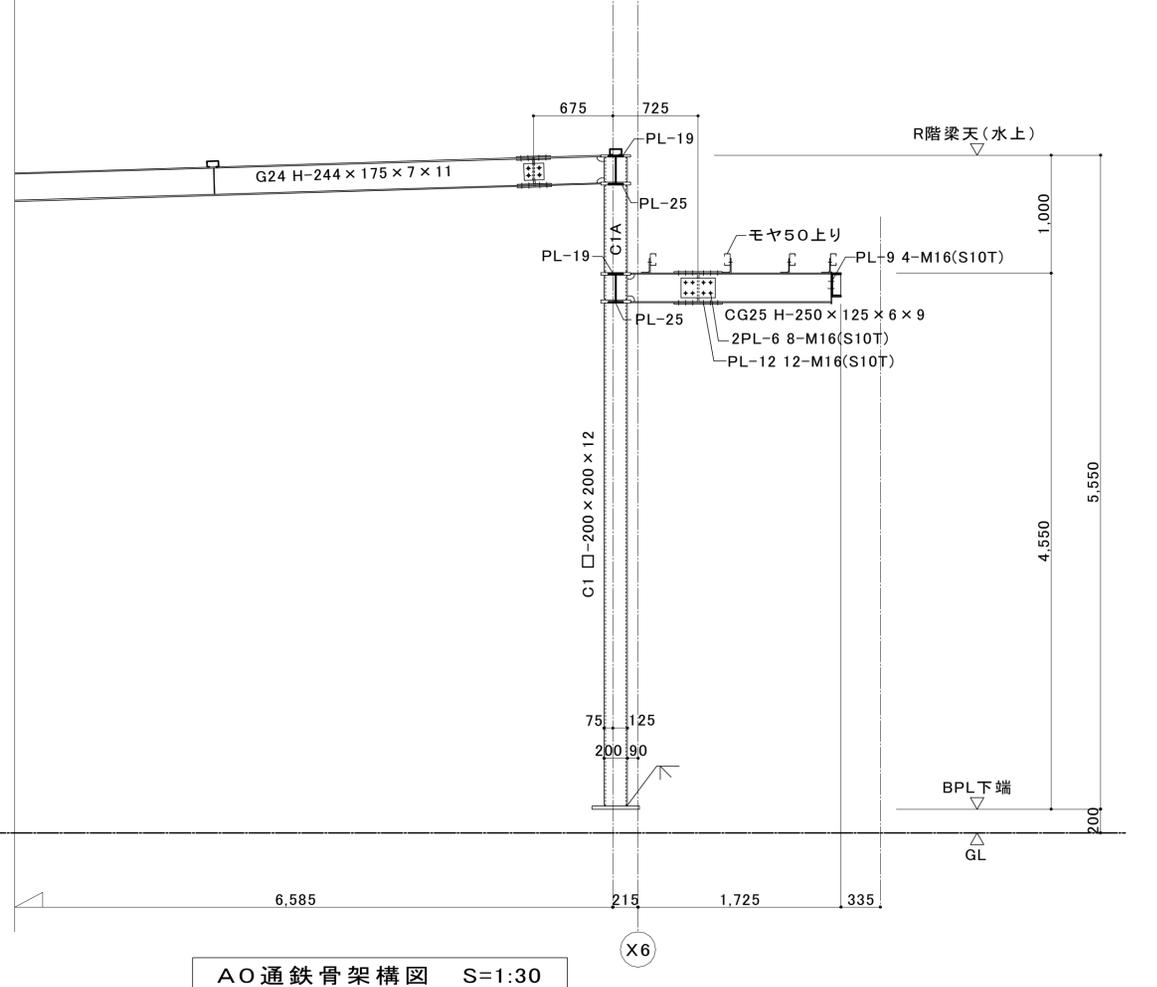
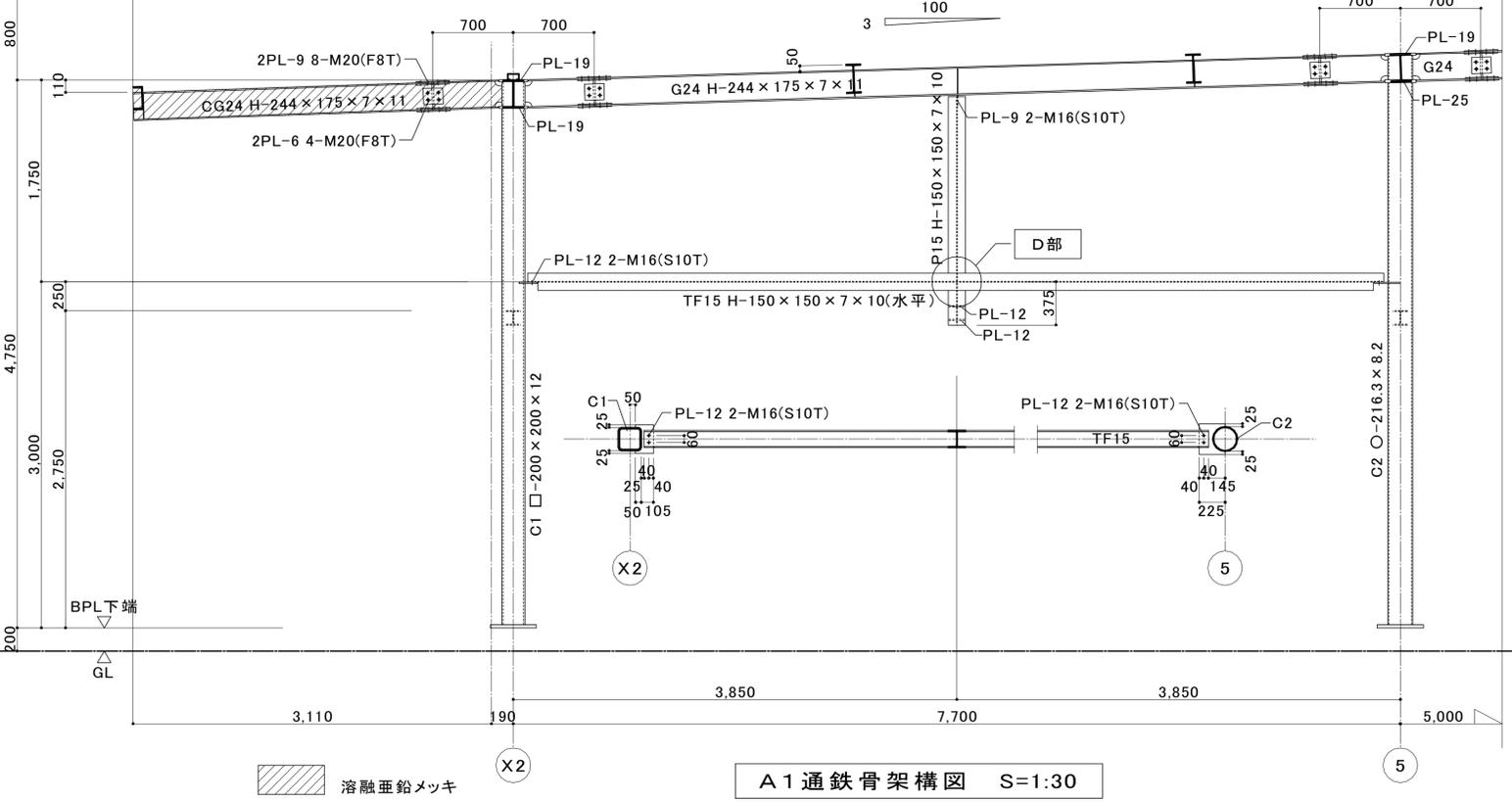
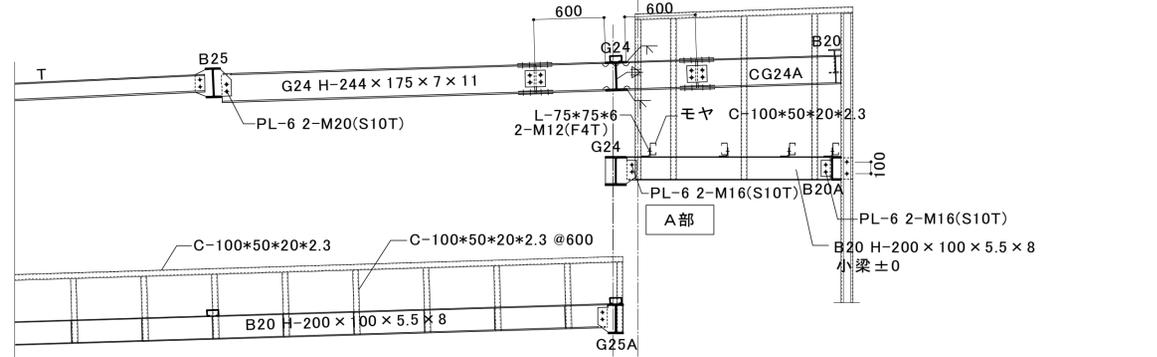
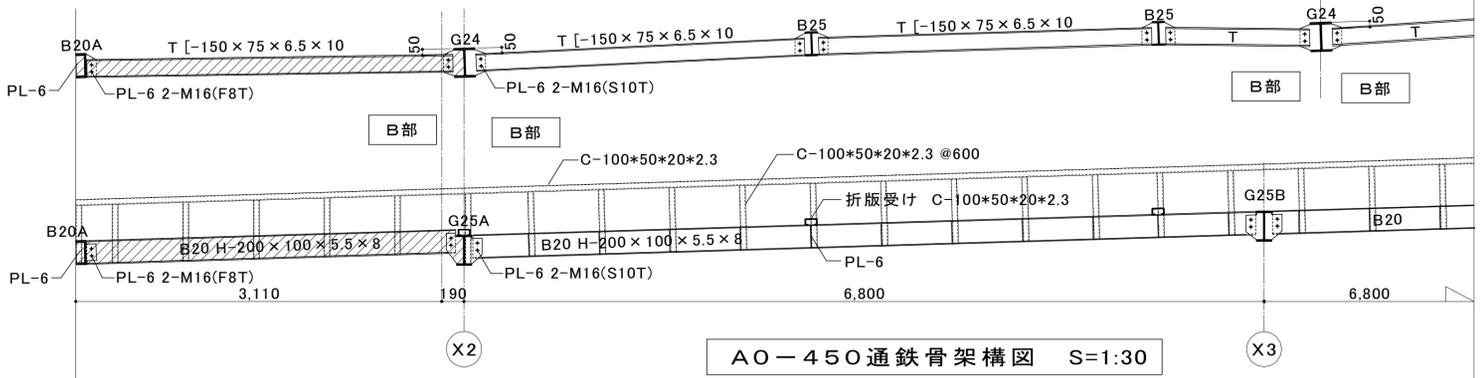
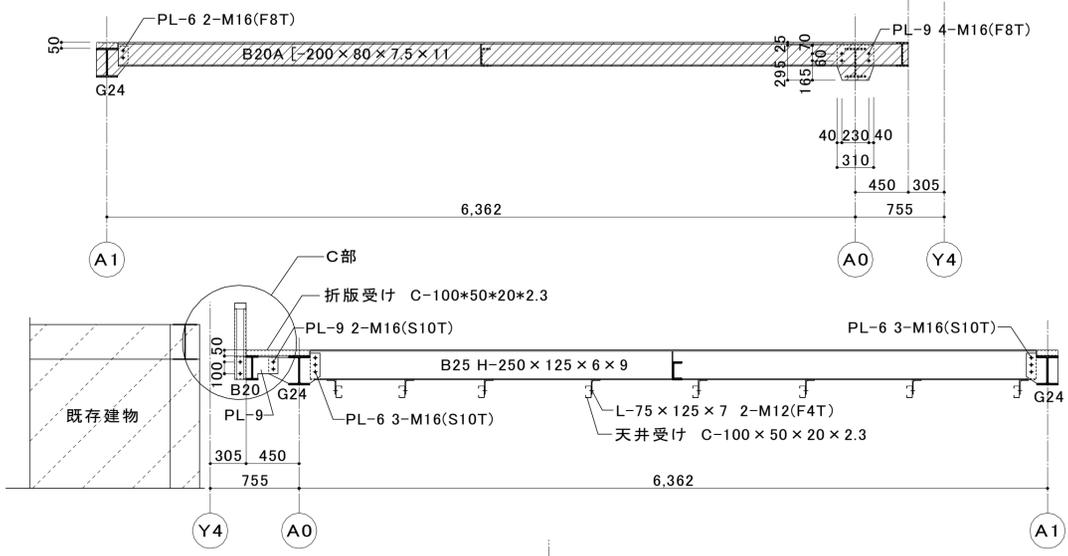
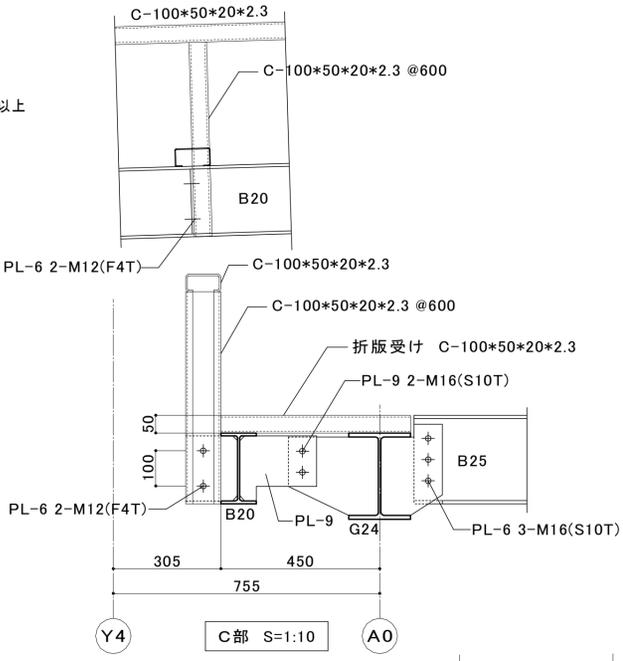
X4通～6通鉄骨架構図 S=1:30

年月日		備考	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所	作成	承認	工事名称	設計NO	図面NO
訂正		※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区業平2-14-6ロースタビル3F TEL:03-3626-8284 FAX:03-3626-8289	発行		エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事		KS-7
						図面名称	縮尺	整理NO
						鉄骨架構図(1)	A1 1:30 A3 1:60	



※外ダイヤフラムは2サイズアップ
 PL-3 2 (t=23~26の時)
 PL-2 8 (t=20~22の時)
 PL-2 5 (t=17~19の時)
 PL-2 2 (t=14~16の時)
 PL-1 9 (t=10~13の時)
 PL-1 6 (t=9以下の時)

内ダイヤフラム
2サイズアップ



溶融亜鉛メッキ

A1通鉄骨架構図 S=1:30

AO通鉄骨架構図 S=1:30

年月日		備考	株式会社 ステデザイン 一級建築士事務所	作成	承認	工事名称	設計NO	図面NO
訂正		※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区業平2-14-6ロースタビル3F TEL:03-3626-8284 FAX:03-3626-8289	発行		エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	整理NO	KS-8
						図面名称	縮尺	
						鉄骨架構図(2)	A1 1:30 A3 1:60	

鉄骨構造標準図 7-1 (基礎配筋標準図)

I. 構造設計概要

1. 建築物の構造内容

- (1) 建築場所 徳島県鳴門市撫養町大桑島宇津岩濱48-30、48-31、48-35、48-62、48-64、48-67
- (2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築
- (3) 構造設計一級建築士の関与 必要 必要としない
 - 法第20条第一号 (高さ60m超)
 - 法第20条第二号 (RC造高さ20m超 S造4階建以上 木造高さ13m超 その他)
- 注(3)構造設計一級建築士の関与が義務付けられる建築物については解説書等を参照して確認すること。
- (4) 階数
 - 地下 階 地上 1階 塔屋 階
- (5) 主要用途 遊技場
- (6) 増築計画 有 () 無
- (7) 構造計算ルート X方向ルート 1 - (2) Y方向ルート 1 - (2)
- (8) 鉄筋の継手及び定義
 - 建築基準法施行令36条及び73条による仕様規定に準ずる事。
 - XY両方向共ルート 3 及び限界耐力計算の場合は、政令73条の仕様規定によらずJASS(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC基準2018とすることが出来る。

2. 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

(1) コンクリート (レディミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308)

適用箇所	種類	設計基準強度 F _c =N/mm ²	品質基準強度 F _q =N/mm ²	スランプ cm	種類
捨てコンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18		15	
基礎・基礎梁・土間	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21		18	

単位水量は185kg/m³以下、単位セメント量は270kg/m³以上とする。

(2) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法	
			<input checked="" type="checkbox"/> SD295 D10-D13-D16	<input checked="" type="checkbox"/> SD345 D19
異形鉄筋 (JIS G 3112)	<input checked="" type="checkbox"/> SD295	D10-D13-D16	基礎	<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手 D16以下
	<input checked="" type="checkbox"/> SD345	D19	基礎	<input checked="" type="checkbox"/> ガス圧継手 D19以上
	<input type="checkbox"/> SD390			<input type="checkbox"/> 溶接継手
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 機械式継手
高強度せん断補強筋	<input type="checkbox"/> 材種			
	<input type="checkbox"/> 大臣認定番号			
丸鋼 (JIS G 3112)	<input type="checkbox"/> SR235			
溶接金網 (JIS G 3551)	<input type="checkbox"/>			

(3) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input checked="" type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> SM400 <input type="checkbox"/> SM400A, B, C	間柱、大梁、小梁 ツナギ梁	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	JIS G3101
<input type="checkbox"/> STKR400 <input checked="" type="checkbox"/> STKR490 <input type="checkbox"/>	胴縁	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	JIS G3466
<input checked="" type="checkbox"/> BCR295 <input type="checkbox"/> BCP235 <input type="checkbox"/>	柱	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	MSTL-0141
<input type="checkbox"/> SN400A <input type="checkbox"/> SM490B <input checked="" type="checkbox"/> SN490B.C	ダイヤフラム・BPL	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	JIS G3136
<input checked="" type="checkbox"/> SSC400 <input type="checkbox"/>	胴縁	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	JIS G3350

- ボルト 使用箇所の詳細については別添図示とする。
- 高力ボルト
 - 普通: F10T 特殊: S10T 認定品 (M12 M16 M20 M22 M24)
 - 溶融亜鉛メッキ高力ボルトF8T
 - 中ボルト
 - M12 M
 - アンカーボルト
 - SS400 M
 - ABR400 M24
 - ABR490 M
 - ABM400 M
 - ABM490 M
 - 大臣認定柱脚 (メーカー仕様による)
 - 頭付きスタッドボルト
 - Φ = L = mm 使用箇所 (柱 大梁 小梁)
 - Φ = L = mm 使用箇所 (柱 大梁 小梁)

3. 地盤

(1) 地盤調査資料と調査計画

有 (敷地内 近隣) 無 (調査計画 有 無)

規格番号	資料有り	調査計画	資料有り	調査計画	資料有り	調査計画
ボーリング調査	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	静的貫入試験	<input type="checkbox"/>	標準貫入試験	<input type="checkbox"/>
水平地盤反力係数の測定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土質試験	<input type="checkbox"/>	物理探査	<input type="checkbox"/>
試験掘 (支持層の確定)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平板載荷試験	<input type="checkbox"/>	液状化判定	<input type="checkbox"/>
スカラー計測試験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現場透水試験	<input type="checkbox"/>	P S検層	<input type="checkbox"/>

注) 上記表中の資料が有るものに○を記入する。

4. 地業工事

- (1) 基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験掘 有 無
深さ GL- m、支持層-、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 有 無
- (2) 地盤改良 浅層混合処理工法ベタ基礎深層混合処理工法布基礎ソイルセメント工法
深さ GL-6.0m 長期許容支持力度 100KN/m²・130KN/m² 載荷試験 有 無
注) 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2018」を参考とする。
- (3) 杭基礎 支持層-

杭種	材料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PRC	PRC(<input type="checkbox"/> I種 <input type="checkbox"/> II種 <input type="checkbox"/> III種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み	
<input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼	PHC(<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 埋込み(セメントミルク工法)	
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭	鋼材 <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> STK400	<input type="checkbox"/>	評定第 号
<input type="checkbox"/> SC杭 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> JIS	<input type="checkbox"/>	年 月 日
<input type="checkbox"/> 場所打ち コンクリート杭	コンクリートF _c N/mm ² F _q N/mm ²	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 広底杭 <input type="checkbox"/> リバースサーキュレーション	評定 号
	スランプ cm以下 セメント量 kg/m ³ 単位水量 kg/m ³	<input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース <input type="checkbox"/> BH H <input type="checkbox"/> 深礎 <input type="checkbox"/> 手掘 <input type="checkbox"/> 機械掘	第 号 年 月 日
	鉄筋主筋 SD HOOP SD		

杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書
試験杭 (有 無) (打ち込み 載荷 孔壁測定) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

5. 設備関係

- ・建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
- ・建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講ずること。
- ・建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
- ・煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
- ・設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
- ・設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
- ・エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
- ・特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
- ・床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの 1/3 以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

6. その他

- ・諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- ・各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
- ・必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
- ・本構造配筋標準図は、設計者の責任において使用すること。

II. 配筋標準図

1. 鉄筋の材料

鉄筋は表 1 により、種類の記号は特記による。

表 1 鉄筋				
規格番号	規格名称	種類の記号		
JIS G3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235 SD295	SR295 SD345	SD390

溶接金網は JIS G3551 (溶接金網及び鉄筋格子) により、網目の形状、寸法及び鉄線の径は特記による。

2. 鉄筋の表示記号

表 2 鉄筋記号									
鉄筋径	異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
表示記号		●	×	◇	●	○	◎	⊗	◎

3. 鉄筋の最小かぶり厚さ及び間隔

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは下表による。ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表 3 かぶり厚さ

構造部分の種類		最小かぶり厚さ (mm)	
スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり	20	
	仕上げなし	30	
土に接しない部分	柱	屋内 仕上げあり	30
		屋内 仕上げなし	30
	耐力壁	屋内 仕上げあり	30
		屋内 仕上げなし	40
擁壁、耐圧スラブ		40	
柱、梁、スラブ、壁		*40	
基礎、擁壁、耐圧スラブ		*60	
煙突等高温を受ける部分		60	

- (注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
- 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、仕上塗材、吹付け又は塗装等の鉄筋の耐久上有効でない仕上げのものを除く。
 - スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
 - 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
 - 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

- (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶりの厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

- (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

- (d) 鉄筋相互のあきは、下記のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合は、特記による。

- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(2) 25mm
(3) 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍
- (e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは (d) による。
- (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c) による。

4. 鉄筋の末端部

- 鉄筋の末端部には、次の場合にフックをつける。
- 根巻き柱脚の主筋で末端部が頂部にあるもの。
 - 杭基礎のベース筋。
 - 帯筋、あばら筋及び幅止め筋。

表 4 鉄筋の折曲げ

折曲げ角度	折曲げ図	SD295	SD345	SD390
		D16以下	D19~D38	
180°		D	3d以上	5d以上
135°		D	3d以上	5d以上
90°		D	3d以上	5d以上
135°及び90° (幅止め筋)		D	3d以上	5d以上

5. 鉄筋の継手

- (a) 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧継手又は特殊な鉄筋継手とし、適用は特記による。
- (b) 鉄筋の継手位置は、特記による。
- (c) 鉄筋の重ね継手は、次による。

なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

- (1) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、40d (軽量コンクリートの場合は50d) と表 5. 1 の重ね継手長さのうち大きい値とする。

- (2) (1) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは、表 5. 1 による。

- (3) 隣り合う継手の位置は、表 5. 2 による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。

なお、先組工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合は、特記による。

表 5. 1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (F _c) (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)		L _{1n} (フックあり)
		L ₁	L _{1n}	
SD295	18	45d		35d
	21	40d		30d
	24, 27	35d		25d
SD345	30, 33, 36	35d		25d
	18	50d		35d
	21	45d		30d
SD390	24, 27	40d		30d
	30, 33, 36	35d		25d
	21	50d		35d
SD390	24, 27	45d		35d
	30, 33, 36	40d		30d

- (注) 1. L₁、L_{1n}: 重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
- フックありの場合のL_{1n}は、図 5. 1 に示すようにフック部分ℓを含まない。
 - 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

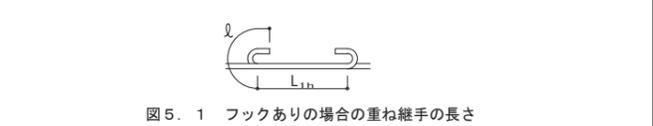


表 5. 2 隣合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合		
	フックなしの場合		
圧接継手の場合			
機械式継手の場合			

訂正	備考	作成	承認	工事名称	設計NO	図面NO
	※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL. 03-3626-8284 FAX. 03-3628-8289		エディウィン鳴門一般庶棟増築及び改修工事のうち建築工事		KS-9
				図面名称	縮尺	整理NO
				鉄骨構造標準図(7-1)		

鉄骨構造標準図 7-2 (基礎配筋標準図)

6. 鉄筋の定着

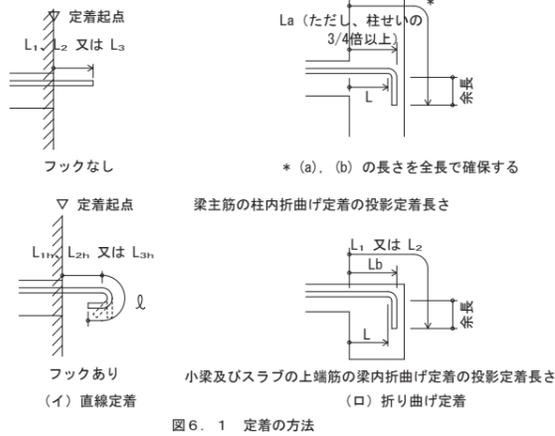
- (a) 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、40d (軽量コンクリートの場合は50d) 表 6. 1 の定着長さのうち大きい値とする。
- (b) (a) 以外の鉄筋の定着の長さは、表 6. 1 による。

表 6. 1 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (Fc) (N/mm ²)	フックなし		フックあり	
		L ₁	L ₂	L _{1h}	L _{2h}
SD295	18	45d	40d	35d	30d
	21	40d	35d	30d	25d
	24, 27	35d	30d	25d	20d
	30, 33, 36	35d	30d	25d	20d
SD345	18	50d	40d	35d	30d
	21	45d	35d	30d	25d
	24, 27	40d	35d	30d	25d
	30, 33, 36	35d	30d	25d	20d
SD390	21	50d	40d	35d	30d
	24, 27	45d	40d	35d	30d
	30, 33, 36	40d	35d	30d	25d

- (注) 1. L₁, L_{1h}: (b) 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
 2. L₂, L_{2h}: 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着長さ及びフックあり定着の長さ
 3. L₃: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
 4. L_{3h}: 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
 5. フックあり定着の場合は、図 6. 1 に示すようにフック部分 l を含まない。また中間部での折り曲げは行わない。
 6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

- (c) 定着の方法は、図 6. 1 による。
 なお、仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さ l が、表 6. 1 のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を表 6. 1 に示す直線定着の長さとし、かつ、余長を 8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを表 6. 2 に示す長さ (かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの 3/4 倍以上) をのみ込ませる。



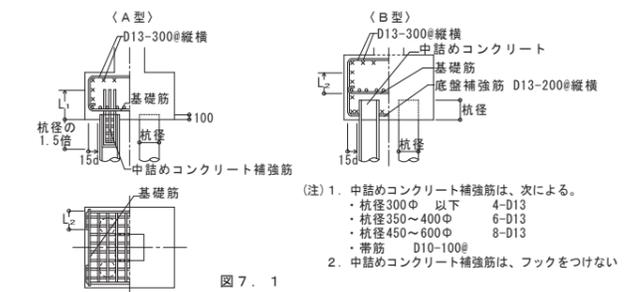
- (注) 1. La: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ (基礎梁、片持ち梁及びスラブを含む。)
 2. Lb: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ (片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)
 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

表 6. 2 投影定着長さ

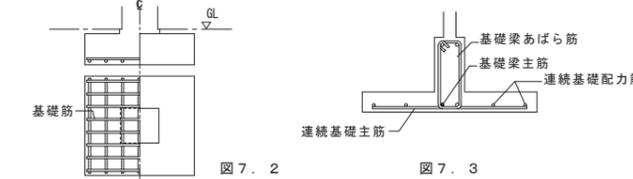
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (Fc) (N/mm ²)	La	Lb
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24, 27	20d	20d
	30, 33, 36	20d	15d

7. 基礎

- A. 杭基礎の場合
 既製コンクリート杭の杭頭補強の方法は、図 7. 1 の A 型又は B 型とし、適用は特記による。特記がなければ B 型とする。なお、中詰めコンクリートは、基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。下図以外の場合は、特記による。

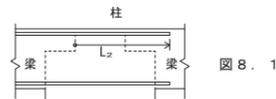


- B. 直接基礎 (独立基礎) の場合の配筋は、図 7. 2 による。
 C. 直接基礎 (連続基礎) の場合の配筋は、図 7. 3 による。

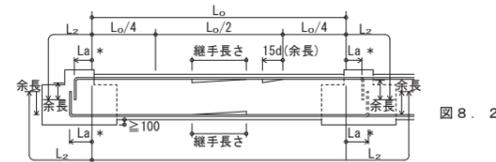


8. 基礎梁

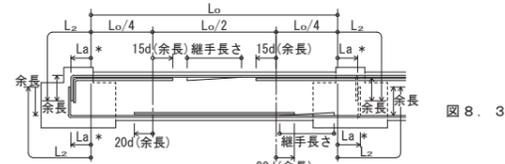
- A. 一般事項
 (1) 梁筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図 8. 1 による。
 (2) 梁筋を柱内に定着する場合は次による。
 ① 梁主筋のみ込み長さは、柱せいの 3/4 以上とする。
 ② 上端筋: 曲げ降ろす。
 ③ 下端筋: 曲げ上げる。ただし、やむを得ない場合は、監督員の承諾を受けて、曲げ降ろすことができる。
 ④ 定着の方法は、6. (c) による。



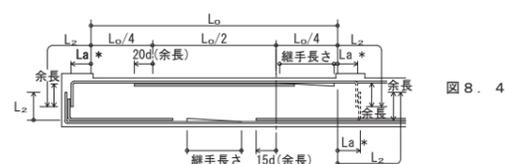
- B. 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長



- C. 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長 (耐圧スラブが付く場合は D. による)

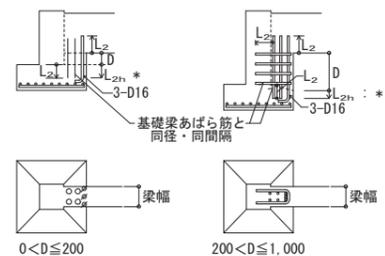


- D. 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長



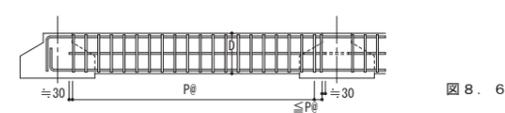
- (注) 1. 印は、継手及び余長を示す。
 2. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 3. Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

- E. 基礎接合部の補強



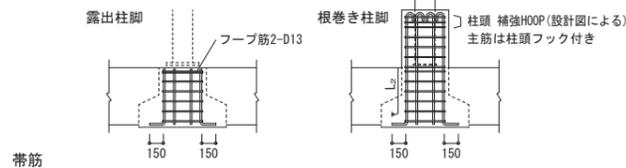
- (注) 1. L_{2h}を確保できない場合は、6. (c) によることができる。

- F. あばら筋の割り付け



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
 2. 図中の P₀ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

9. 基礎柱



- (1) H形とする。
 (2) H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
 (3) 溶接する場合の溶接長さLは両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。



10. 土間コンクリートの補強

- A. 土間コンクリートの補強
 土間コンクリートの補強筋は、特記による。なお、基礎梁との接合部は、図 10. 1 による。

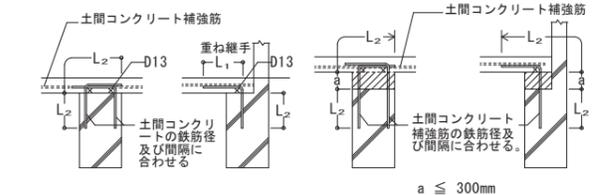


図 10. 1

11. 梁貫通孔補強

- (1) H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H 1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 3	4-2-D13	なし	なし	なし	
H 4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 5	4-2-D16	なし	なし	なし	
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22	なし	なし	なし	

- (注)は、一般部分のあばら筋を示す。

1. 梁貫通孔補強筋の名称などは図 11. 1 による。

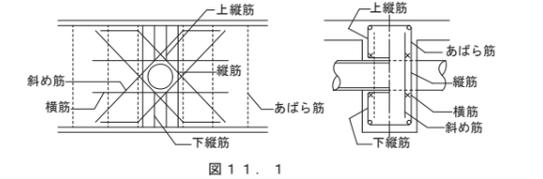


図 11. 1

2. 孔の径は、梁せいの 1/3 以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
 3. 孔の上下方向の位置は、梁せい中心付近とし、梁中央部下端は、梁下端より 1/3 d の範囲に設けてはならない。
 4. 孔の中心位置の限度は、柱及び直交する梁 (小梁) の面から原則として 1.5 D (D は梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁、壁付帯梁は除く。
 5. 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
 6. 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
 7. 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは図 11. 2 による。
 8. 孔の径が梁せいの 1/10 以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることで、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
 9. 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
 10. 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
 11. 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

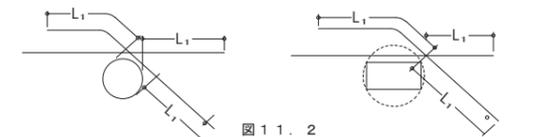


図 11. 2

- (注) 採用する配筋については、特記による。大臣認定による既製品を使用する場合は、すべて認定内容による。

訂正		鳴門市企業局ポートレース事業課	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区業平2-14-60-タスビル3F TEL: 03-3628-8284 FAX: 03-3628-8289	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 鉄骨構造標準図(7-2)	設計NO 番尺 整理NO	図面NO KS-10
----	--	-----------------	--	-------------	--	--------------------	---------------

特記事項

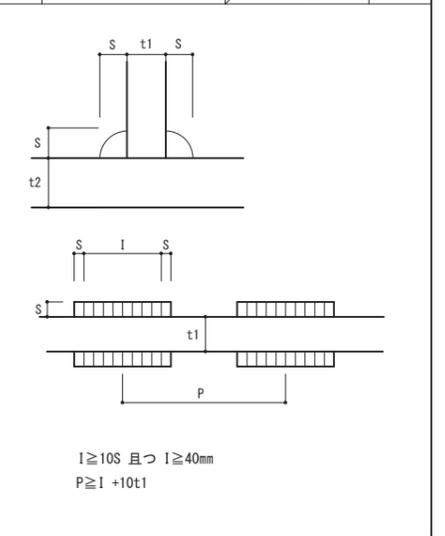
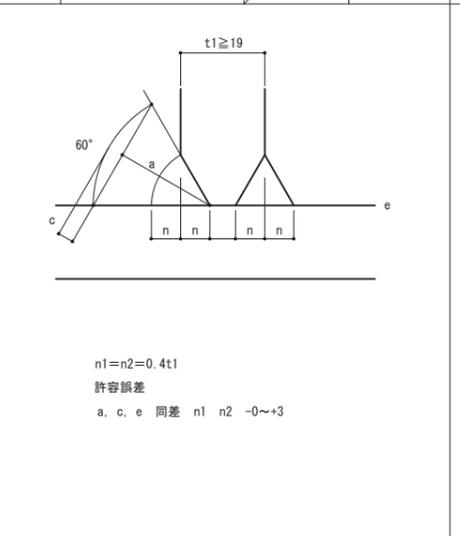
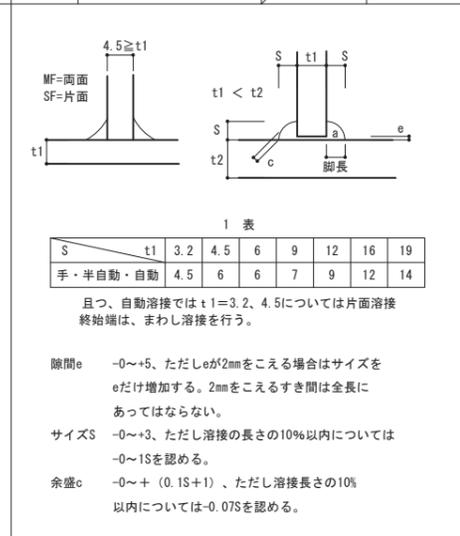
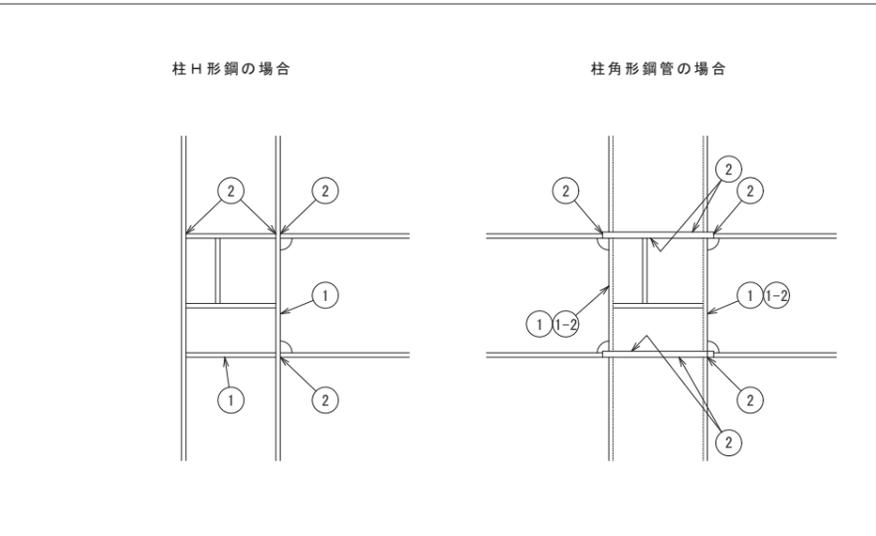
1 適用範囲

1. 本標準図は「溶接工作基準・同解説、I アーク溶接、IV サブマージアーク自動溶接、IV ガスシールド半自動溶接：日本建築学会」に従い、工場溶接を行う場合に適用する。
 2. 特に設計者の指示がある場合はそれに従う。
 3. 本図によらない場合は、設計者の承認を受ける。
 4. 本構造標準図は、設計者の責任において使用すること。

2 適用鋼材

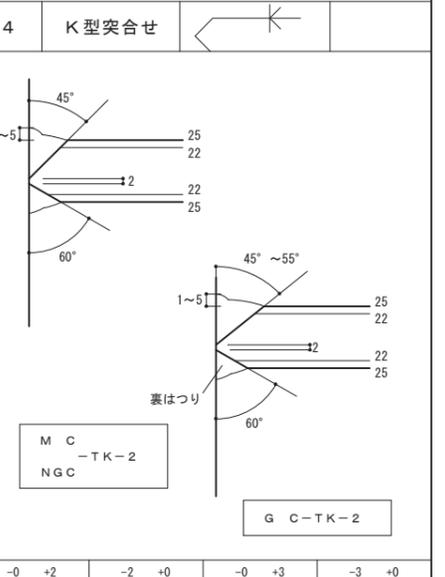
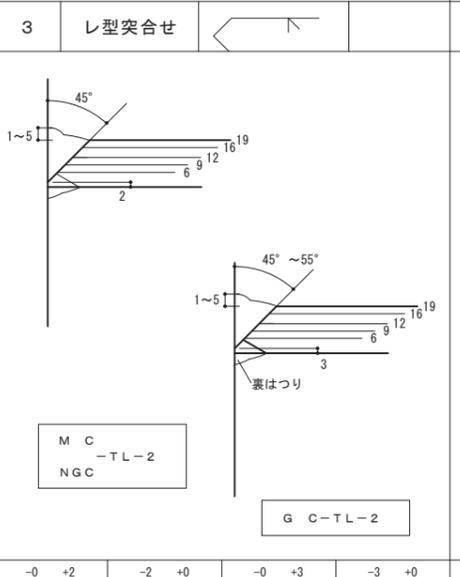
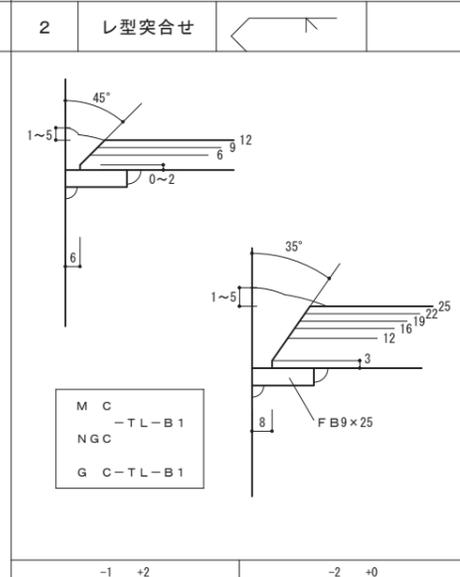
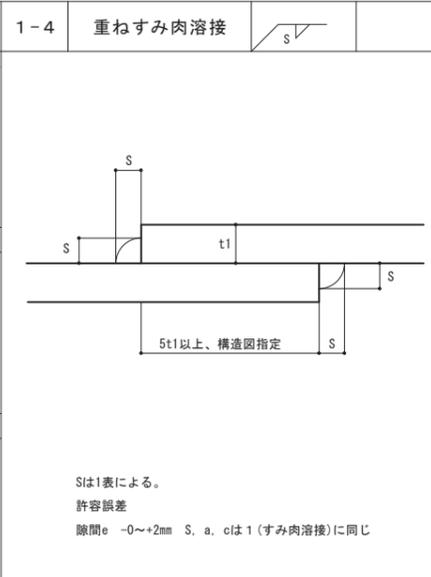
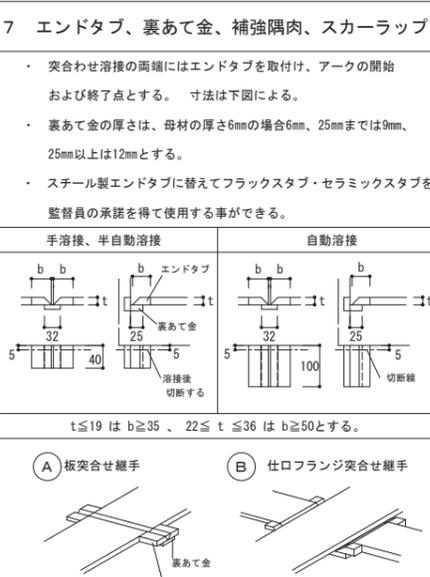
溶接法	鋼材の記号	板厚(mm)
M	SS400 SSC400 STKR400 STK400 STK490	2.3~6
M	SS400 SM490YA STKR400 STK490	6~25
M	SM400A SM490B SN400B・C SN490B・C	6~32
NG	SM490A SM520B SN400B・C SN490B・C	6~38
G	SN400B・C BCR295 BCP235 BCP295	6~45
S	SN400B・C SN490B・C	6~45
	SM400B SM400C・SM520C SM570	6~50

予熱は、鉄骨工事技術指針に従い行うものとする。技術指針に該当しない鋼材については、必要な試験を行った上、適切な熱管理のもとで準用してよい。



3 適用溶接法と記号

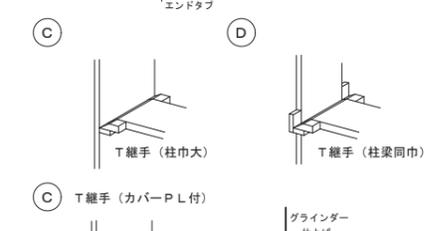
M アーク手溶接
 NG ノンガスシールドアーク半自動溶接
 G ガスシールドアーク半自動溶接
 S サブマージアーク自動溶接
 C 突合せ溶接
 P 部分溶け込み溶接
 F すみ肉溶接
 T T継ぎ手
 L 角継ぎ手
 B 突合せ継ぎ手
 I I形
 V V形
 レ レ形
 K K形
 X X形
 B 裏あて金
 1 片面溶接
 2 両面溶接 MC, NGC, GC, は、裏はつりをする。
 (例) MC-TL-B1=アーク手溶接突合せレ形T継ぎ手-裏あて金付片面溶接



4 溶接姿勢

F 下向姿勢
 H 水平又は、横向姿勢
 V 立向姿勢
 O 上向姿勢

手溶接における姿勢は、特記あるものを除き、原則として下向とする。



5 その他

1. 使用板厚は半自動、自動溶接の場合は6mm以上とする。

2. 手溶接において、1層目の溶接を行う棒径は4mm以下とする。

3. 寸法の許容誤差で図示したもの以外は、下記による。

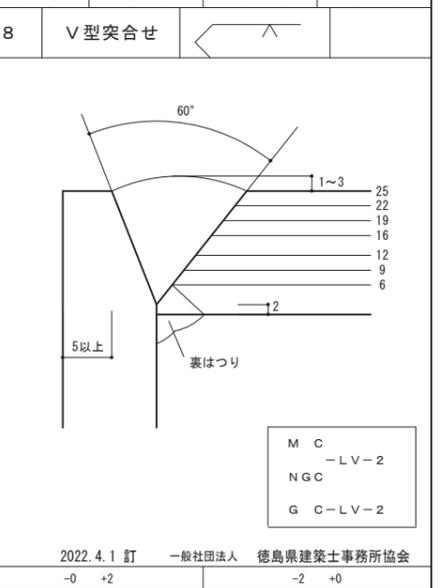
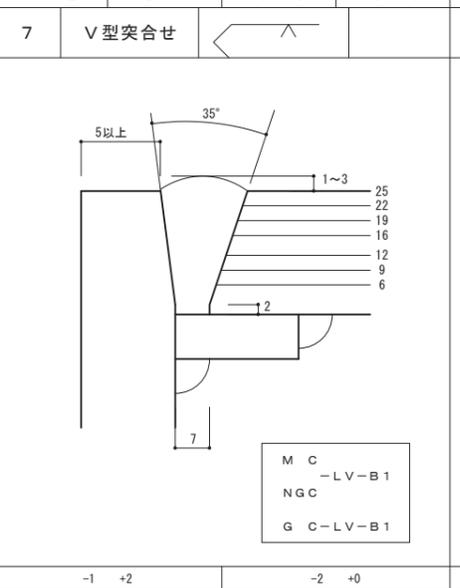
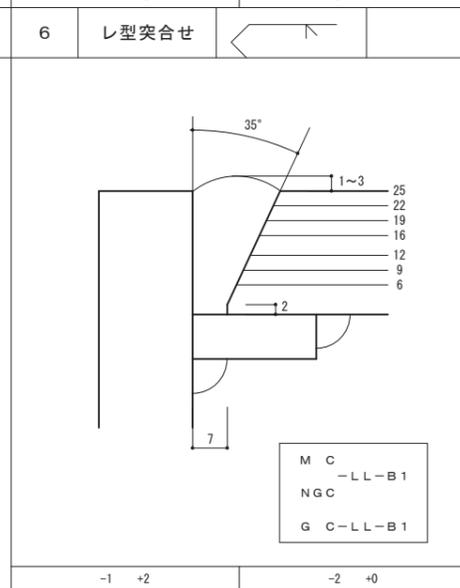
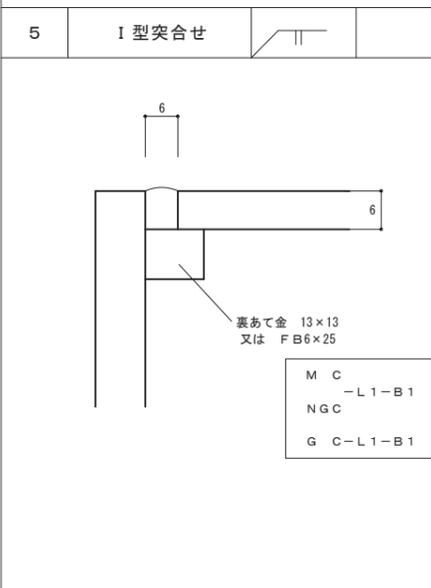
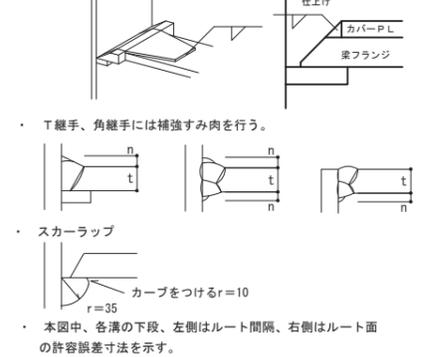
a 開先角度は、 $-3^\circ \sim +5^\circ$ とする。

b 裏あて金のすきまは0とし許容誤差は、 $-0 \sim +1$ とする。

c 重ね継ぎ手のすきまは0とし許容誤差は、 $-0 \sim +2$ とする。

d グループ溶接部の相互の目違いは0とし、許容誤差は、 $-1 \sim +1$ とする。

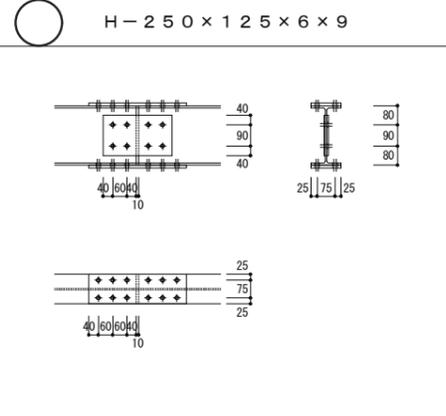
e 突き合わせ溶接及び部分溶け込み溶接の余盛の高さは、特記なき場合は、右記詳細図によるものとする。



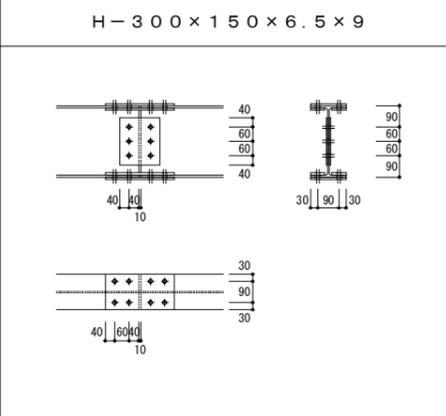
鉄骨構造標準図 7-4 (接合部)

H型鋼標準接合部

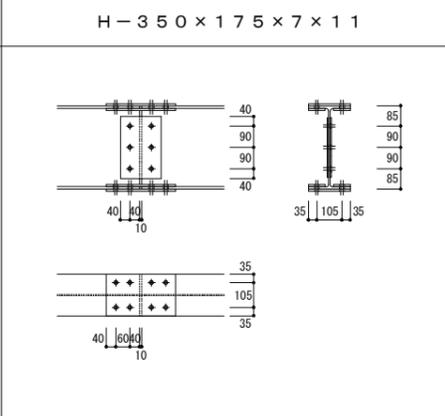
- 特記事項
- 許容耐力設計において、存在応力が本標準図の許容耐力以内であることを確認すること。
 - 本標準図は保有耐力接合を示す標準図である。
 - 孔径はボルト軸径+2mm以内とする。
 - 鋼材の材質は SS400、SN400A・B・Cとする。
 - 高力ボルトは S10T、F10Tとする。
 - 亜鉛メッキを施した場合には本表は使用できない。
 - 大梁の内法長さが本表に示す最小長さ以下の場合せん断耐力が不足するため本表は使用できない。
 - 別途設計をした場合本標準図は使用しなくても良い。
 - 継手部添板の切断はガス手動切断・シャー切断をしてはならない。



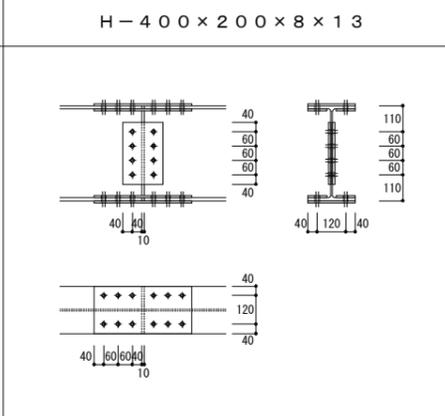
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M16	2	12	125	410	0.80m
ウェブ	8	M16	2	6	290	170	



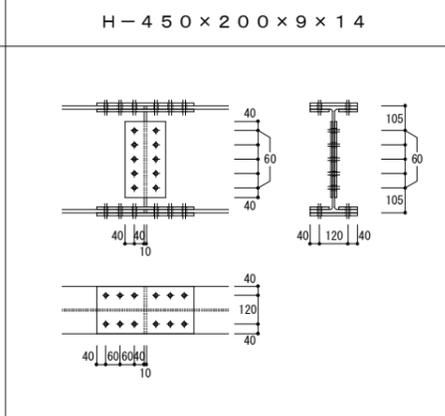
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M16	2	9	150	290	0.97m
ウェブ	6	M16	2	6	170	200	



	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M20	2	9	175	290	1.25m
ウェブ	6	M20	2	6	170	260	

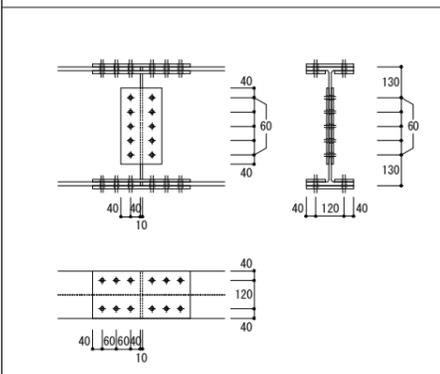


	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	9	200	410	1.52m
ウェブ	8	M20	2	9	170	260	



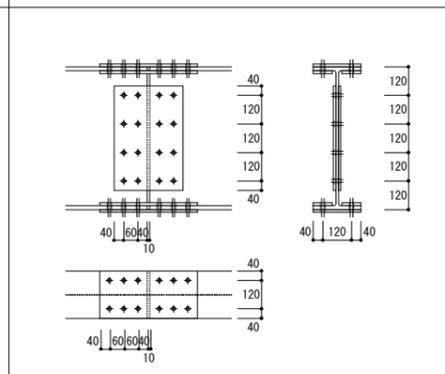
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	12	200	410	1.56m
ウェブ	10	M20	2	9	170	320	

H-500x200x10x16



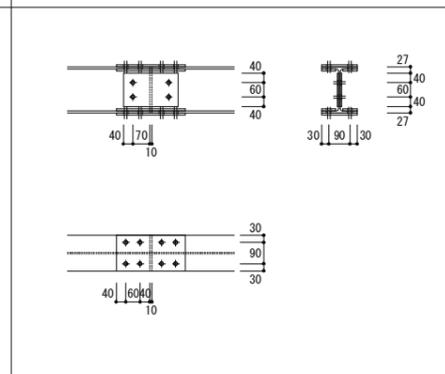
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	12	200	410	1.57m
ウェブ	10	M20	2	9	170	320	

H-600x200x11x17



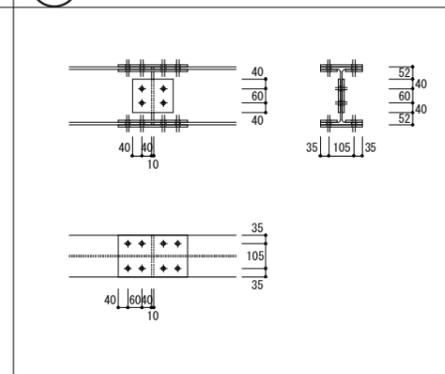
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	12	200	410	1.46m
ウェブ	16	M20	2	9	290	440	

H-194x150x6x9



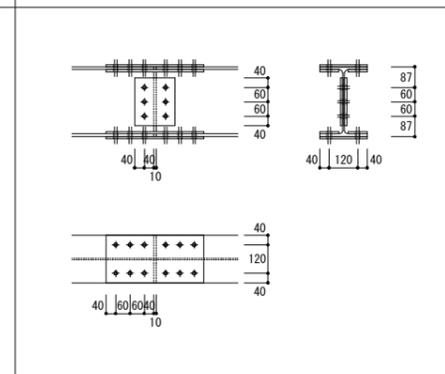
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M16	2	9	150	290	0.95m
ウェブ	4	M16	2	6	230	140	

H-244x175x7x11



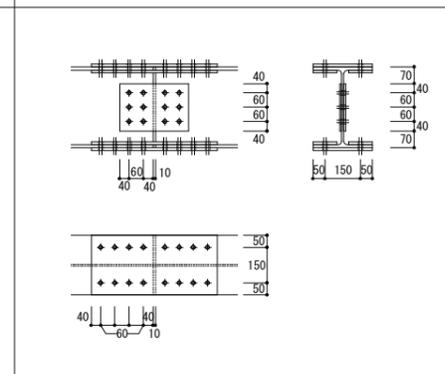
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M20	2	9	175	290	1.17m
ウェブ	4	M20	2	9	170	140	

H-294x200x8x12



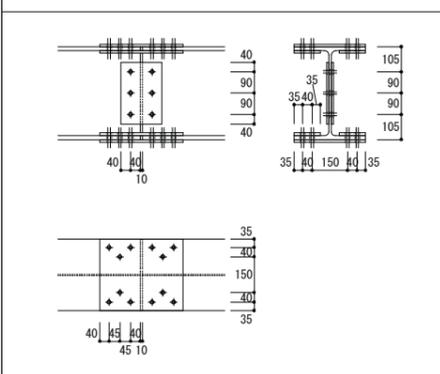
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	9	200	410	1.36m
ウェブ	6	M20	2	9	170	200	

H-340x250x9x14



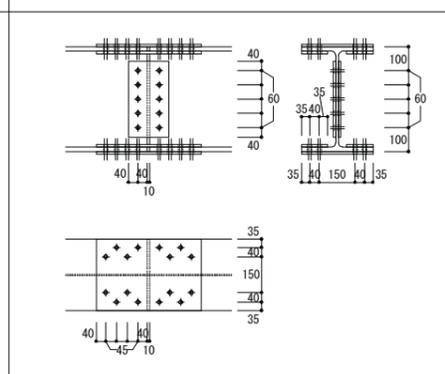
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M20	2	12	250	530	1.65m
ウェブ	12	M20	2	9	290	200	

H-390x300x10x16



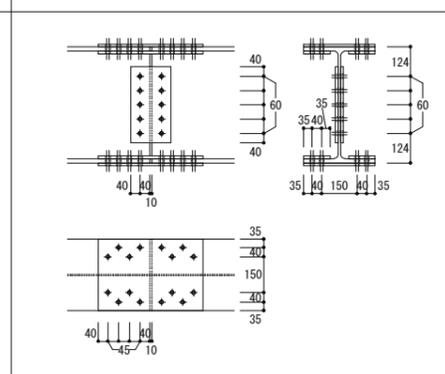
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M22	2	12	300	350	1.98m
ウェブ	6	M22	2	9	170	260	

H-440x300x11x18



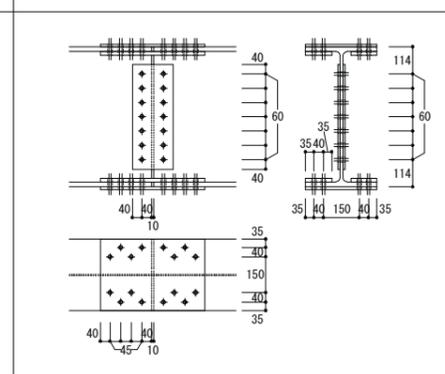
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M22	2	12	300	440	2.33m
ウェブ	10	M22	2	9	170	320	

H-488x300x11x18



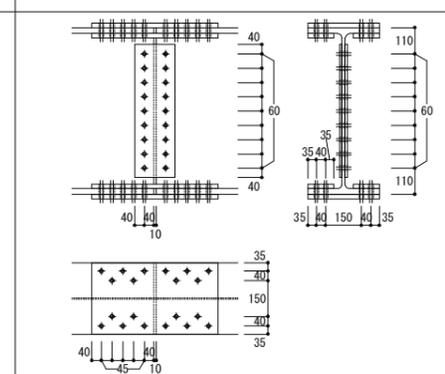
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M22	2	12	300	440	2.27m
ウェブ	10	M22	2	12	170	320	

H-588x300x12x20



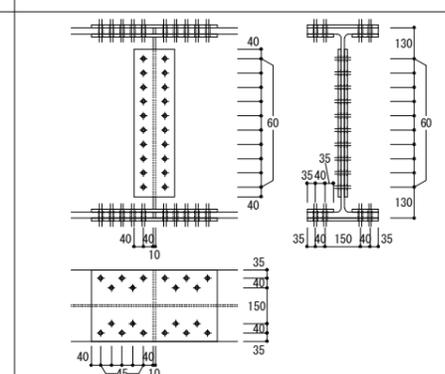
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M22	2	12	300	440	2.52m
ウェブ	14	M22	2	9	170	440	

H-700x300x13x24



	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	40	M22	2	19	300	530	2.95m
ウェブ	18	M22	2	9	170	560	

H-800x300x14x26



	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	40	M22	2	19	300	530	3.01m
ウェブ	20	M22	2	12	170	620	

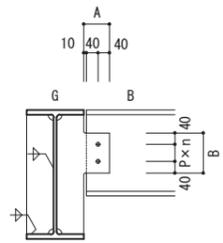
2022.4.1 訂 一般社団法人 徳島県建築士事務所協会

訂正	年月日	内容	備考	作成	承認	工事名称	設計NO	図面NO
			※種別等の変更により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 ステデザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都豊田区東平2-14-6ロータビル3F TEL: 03-3629-8284 FAX: 03-3629-8289		エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 補 尺		KS-12
						鉄骨構造標準図(7-4)		

鉄骨構造標準図 7-5

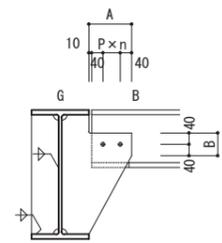
小梁接合部

- 特記事項
- 鋼材の材質は SS400 SN400A・B・Cとする。
 - ガセットプレートの材質は、大梁と同じものとする。
 - 高力ボルトは S10T・F10Tとする。
 - 大梁の横補剛材として使用する場合は別途計算の上決定する必要がある。
 - 本標準図は小梁の接合部を示すものであるが、別途設計を行う場合は本図を用いなくてよい。
 - 本標準図に記載されている耐力は参考値であって、本図を用いる場合は、耐力の確認を行うこと。
 - ボルト孔明けは、ドリル明けとする。
 - 小梁のたわみ量は算定していません。



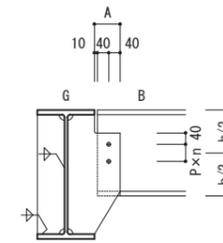
H-200×100
H-194×150 以上の場合

タイプ
A



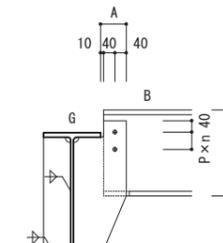
H-175×90
H-148×100 以下の場合

タイプ
B

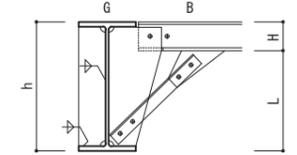


H-200×100
H-194×150 以上の場合

タイプ
C



タイプ
D



方材材 $\theta=45^\circ$ L>300 且つ 2×H
2LS-65×65×6 の場合は方材をいれる。
HTB 4-M16
b材取付はA-Eによる。

タイプ
E

記号	タイプ	細幅シズ 小梁 (B)	許容せん断耐力	大梁 (G)	HTB			G.P			記号	タイプ	中幅シズ 小梁 (B)	許容せん断耐力	大梁 (G)	HTB			G.P		
					N×径	許容せん断耐力	t	許容せん断耐力	P×n	A×B						N×径	許容せん断耐力	t	許容せん断耐力	P×n	A×B
BJ01		H-100×50×5×7	※[30.80]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	[39.13]	60×1	150×80	BJ51		H-148×100×6×9	[60.88]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[33.70]	60×1	150×80
BJ02				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[58.70]	60×1	150×80	BJ52				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	※[50.55]	60×1	150×80
BJ03		H-125×60×6×8	[49.46]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[45.93]	60×1	150×80	BJ53		H-194×150×6×9	[76.10]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[56.53]	60×1	90×140
BJ04				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[68.89]	60×1	150×80	BJ54				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	※[59.23]	9.0	[84.79]	60×1	90×140
BJ05		H-150×75×5×7	[53.45]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[52.72]	60×1	150×80	BJ55		H-244×175×7×11	[112.88]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M20	[92.38]	6.0	※[52.18]	60×1	90×140
BJ06				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[79.09]	60×1	150×80	BJ56				H-300×150 H-294×200 以上	2-M20	[92.38]	9.0	※[78.27]	60×1	90×140
BJ07		H-175×90×5×8	[63.87]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	※[59.23]	6.0	[59.52]	60×1	150×80	BJ57		H-294×200×8×12	[147.84]	H-300×150 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	※[109.25]	60×2	90×200
BJ08				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	※[59.23]	9.0	[89.29]	60×1	150×80	BJ58		H-340×250×9×14	[182.63]	H-350×175 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	※[140.23]	60×3	90×260
BJ09	C・D	H-200×100×5.5×8	[73.74]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[56.53]	60×1	90×140	BJ59		H-390×300×10×13	[242.78]	H-400×200 H-390×300 以上	4-M22	[223.59]	12.0	※[178.28]	60×3	90×260
BJ10				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	※[59.23]	9.0	[84.79]	60×1	90×140	BJ60		H-440×300×11×18	[283.00]	H-450×200 H-440×300 以上	5-M22	[279.48]	12.0	※[217.42]	60×4	90×320
BJ11		H-248×124×5×8	※[75.19]	H-298×149 H-244×175 以下	3-M16	[88.85]	6.0	[79.35]	60×2	90×200	BJ61		H-482×300×11×15	[306.92]	H-500×200 H-482×300 以上	6-M22	[335.38]	12.0	※[256.55]	60×5	90×380
BJ12				H-300×150 H-294×200 以上	3-M16	[88.85]	9.0	[119.03]	60×2	90×200	BJ62		H-488×300×11×18	[306.92]	H-600×200 H-582×300 以上	6-M22	[335.38]	12.0	※[256.55]	60×5	90×380
BJ13	D	H-250×125×6×9	[90.23]	H-298×149 H-244×175 以下	3-M16	[88.85]	6.0	※[79.35]	60×2	90×200	BJ63		H-582×300×12×17	[413.09]	H-600×200 H-582×300 以上	7-M22	[391.28]	12.0	※[295.69]	60×6	90×440
BJ14				H-300×150 H-294×200 以上	3-M16	※[88.85]	9.0	[119.03]	60×2	90×200	BJ64		H-588×300×13×20	[413.09]	H-600×200 H-582×300 以上	7-M22	[391.28]	12.0	※[295.69]	60×6	90×440
BJ15		H-298×149×5.5×8	※[107.62]	H-298×149 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	[109.25]	60×2	90×200	BJ65		H-692×300×13×20	[513.46]	H-700×300 H-692×300 以上	9-M22	[503.08]	16.0	※[498.61]	60×8	90×560
BJ16		H-300×150×6.5×9	[127.19]	H-300×150 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	※[109.25]	60×2	90×200	BJ66		H-700×300×13×24	[513.46]	H-700×300 H-692×300 以上	9-M22	[503.08]	16.0	※[498.61]	60×8	90×560
BJ17		H-346×174×6×9	※[130.45]	H-346×174 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	[140.23]	60×3	90×260	BJ67		H-792×300×14×22	[613.84]	H-800×300 H-792×300 以上	11-M22	[614.87]	16.0	※[602.97]	60×10	90×680
BJ18		H-350×175×7×11	[152.19]	H-350×175 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	※[140.23]	60×3	90×260	BJ68		H-800×300×14×26	[613.84]	H-800×300 H-792×300 以上	11-M22	[614.87]	16.0	※[602.97]	60×10	90×680
BJ19		H-396×199×7×11	※[167.41]	H-396×199 H-390×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	[171.22]	60×4	90×320	BJ69		H-890×299×15×23	[755.52]	H-900×300 H-890×300 以上	12-M22	※[670.77]	19.0	[777.99]	60×11	90×740
BJ20		H-400×200×8×13	[191.33]	H-400×200 H-390×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	※[171.22]	60×4	90×320	BJ70		H-900×300×16×28	[805.89]	H-900×300 H-890×300 以上	12-M22	※[670.77]	19.0	[777.99]	60×11	90×740
BJ21		H-446×199×8×12	[226.11]	H-446×199 H-440×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	※[171.22]	60×4	90×320											
BJ22		H-450×200×9×14	[254.38]	H-450×200 H-440×300 以上	5-M20	[230.95]	12.0	※[228.29]	60×4	90×320											
BJ23		H-496×199×9×14	[273.94]	H-496×199 H-482×300 以上	6-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×5	90×380											
BJ24		H-500×200×10×16	[304.38]	H-500×200 H-482×300 以上	6-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×5	90×380											
BJ25		H-600×200×11×17	[389.23]	H-600×200 H-582×300 以上	8-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×7	90×500											

耐力の単位:kN

- 注：1. 小梁に小梁（2次小梁）がつく場合は大梁（G）を小梁と読みかえる。
2. 図中[]内の数値は参考許容せん断力とし※印は最低値を示す。
3. H-100×50、H-125×60、H-150×75、H-175×90、H-148×100の取付方法は、Bタイプ又はEタイプとする。

訂正	年月日	内容	鳴門市企業局ポータル事業課	備考 ※随時指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区東平2-14-6ロータビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 鉄骨構造標準図(7-5)	設計NO 整理NO	図面NO KS-13
----	-----	----	---------------	---	---	----------	---	--------------	---------------

鉄骨構造標準図 7-6 (角形鋼管柱仕口)

特記事項

1. 本標準図は、冷間（熱間）成形角形鋼管を柱として使用した場合の基準を示す。
2. 次項に記載する鋼材を使用しない場合は、別途設計による。
3. 使用する鋼材の材質

a 角形鋼管柱材質

SM400 SS400 SN400B SM490A SS490 SN490B・C

b 製造方法

冷間プレス成形角形鋼管 BCP235 (SN400BC)

冷間プレス成形角形鋼管 BCP325 (SN490BC)

冷間ロール成形角形鋼管 BCR295 (SN400B)

熱間成形角形鋼管 SHC400B/C (SN400級)

熱間成形角形鋼管 SHC490B/C (SN490級)

冷間成形角形鋼管 STKR400 STKR490

c ベースプレート等

・露出柱脚 ・根巻柱脚 ・埋込柱脚

露出柱脚の場合

・認定品 ()

・在来工法

4. ダイヤフラム等

使用材料 SS400 SN400 (B・C) SM490A SN490 (B・C)

加工方法 工場製作 鋳造製ダイヤフラム

5. JIS規格等

冷間プレス成形角形鋼管 (BCP) 国土交通大臣認定品

冷間ロール成形角形鋼管 (BCR) 国土交通大臣認定品

熱間成形角形鋼管 建築センター評定品

冷間成形角形鋼管 (STKR) JIS G 3466

6. ベースプレート等の設置

- ・アンカーボルトの設置は、指定各社の施工基準に基づき正確に設置すること。
- ・鋼管柱とベースプレートとの接合は、各社の施工基準に基づき入念な施工を行うものとする。
- ・アンカーボルトの設置は、特記なき限りA種先付け工法とする。
- ・アンカーボルトの設置は、施工業者の責任施工とする。
- ・ベースプレートとコンクリートの空隙部は、特記なき限り無収縮グラウト注入とする。
- ・露出型固定柱脚は、メーカー毎で、剛性・強度が異なるため変更の際に注意すること。

7. STKR・BCP・BCRには互換性がないので注意すること。

8. 溶接部は全て製作所（社内検査）におけるUT検査を行うこと。

9. 鋼材の使用区分について（参考）

a 角形鋼管柱を使用した鉄骨造架構

柱材・梁材・接合用板材 SN400B SN490B SS400

ダイヤフラム・ベースプレート SN400C SN490C

小梁・間柱・根太母屋材 SN400A SN490A SS400

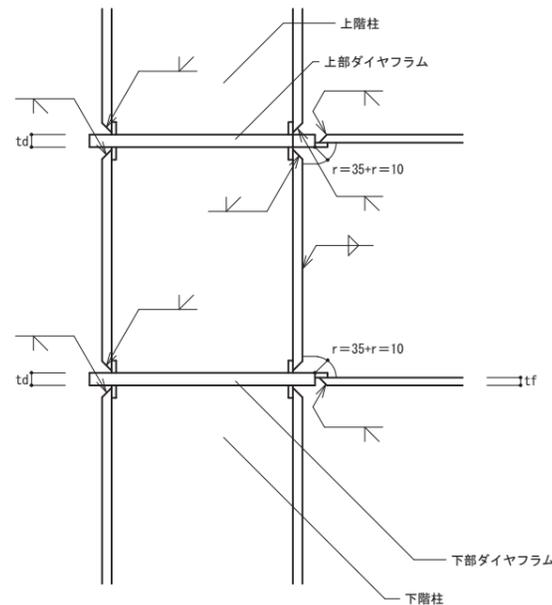
b 角形鋼管柱を使用した鉄骨造架構

柱材・梁材・接合用板材 SN400B SN490B SS400

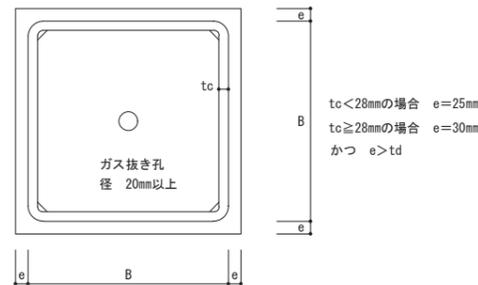
ベースプレート SN400C SN490C

小梁・間柱・根太母屋材 SN400A SN490A SS400

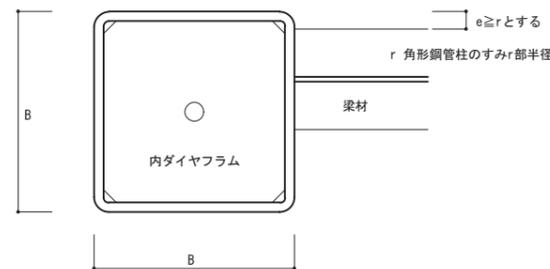
柱頭部（ダイヤフラムに段差のない場合）詳細図



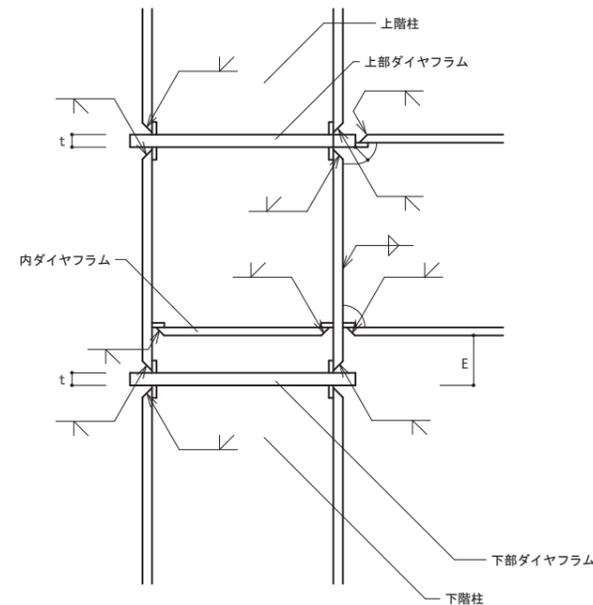
- ・ダイヤフラムに使用する鋼板は、SN400C、SN490Cとする。
- ・t>取り付く大梁フランジの最大厚さ+6mm を越える厚さかつ柱板厚以上。



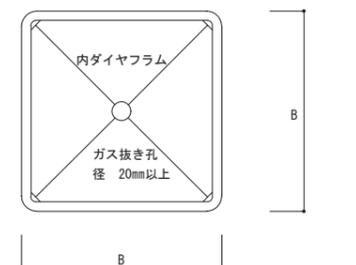
角形鋼管柱・梁仕口 詳細図



柱頭部（ダイヤフラムに段差のある場合）詳細図

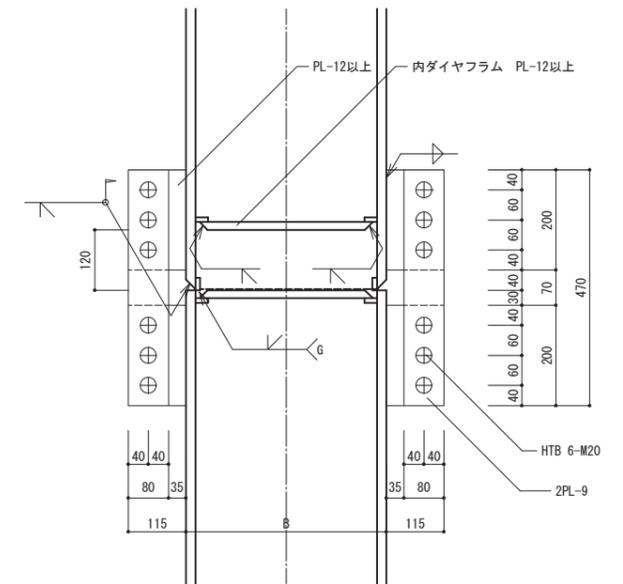


- ・E=100mm未満の場合は、2段ダイヤフラム方式は採用しない。
- ・ダイヤフラムに使用する鋼板は、SN400C、SN490Cとする。
- ・tは取り付く大梁フランジの最大厚さ+6mm を越える厚さかつ柱板厚以上。

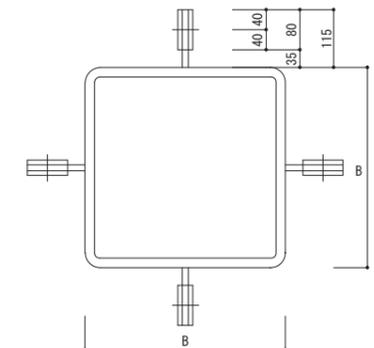


- ・内ダイヤフラムの厚さは、取り付く梁のフランジ厚さ以上で強度は、取り付く部材の最も優れた材質とする。

柱現場継ぎ手 詳細図



- 柱 板厚・ボルト数は最低量を示したものであり、組み立てる部材の重量を考慮して設計してください。
- 当仮設継ぎ手は、8.0×8.0スパンで4階までは可能である。



2022. 4. 1 訂 一般社団法人 徳島県建築士事務所協会

訂正	鳴門市企業局ポータル事業課	備考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	作成 株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区東平2-14-6ロータビル3F TEL: 03-3828-8284 FAX: 03-3828-8289	承認	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO	図面NO
					縮尺	整理NO	KS-14
					鉄骨構造標準図(7-6)		

